

社会福祉法人黒潮園職員住宅新築工事設計図

図 面 リ ス ト							
A - 0 1	建築工事特記仕様書 3 - 1	A - 2 1	展開図 2 - 1	C - 1 6	木造の継手、仕口仕様規定 - 2	M - 1 0	浄化槽設備図 2 - 1
A - 0 2	建築工事特記仕様書 3 - 2	A - 2 2	展開図 2 - 2	C - 1 7	木造特記仕様書 8 - 1	M - 1 1	浄化槽設備図 2 - 2
A - 0 3	建築工事特記仕様書 3 - 3	A - 2 3	1 階建具配置図	C - 1 8	木造特記仕様書 8 - 2	M - 1 2	空調機器表・換気機器表
A - 0 4	内部仕上リスト 2 - 1	A - 2 4	2 階建具配置図	C - 1 9	木造特記仕様書 8 - 3	M - 1 3	1 階空調管配管図
A - 0 5	内部仕上リスト 2 - 2	A - 2 5	建具リスト	C - 2 0	木造特記仕様書 8 - 4	M - 1 4	2 階空調管配管図
A - 0 6	A・L・V・S シックハウス対策による換気計算	C - 0 1	基礎伏図	C - 2 1	木造特記仕様書 8 - 5		
A - 0 7	敷地の平均地盤高さ	C - 0 2	基礎耐圧盤配筋図 X 1 通り ~ X 1 4 通り	C - 2 2	木造特記仕様書 8 - 6	E - 0 1	電気設備工事特記仕様書
A - 0 8	配置図・付近見取図・床面積リスト・keyplan	C - 0 3	基礎耐圧盤配筋図 X 1 4 通り ~ X 2 6 通り	C - 2 3	木造特記仕様書 8 - 7	E - 0 2	電気設備工事配置図
A - 0 9	1 階平面図・建築概要	C - 0 4	1 階床伏図・1 階床組材リスト・軸組金物リスト	C - 2 4	木造特記仕様書 8 - 8	E - 0 3	盤結線図
A - 1 0	2 階平面図	C - 0 5	2 階床伏図・2 階床組材リスト・軸組金物リスト	G - 0 1	外構工事配置図・詳細図	E - 0 4	幹線系統図
A - 1 1	屋根伏図	C - 0 6	小屋伏図・小屋組材リスト・軸組金物リスト			E - 0 5	1 階幹線設備図
A - 1 2	西北立面図・南西立面図・外部仕上リスト	C - 0 7	軸組図 - 1	M - 0 1	機械設備工事特記仕様書	E - 0 6	2 階幹線設備図
A - 1 3	東南立面図・北東立面図	C - 0 8	軸組図 - 2	M - 0 2	衛生器具表 2 - 1	E - 0 7	照明器具参考姿図
A - 1 4	X - X ' 断面図・Y - Y ' 断面図	C - 0 9	軸組図 - 3	M - 0 3	衛生器具表 2 - 2	E - 0 8	1 階電灯設備図
A - 1 5	A - 1 矩計詳細図	C - 1 0	軸組図 - 4	M - 0 4	排水樹表	E - 0 9	2 階電灯設備図
A - 1 6	A - 2 矩計詳細図	C - 1 1	軸組図 - 5	M - 0 5	P S 詳細図	E - 1 0	1 階コンセント設備図
A - 1 7	確認申請用 1 階平面図	C - 1 2	軸組図 - 6	M - 0 6	屋外図	E - 1 1	2 階コンセント設備図
A - 1 8	確認申請用 2 階平面図	C - 1 3	1 階天井地下地組図	M - 0 7	衛生設備 1 階配管図	E - 1 2	弱電機器リスト・テレビ共聴設備系統図
A - 1 9	1 階天井伏図	C - 1 4	2 階天井地下地組図	M - 0 8	衛生設備 2 階配管図	E - 1 3	1 階弱電設備図
A - 2 0	2 階天井伏図	C - 1 5	木造の継手、仕口仕様規定 - 1	M - 0 9	衛生設備 2 階天井配管図	E - 1 4	2 階弱電設備図

建築工事特記仕様書。 3 - 1

工 事 概 要

工 事 名 称	黒潮園職員住宅新築工事
建 築 主 (住所)	和歌山県新宮市三輪崎字西高森2 4 7 1 - 1
(氏名)	社会福祉法人 黒潮園 理事長 岡 司
建 築 場 所	和歌山県新宮市新宮字鴻田3 6 5 2 - 1
敷 地 条 件	用途地域 第1種住居地域・準工業地域 防火地域 ・ 防火 ・ 準防火 ・ 指定なし その他の区域、地域、地区、街区 法第2.2条区域内

建 築 条 件	主要用途 共同住宅 工事種別 新築
---------	----------------------

構 造 ・ 規 模	構 造 構造形式 在来軸組構法 基 礎 鉄筋コンクリートベタ基礎 階 数 2階建 延べ面積 3 4 0 . 6 0㎡
-----------	--

工 事 期 間	令和 5年 9月 1日から令和 6年 3月 15日まで (2 2 5 日間)
---------	--

1 . 共 通 事 項

適 用 範 囲	1. 図面、特記仕様書及び現場説明書に記載されてある事項以外 は「営繕部監修建築工事共通仕様書」以下(共通仕様書と云う) 平成9年度版に準ずる。但し本工事に関係なき事項は適用しない。 2. 特記事項は・印の付いたものを適用する。
---------	---

優 先 順 位	1. 現場説明書(質疑応答書含む) 2. 特記仕様書 3. 設計図書(標準共通詳細図、内訳明細書含む) 4. 建設省営繕、建築工事共通仕様書 5. 住宅金融公庫建築工事共通仕様書 6. 公共規格及びこれに準ずる規格
---------	--

疑 義	設計図書に関する質疑は工事請負契約の前に質疑応答書により 確認しておく事。質疑応答書に明記なき事項は監理者(以下係員 と云う)の指示に従い施工の事。
-----	--

記 載 な き 事 項	設計図書に明記なき事項でも技術上、納まり上、当然必要とし て係員が判断した場合は、その指示に従い請負金額の範囲内で 施工の事。
-------------	---

設 計 変 更	係員の指示により変更内容を明記する図面、仕様書を作成し変 更に伴う金額の増額及び工程等を協議し、建築主、設計者、請 負者の捺印又は署名を以って有効とみなす。この場合の見積単 価は原則として請負契約時の単価とみなす。但し納まり等軽微 な変更と係員が判断した場合には請負金額、工期の延長はない。
---------	---

官 公 庁 へ の 手 続 き	工事の施工及び完成に必要な諸届け、諸手続きは協議の上請負 者の責任において完成引渡しに支障のない様速やかに行う。
-----------------	---

損 害 保 険	請負者は本工事に関係する全ての物件及び安全管理上必要と思 われる事項に対して妥当な損害保険(火災保険含む)を掛けて、 その写しを2部提出する。この場合事前に係員の承諾を得る事。
---------	--

別 途 工 事 ・ 及 び 分 離 発 注 工 事 と の 取 合 い	別契約の関連工事については、係員の指示により、当該工事関 係者と協議し、工事全体の円滑な進歩を計る。
-------------------------------------	---

発 生 材 の 処 理	特記により引渡しを要する物は、指示された場所に調書を添え て引渡す。引渡しの必要でない物は、すべて場外に搬出し、関 係法令に従い適切に処理する事。
-------------	---

災 害 ・ 公 害 ・ 危 険 防 止 及 び 近 隣 補 償	工事の施工に伴う災害及び公害防止は、関係法令に従い適切 に処理する。工事中に発生した公害及び苦情に対しては施工者 の責任において解決する。工事前、他に損害を与えた場合の補 修及び補償は施工者の負担とする。
---------------------------------	---

提 出 書 類	工事請負契約書、工程表、施工計画書、安全計画書、現場代理 人届、主任技術者届、工事内容報告書(工事日報)、質疑応答 書、下請人名簿、着工届、各工程検査願書、工事代金請求書、 コンクリート調査表、施工図、工作図、材料及び施工検査報告 書、自主監理責任者届
---------	--

竣 工 時 の 提 出 物	竣工届、引渡書、同受理書、竣工図、竣工写真、建築証明書、 鍵及び目録(機器又は備品リスト、同説明書)、各種許可書及 び保証書、工事中の打合せ記録、建物及び設備等の維持管理注 意事項書、予備納入品
---------------	--

工 事 写 真	着工前 ー 敷地及び周辺の道路、建築物、工作物等の撮影。 工事中 ー 進捗状況の撮影と共に、施工後隠蔽又は埋設され る部分は建築設備を問わず、被写体に広巾テープ をそえて撮影する。 提出 ー 係員の指示により竣工検査前に2部、又竣工引渡 し時に2部を説明を明記の上提出する事。
---------	---

2 . 仮 設 工 事

安 全 対 策	本工事の施工にあたり、隣接建物及び工作物並びに通行人等に 損傷を与えないよう危険表示の設置、必要な保護設備を設けて 交通及び保安上の配慮を行ない、係員及び関係各所の承認を受け て安全な工事の実施を行なうものとする。
---------	--

仮 囲 い	構 造 ・ 成形鋼板 ・ 木造 ・ 高 さ ・ 1. 8m ・ 2. 0m ・ 3. 0m以上 範 囲 道路面及び安全上必要と認められる範囲とする。方 法及び範囲は特に規定はないが請負者の判断におい て安全上、防犯上、近隣対策上必要な措置を施す事。 係 員 詰 所 構 造 ・ プレハブ造 ・ 木造 ・ 設 備 等 ・ 10㎡内外 ・ 20㎡内外
-------	---

工 事 用 電 力	・利用出来る(⊙ 有償 ・ 無償) ⊙ 利用出来ない
工 事 用 水	・利用出来る(⊙ 有償 ・ 無償) ⊙ 利用出来ない
障 害 物 の 処 理	工事前撤去及び移設を要する軽微なもの本工事を含むものと する。

3 . 土 工 事

根 切 り	根切り方法、山留工法、排水方法、使用機器等を記した施工計画 書を提出する事。
埋 戻 し , 盛 土	埋戻し ⊙ 根切り土使用 ・ 購入土 盛 土 ⊙ 有り ・ 無し
残 土 処 分	⊙ 場外搬出 ・ 場内(・ たい積 ・ 敷均し)

4 . 地 業 工 事

地 耐 力 試 験 試 験	・不要 ⊙ 必要 ⊙調査方法(スウェーデン式サウンディング試験)
---------------	-------------------------------------

既 成 杭 地 業 種 類	・ PHC杭 ・ RC杭 ・ アースオーガー工法 ・ 不要 ・ 必要(GLー m) セメントミルク工法 ・ 不要 ・ 必要(GLー m) 中 掘 工 法 ・ 不要 ・ 必要(GLー m)
場 所 打 ち 杭 地 業	ベ ノ ト 工 法 ・ 1200φ ・ φ アースドリル工法 ・ 1000φ ・ φ リバースサーキュ レーション工法 ・ 1000φ ・ φ セメントミルク工法 ・ φ, m, 節
特 殊 杭 地 業	柱状杭地盤改良 ・ 深層混合処理工法 600φ L=1,500 無 排 土 工 法 ・ φ, m, 節

ラ ッ プ ル コ ン ク リ ー ト	調 合 セメント1:砂3:砂利6(容積比) コンクリートと玉石の比率 ・ 1:1 ・
---------------------	---

削 石 地 業	基礎下 ・ 厚100 ・ 120 ・ 150 ・ 土間下 ・ 厚60 ・ 120 ・ 150 ・
砂 利 地 業	土間下 敷き厚60m/m、最大粒径45m/m以下 ・ 不要 ⊙ 必要(粒調砕石 M-30)

捨 コ ン ク リ ー ト 地 業	厚さ50m/m(特記なき限り厚60m/mとし平滑に仕上げる) 設計基準強度180kg/cm ² 、スランパ18cm (特記なき限り、強度150kg/cm ² スランパ15cm又は 16cmとする)
-------------------	---

5 . 鉄 筋 工 事

材 料	普通鉄筋 ・ SR235 ・ 異形鉄筋 ⊙ SD295 ・ SD345 ・ SD390 溶接金網 線径0. 6cm、網目150mm×150mm 使用場所 スパーサー ⊙ 金属製 ・ モルタル製 ・ 塩ビ製
継 手 種 類	・ ガス圧継手(・D16以上 ・ D19以上) ⊙ 重ね継手 ・ アーク継手
検 査	主要構造部及び開口補強部の配筋は、コンクリート打ちに先立ち 係員の検査を受ける。又圧接検査は共通仕様書の規定に従い圧接 完了後に検査を行ない、検査成績表を係員に提出する事。

6 . コ ン ク リ ー ト 工 事

鉄 筋 コ ン ク リ ー ト	種 別 ⊙ 普通 ・ 早強 ・ 設計強度 ・ 18 ⊙ 21 ・ 24 (N/mm ²) 混 和 剤 ⊙ 減水剤 ・ 防縮剤 ・ 粗 骨 材 ⊙ 川砂利 ・ 砕石 ・ 細 骨 材 ⊙ 川砂 ・ 山砂 ・
-----------------	---

コ ン ク リ ー ト の 供 給	製造 ⊙ レディーミクストコンクリート ・ 現場練りコン クリート
-------------------	--------------------------------------

計 画 調 合	事前に計画調合書を提出し係員の承認を受ける事。
軽 量 コ ン ク リ ー ト	設計強度 ・ 180 ・ 210 ・ (kg/cm ²) 粗 骨 材 ・ 人工軽量骨材() ・

寒 中 コ ン ク リ ー ト	気乾比重 ・ 18以下 ・ 適用範囲 12月 1日 ~ 3月 15日と定めるがコン クリートが凍結する恐れのある場合には積算温度方式による事。 試 験 係員の指示によりスランパ試験を行なう。又強度試験結果を提 出し承認を得る。尚供試体は1週間、3週間、4週間の3種類 とする。
-----------------	---

型 枠	⊙ 型枠用合板(厚さ12mm) ・ コーティング型枠 ・ 金属製型枠/パネル ・
-----	---

コ ン ク リ ー ト の 打 放 し 仕 上	種 類 ・ A種 ⊙ B種 ・ C種 合板厚さ ・ 15mm ⊙ 12mm
-------------------------	--

コ ン ク リ ー ト 打 放 し 仕 上 の 場 合 は 型 枠 割 付 け の 施 工 図 に よ っ て 係 員 の 承 認 を 受 け た 後 に 施 工 す る 。 施 工 図 に は 木 コ ン の 位 置 を 記入する。コンクリート打ちに先だち係員の検査を受ける。	型 枠 用 締 付 金 物 締付金具(見隠れ部) ⊙ 頭を除去の上錆止め塗装
---	--

の 頭 除 去 後 処 理	締付金具(見掛け部) ⊙ コーンを除去の上防水剤入りモル タル充填(面内納め) 締付金具(仕上下地) ⊙ コーンを除去の上防水剤入りモル タル充填(面一納め)
---------------	--

7 . 鉄 骨 工 事

一 般 事 項	本工事に使用する鋼材及びボルト等の使用材料はJIS規格品 とし、材料等は図面の指示による。
---------	--

使 用 鋼 材 の 品 質 確 認	・ ミルシートの確認 ・ 立合い検査
使 用 材 料 の 製 品 検 査	・ ミルシートの確認 ・ 製品検査成績表 ・ 立合い検査
工 作 図	設計図書に基づき各部の工作加工図を作成し係員に提出し承認 を受ける。承認後に原寸図を作成し係員立合い検査後に加工を 行う事。

高 力 ボ ル ト	JISの高力ボルト等は本締め完了後、検査を行ない、検査記 録を係員に提出し指示を受ける事。
-----------	--

溶 接 検 査	外観及び表面欠陥 ・ ビード表面の整凸 ・ オーバーラッ プ ・ アンダーカット ・ クレー ターの状態
---------	--

溶 接 の 寸 法	・ 予盛り ・ 隅肉の脚長 ・ 補強隅 肉の大きさ ・ 隅肉の不当脚
-----------	---------------------------------------

溶 接 の 形 状	・ 開先 ・ ルート間隔 ・ 目違い ・ 裏当て ・ 仮付け溶接
-----------	-------------------------------------

溶 接 の 処 理	・ エンドタブの処理 ・ スパッタ除去 処理 ・ 回し溶接
-----------	----------------------------------

非 破 壊 検 査	・ 超音波探傷試験 ・ X線検査
-----------	------------------

加 工 工 場	JIS認定工場 建設省告示第1103号() 全鋼建グレード資格工場(M グレード)
---------	--

8 . 組 積 工 事

補 強 コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク	空洞コンクリートブロックを組積し鉄筋により補強された屋内の張壁 塀等の工作物に適用する。
-------------------------	---

種 別	・ A種 ・ B種 ・ C種
適 用 個 所	・ 間仕切壁 ・ 地下二重壁 ・ 外壁 ・ 耐力壁 ・ 塀

補 強 鉄 筋	異形鉄筋SD295とする。
配 筋	外壁、主筋D13-400@ 配力筋D10-400@ 内壁、主筋D10-400@ 配力筋D10-400@

A L C パ ネ ル	本工事は事前に施工図を作成し割り付け及び開口部等補強工法等に付 いて係員の承認を受ける。又パネルの外観に付いて係員の検査を受け、 使用上有害なひび割れ、破損等のある場合は係員指示にしたがって処 置する事。
-------------	---

外 壁 パ ネ ル	厚 さ ・ 75 ・ 100 ・ 125
屋 根 パ ネ ル	厚 さ ・ 75 ・ 100 ・ 125
床 パ ネ ル	厚 さ ・ 100 ・ 125 ・ 150
間 仕 切 パ ネ ル	厚 さ ・ 75 ・ 100 ・ 125

A L C 目 地 シ ー ル 材	ALCを被着材とするシーリング材は50%モジュラス2kg/cm ² 以下のもので、かつ疲労しにくいものを用いること。 一成分型 ・ アクリル系(水性) ・ シリコーン系 二成分型 ・ ポリウレタン系 ・ ポリサルファイド系
-------------------	---

社 会 福 祉 法 人 黒 潮 園 社 員 寮 新 築 工 事	特 記 仕 様 書 3 - 1			建 築 一 級 建 築 士 事 務 所 和 歌 山 県 (イ) 第 6 4 8 一 号 一 級 建 築 士 登 録 第 9 3 5 5 6 号 設 計 烏 藤 一 級 建 築 設 計 事 務 所 監 理 和 歌 山 県 新 宮 市 馬 町 1 丁 目 1 番 4 号 TEL (0735)21-1272 FAX (0735)21-7152 烏 藤 昭 博
	DATE	令和 年 月 日	SCALE	

建築工事特記仕様書。 3 - 2

9. 防水工事

アスファルト防水種類	・ 屋根保護防水層（密着工法） ・ 屋根保護防水層（絶縁工法） ・ 屋根露出防水層（密着工法） ・ 屋根露出防水層（絶縁工法） ・ 地下室、貯水槽及び室内防水層（密着工法）
工法	共通仕様書及び日本アスファルト防水工業組合（建設省統計第240号）防水仕様による。
合成高分子ルーフィング防水（シート防水）	種別 ・ 露出軽歩行防水 ・ 露出非歩行防水 材料 ・ 加硫ゴム系 ・ 非加硫ゴム系 ・ 塩ビ樹脂系
塗膜防水	種別 ・ 反応硬化型 ・ エマルジョン型 ・ 溶剤溶液型 工法 共通仕様書及び指定製造所の仕様による。
モルタル防水	種別 ・ 珪酸系 ・ 珪酸ソーダ系 ・ 脂肪酸系 工法 共通仕様書及び指定製造所の仕様による。
シート・FRP複合防水	種別 ⊙ 露出軽歩行 ・ 露出非歩行 ・ 断熱露出 材料 ⊙ ガラス繊維入合成樹脂（厚さ 3mm） 工法 MPS-1W工法
シーリング	種別 ⊙ シリコン系1級 ⊙ ポリサルファイド系1級 ・ ウレタン系1級 ・ 水性アクリル系1級
伸縮目地	材料 ・ エラストイト+アスファルトコンパウンド（巾 mm） 工法 アスファルトコンパウンドは仕上面より5mm下がりに充填し、エラストイト以外の目地棒は必ず撤去する。
責任保証	・ アスファルト防水 年間 ・ 合成高分子ルーフィング（シート防水） 年間 ・ 塗膜防水 年間
共通事項	図面に記載なき場合でも下記の場合には施工を行なう事。外部に面するサッシュと外壁の取合部分。外装金属板/パネル目地及びその外周。コンクリート打継ぎ部及び異種材料の取合部分で漏水の恐れのある部分。 防水層は保護防水。露出防水を問わず24時間の水張り試験をおこなう。保証期間中に防水工事及びシーリング工事の不備によって生じた損害は請負者の責任において負担し速やかに復旧する事。

10. 石工事

一般事項	施工に先立ち石材及びテラゾーブロック類は施工図と共に見本品を提出し係員の承認を受ける。但し軽易なものについては係員の承認を受けて省略する事が出来る。
花崗岩類の石張り	品質 ・ 1等品 ・ 2等品 種類 仕上 ・ 本磨き仕上 ・ ジェットパーナー仕上
大理石張り	種類 仕上 ・ 水磨き仕上 ・ 本磨き仕上

11. タイル工事

一般事項	施工に先立ちタイル割付図を作成し、係員の承認を受ける。タイル張りに係る建具等は図示の有無に関わらずタイル割付寸法により内法寸法を決定する。 タイル張りの出隅部は役物を使用する。
工法	伸縮目地は施工図において位置及び巾を明記し係員の承認を受ける。
役物	内 壁 ・ 使用する ・ 使用しない 使用箇所 ・ 片面取り ・ 両面取り ・ 小竹内巾木 外 壁 ・ 使用する ・ 使用しない 使用箇所 ・ 曲り ・ 屏風曲り ・ 箱曲り
内装壁タイル	材質 ・ 陶器質 ・ 磁器質 ・ セツ器質 寸法 ・ 100角 ・ 150角 ・ 200角 ・
内装床タイル	材質 ・ 陶器質 ・ 磁器質 ・ セツ器質

外装壁タイル	材質 ・ 陶器質 ・ 磁器質 ・ セツ器質 寸法 ・ 木口 ・ 二丁掛 ・ 三丁紙張り ・ ポーダー
外装床タイル	材質 ・ 陶器質 ・ 磁器質 ・ セツ器質 寸法
検査	・ たたき検査 ・ 接着力試験
12. 木工事	
一般事項	根太及び床張りの際、床鳴りのない様、接着剤を併用する等の処置を施す。木造軸組の仕口は原則として金物補強をする事と事前に工法及び金物種類を施工図に表わし係員の承認を受ける。
見本	材料、種別及び色合いは、見本を提出し係員の承認を受ける。
材料及び工法の種別	A種の材料を用いる場合の工法はA種、B種の材料を用いる場合の工法はB種、C種の材料を用いる場合の工法はC種とする。
用材の種別	構造材の種別 ・ A種 ⊙ B種 ・ C種 造作材の種別 ⊙ A種 ・ B種 ・ C種
用材の等級	構造材の等級 ・ 上小節 ・ 小節 ⊙ 1等 ・ 2等 造作材の等級 ・ 無節 ⊙ 上小節 ⊙ 小節 ・ 1等
用材の樹種	構造材の樹種 土台（ ⊙ 桧 ・ 杉 ・ 米松 ・ 米桐） 柱（ ⊙ 桧 ・ 杉 ・ 米松 ・ 米松） 胴差（ ・ 桧 ⊙ 杉 ・ 松 ・ 米松） 梁類（ ・ 桧 ⊙ 杉 ・ 松 ・ 米松） 他（ ⊙ 桧 ⊙ 杉 ・ 松 ・ 米松） 造作材の樹種 柱（ ⊙ 桧 ・ 杉 ・ 松 ・ 米松） 敷居（ ⊙ 桧 ・ 杉 ・ 松 ・ 米松） 鴨居（ ⊙ 桧 ・ 杉 ・ 松 ・ 米松） 畳寄（ ⊙ 桧 ・ 杉 ・ 松 ・ 米松） 長押（ ・ 桧 ・ 杉 ・ 松 ・ 米松） 他（ ⊙ 桧 ⊙ 杉 ・ 松 ・ 米松）
造作用集材	集材材の種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 集材材の等級 ・ 1等 ・ 2等 化粧単板厚さ 柱（ ・ 2.4mm ・ 1.2mm） 敷居（ ・ 上面1.5mm ・ 側面1.0mm） 鴨居（ ・ 下面1.2mm ・ 側面1.0mm） 他（ ・ 1.0mm ・ 0.6mm）
用材の樹種	集材材の樹種 柱（ ・ 桧 ・ 杉 ・ 松 ・ 米松） 敷居（ ・ 桧 ・ 杉 ・ 松 ・ 米松） 鴨居（ ・ 桧 ・ 杉 ・ 松 ・ 米松） 畳寄（ ・ 桧 ・ 杉 ・ 松 ・ 米松） 長押（ ・ 桧 ・ 杉 ・ 松 ・ 米松） 他（ ・ 桧 ・ 杉 ・ 松 ・ 米松）
木材の断面寸法	表示寸法は仕上材で部材の断面が示されている場合は仕上り寸法とする。
防腐、防虫処理	地盤面から1m以内の部分及び浴室、脱衣室等、湿気のある場所の軸組及び下地材には原則として処理を行う。但し柱の室内見え掛がかり部分及び、係員と協議し不要と認められる部材は除く。
防蟻処理	⊙ 必要（「白蟻協会」認定木部処理剤） ・ 不要
13. 屋根及び樋工事	
金属板葺	屋根葺形式 ・ 瓦葺き ・ 縦平葺き ・ 平葺き（一文葺き） 材料 ・ 亜鉛鉄板 ・ 着色亜鉛鉄板 ⊙ フッ樹脂塗装鋼板 ・ カラーステンレス鋼板
厚さ	・ 0.4m/m ・ m/m
折板、ルーフデッキ葺	種類 ・ 重ね型 ・ はぜ締め型 ・
厚さ	・ 0.6m/m ・ 0.8m/m
防露	・ PEフォーム ・ ガラス繊維 ・ グラスウール ・ ロックウールフェルト ・
波形石綿スレート葺	材料 ・ 大波 ・ 中波 ・ 小波 ・ リブ波

と	い	材	種	・ 配管用銅管 ・ 硬質塩化ビニール管（・VP ・VU）
市販ビニール雨樋	材	料	JIS A5706（硬質塩化ビニール雨どい）の規格品。	
整	樋	種	⊙ 硬質塩化ビニール樹脂（φ 60 m/m） ・	
谷	樋	種	・ カラー鉄板 ・ 銅板 ・ ステンレス板 ・ 塩ビ製（板厚 1.2 m/m）	
軒	樋	種	・ カラー鉄板 ・ 銅板 ・ ステンレス板 ⊙ 塩ビ製（板厚 1.5 m/m・サーフェスクアSF-I型）	
樋管の屋内防露	保	温	管	建築内部に取り付く部分は図示なき限りガラス繊維保温管厚さ m/m、アスファルトフェルト巻ビニールテープ押えとする。
掃	除	口	図示の有無にかかわらず横走り管が長い場合曲りが多い場合等の管が詰まりやすい箇所に設ける。	

14. 金属工事

一般事項	規格品で他との関連のないもの以外は全て加工及び納まり等の施工図を作成し事前に係員の承諾をうける。																
軽天下地	JIS規格品（JISA6517）を使用し、屋内は19形屋外は25形とする																
	<table border="1"> <tr> <th>部材</th> <th>種類</th> <th>19形</th> <th>25形</th> </tr> <tr> <td>シングル野縁</td> <td></td> <td>25・19・0.5</td> <td>25・25・0.5</td> </tr> <tr> <td>ダブル野縁</td> <td></td> <td>50・19・0.5</td> <td>50・25・0.5</td> </tr> <tr> <td>野縁受け</td> <td></td> <td>38・12・1.2</td> <td>38・12・1.6</td> </tr> </table>	部材	種類	19形	25形	シングル野縁		25・19・0.5	25・25・0.5	ダブル野縁		50・19・0.5	50・25・0.5	野縁受け		38・12・1.2	38・12・1.6
部材	種類	19形	25形														
シングル野縁		25・19・0.5	25・25・0.5														
ダブル野縁		50・19・0.5	50・25・0.5														
野縁受け		38・12・1.2	38・12・1.6														
軽量鉄骨壁下地	JIS規格品（JISA6517）を使用する。																
スタッドラナナー	種 別 ・ 65形 ・ 90形 ・ 100形																
防錆処理	外部金物 ・ ジンクロメッキ処理 ・ 亜鉛メッキ ・ 内部金物 ・ JIS（鉛丹ジンクロメッキ錆止塗料）に規定する。 亜鉛メッキの種別 ・ A類 ・ B類 溶融亜鉛メッキ ・ A種 ・ B種																
の付着量	電気亜鉛メッキ ・ A種 ・ B種 ・ C種																
の種別	階段ノンスリップ金物 材 質 ・ ステン製 ・ アルミ製 ・ 真鍮製 ・ 鉄製 ・ その他の金物 天井点検口 ⊙ ナカ工業 ⊙ マンテン ⊙ 理研 ・ 床点検口 ⊙ ナカ工業 ⊙ マンテン ・ 理研 ・ マンホール ⊙ カネソー ⊙ 第一機材 ・ 中部 格子蓋 ⊙ カネソー ⊙ 第一機材 ・ 中部 手 摺 ・ ステン管（SUS304、800#バフ仕上） ⊙ アルミ型材 ⊙ 木製丸棒 タラップ ・ ステン管（SUS304、400#バフ仕上） ・ 既成金物																

15. 左官工事

一般事項	色合い模様等は見本帳または見本塗り板を係員に提出し承諾を受ける。 塗装仕上げ、張り仕上げ等の左官下地は「むら」「平滑度」「角度」等に充分注意する。 仕上工程前に係員の検査をうける。
モルタル塗	調合容積比 セメント1：砂2：防水剤 塗り厚 床（外部30m/m）、（内部30m/m） 壁（外部25m/m）、（内部20m/m） 天井（外部 m/m）、（内部 m/m）
軽量骨材種類	吹付け用軽量骨材仕上塗材
プラスタ塗り	調合容積比 下塗り（プラスター1：砂1.5） 中塗り（プラスター1：砂2.0） 上下塗り（プラスター1 ） 塗り厚 ・ 20 ・ 15 ・ 10

16. 内装工事				
合	板	本工事に使用する合板は図示なき限り塗装下地の場合はシナ合板、その他はラワン合板、のJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。		
ビニール床シート	材	料 ⊙ 無地 ・ マーブル		
厚さ	⊙ 2.0m/m ・ 2.5m/m ・ 3.0m/m			
接着剤	一般床 ・ 合成ゴム系 ・ アクリル樹脂系 湿気の生じやすい箇所 ⊙ エポキシ樹脂系			
継ぎ手	⊙ 溶接継ぎ手 ・ 溶接不要			
ビニール床タイル	種	別 ・ コンポジション系 ・ ホモジニアス系		
厚さ	・ 2.0m/m ・ 2.5m/m ・ 3.0m/m			
接着剤	エポキシ樹脂系			
ビニール幅木	高さ、厚さ 高さ ・ 60 ・ 75 ・ 100 厚さ ・ 2.0			
合成樹脂塗り床	弾性ウレタン	・ 平滑仕上 ・ 防滑仕上 ・ つや消仕上 参考品番		
エポキシ樹脂	・ 平滑仕上 ・ 防滑仕上 ・ つや消仕上 参考品番			
フローリング張り	フローリング	・ 積層材 ⊙ 複合材 ⊙ 無垢材		
樹	種	・ ふな ・ なら ・ 桧		
厚さ	⊙ 12m/m ⊙ 18m/m			
塗	装	・ 合成樹脂塗料塗 ⊙ 自然塗料		
壁紙張り	素地ごしらえ			
モルタル面	・ A種 ・ B種			
プラスター面	・ A種 ・ B種			
石膏ボード面	⊙ A種 ・ B種			
量	数	材	料 ⊙ A種 ・ B種 ・ C種 畳床は防虫処理を行ったものとする。	
ジュウタン敷	品	質	検	査 ・ 要 ・ 不要
ウイルトンカーペット敷	種	別	・ A種 ・ B種 ・ C種	
帯電防止	・ 要 ・ 不要			
タフテッドカーペット	種	別	・ A種 ・ B種	
帯電防止	・ 要 ・ 不要			
ニードルパンチカーペット	厚	さ	m/m	
敷	込	み	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	

17. ガラス工事

フロート板ガラス	材	料 ⊙ A級品 ・ B級品（フロート方式）
型板ガラス	⊙ 梨地 ・ 石目 ・ かすみ	
網入板ガラス	⊙ クロスワイヤー ・ 菱形ワイヤー	
合せガラス	⊙ クリヤー ・ ブロンズ ・ ホワイト ・ ブルー ・ グレー ・ グリーン ・ ブラウン	
強化ガラス	・ 5m/m ・ 6m/m ・ 8m/m ・ 10m/m ・ 12m/m ・ 15m/m	
熱線吸収板ガラス	・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ	
複層ガラス	⊙ フロート+フロート ・ フロート+網入磨 ⊙ フロート+型板 ・ フロート+網入型	
ガラス留め材	・ シーリング ⊙ グレイジングガスケット	
シーリング	⊙ シリコン系 ・ ポリサルファイド系	
バックアップ材	⊙ 発砲ポリエチレン ・ ネオプレンゴム	

建築工事特記仕様書。 3 - 3

18. 建具工事

防火戸	防火区画	・延焼のおそれある部分 ・その他 アルミサッシは下記性能のJIS表示許可工場において制作組立てすること。
アルミ建具	性能	強度 ・S-2等級 ◎S-3等級 ・S-4等級 ・S-5等級 ・S-6等級 ・S-7等級 気密性 ・A-2等級 ・A-3等級 ◎A-4等級 水密性 ◎W-3等級 ・W-4等級 ・W-5等級
枠見込		◎70 ・80 ・100 ・110 ・120
防火戸	材料	建築基準法に基づき認定を受けたもの。 ・着色陽極酸化皮膜 皮膜厚の種別 ・A-1 ・B-1 ・C-1 ・着色陽極酸化皮膜 皮膜厚の種別 ・A-2 ・B-2 ・C-2
網戸		◎設ける ・ステンレス ◎合成樹脂製 ・設けない
銅製建具	防火戸の機能	・ヒューズ装置 ・熱感知器連動 ・煙感知器連動 ・常時閉鎖
ステンレス建具	工法	・普通曲げ加工 ・かど出し曲げ加工
自動ドア	検出装置	・自動検出形(・マットスイッチ ・光源スイッチ ・超音波スイッチ) ・人為操作形(・タッチスイッチ ・ペダルスイッチ ・押しボタンスイッチ)
重量シャッター	扉の開閉方法	・引き戸 ・開き戸
	型式及び機構	・防火シャッター ・防煙シャッター ・ヒューズ装置 ・熱感知器連動 ・煙感知器連動
軽量シャッター	機構	・手動 ・電動(手動併用)
	シャッターケース	・要 ・不要
木製建具	材料種別	・A種 ・B種 ・C種
	普通合板	水掛り箇所 ・1類 ・2類 その他 ・1類 ・2類
	フラッシュ合板	板厚 ・4.0m/m ・5.5m/m
建具金物	マスターキー	・要 ・不要

金物名	メーカー名	型式・他
モノロック	・三和 ・ゴール	
ドアクローザー	・ニュースター	
ピボットヒンジ	・帝金 ・三栄	
ヒンジクローザー	・ニュースター	
引き戸クローザー	・ニュースター	

19. 塗装工事

一般事項	製品及び製造所指定のあるもので製品仕様が定められている場合は、その仕様基準による。
見本	上塗り用の塗材は原則として指定された材料で、色及びつや共に製造所において調合した見本を提出し係員の承諾を受ける
防火材料	屋内の壁及び天井の仕上材は基材同等の認定品とする
素地ごしらえ	木部 ・A種 ◎B種 鉄部 ・A種 ・B種 ・C種 亜鉛メッキ面 工程3の化学処理(エッチングプライマー1回塗) モルタル面 ・A種 ◎B種 プラスター面 ・A種 ・B種 コンクリート面 ・A種 ・B種 ALCパネル面 ・A種 ・B種 石膏ボード面 ・A種 ◎B種 その他のボード面 ・A種 ◎B種

鉄面錆止めペイント塗	規格種別	・A種 屋外の階段、さく、手すり、タンク、鉄骨軸組 ・B種
	種別	1回目 ・1種 ・2種 2回目 ・1種 ・2種
合成樹脂調合ペイント塗	屋外	・1種 ・2種
	屋内	・1種 ・2種
鉄面合成樹脂調合ペイント塗		・A種 ・B種
合成樹脂エマルジョンペイント塗		・A種 ◎B種
塩化ビニール樹脂エナメル塗		・A種 ◎B種
アクリル樹脂エナメル塗		・A種 ・B種
フタ酸樹脂エナメル塗	木部	・A種 ・B種
	鉄部	・A種 ・B種
クリヤーラッカー塗		・A種 ・B種
		・A種 ・B種
ウレタン樹脂ワニス塗		・A種 ◎B種
		・1液型 ・2液型 ◎水性型
マスチック塗	種類	・マスチックA(外部用) ・マスチックB(内部用) ・マスチックC(内、外部用)
塗装種別略号	O	P 油性調合オイント塗
	S	O P 合成樹脂調合オイント塗
	V	P 塩化ビニール樹脂エナメル塗
	A	E P 合成樹脂エマルジョン(アクリル系)塗
	O	S オイルステイン塗
	O	S W オイルステインワニス塗
	C	L クリヤーラッカー塗
	L	E ラッカーエナメル塗
	F	P フタル酸樹脂エナメル塗
	M	P 多彩模様塗料塗
	A	P アクリル樹脂エナメル塗

20. 雑工事

一般事項	指定製作所の製品はその製造所仕様による。
コーナースタッド	材質 ・ステン ・アルミ ・真鍮 ・鉄 形状
階段滑り止め	材質 ・ステン ・アルミ ・真鍮 ・鉄 形状
貫通孔	材質 ・紙チューブ ・鋼管 ◎硬質塩化ビニール管 ・亜鉛鉄板 ・つば付き鋼管 防火区画及び水に接する箇所の紙チューブは型枠取外し後に 取除く
カーテン	施工箇所 ◎居室 ・ホール ・リビング ・主寝室 ・副寝室 仕上り寸法 現場実測による。 ひだの種類
ロールブラインド	施工箇所 ・玄関 ◎玄関ホール ◎階段 ・倉庫 ◎トイレ(上げ下げ窓) ◎湯沸し室
ブラインド	施工箇所 ◎調理室 ・洗面室 ・浴室 ・湯沸室 ・小屋裏窓 ・ユーティリティ ・B種はこひだ 仕上り寸法 現場実測による。 仕様 ◎15m/m ・20m/m ・ ◎コクヨ ・アオイ (軽量 壁掛スチール ホワイト 1200×900) ・YKKアネーロ物干しセット(AKM-A-2)4箇所 ・広洋産業(株)レスキューベランダ TRB-I型 ◎杉田エース(ルームサイン平付型 10枚 ピクトサイン平付型 1枚) ・マツタ(ポストロタイプ471-0414) ◎サンエーブ ・クリナップ ・ポリパス、TOTO(PGS1411R PCF1411R) ◎旗ポール フロントポールS玄関用(S45GP134S)
黒板・掲示板	
物干金物	
避難器具	
室名札・表示板	
郵便受	
流し台	
浴槽	
旗竿金物	

消化器ケース	◎杉田エース UFB-2F-168
システムキッチン	・ヤマハ ・クリナップ
システムバス	・ヤマハ ・クリナップ
床下収納庫	◎大建 ・松下電工 (大建スライド52型2連式620×1937×446)
収納梯子	・大建(36型スラオドラップ) ・松下電工

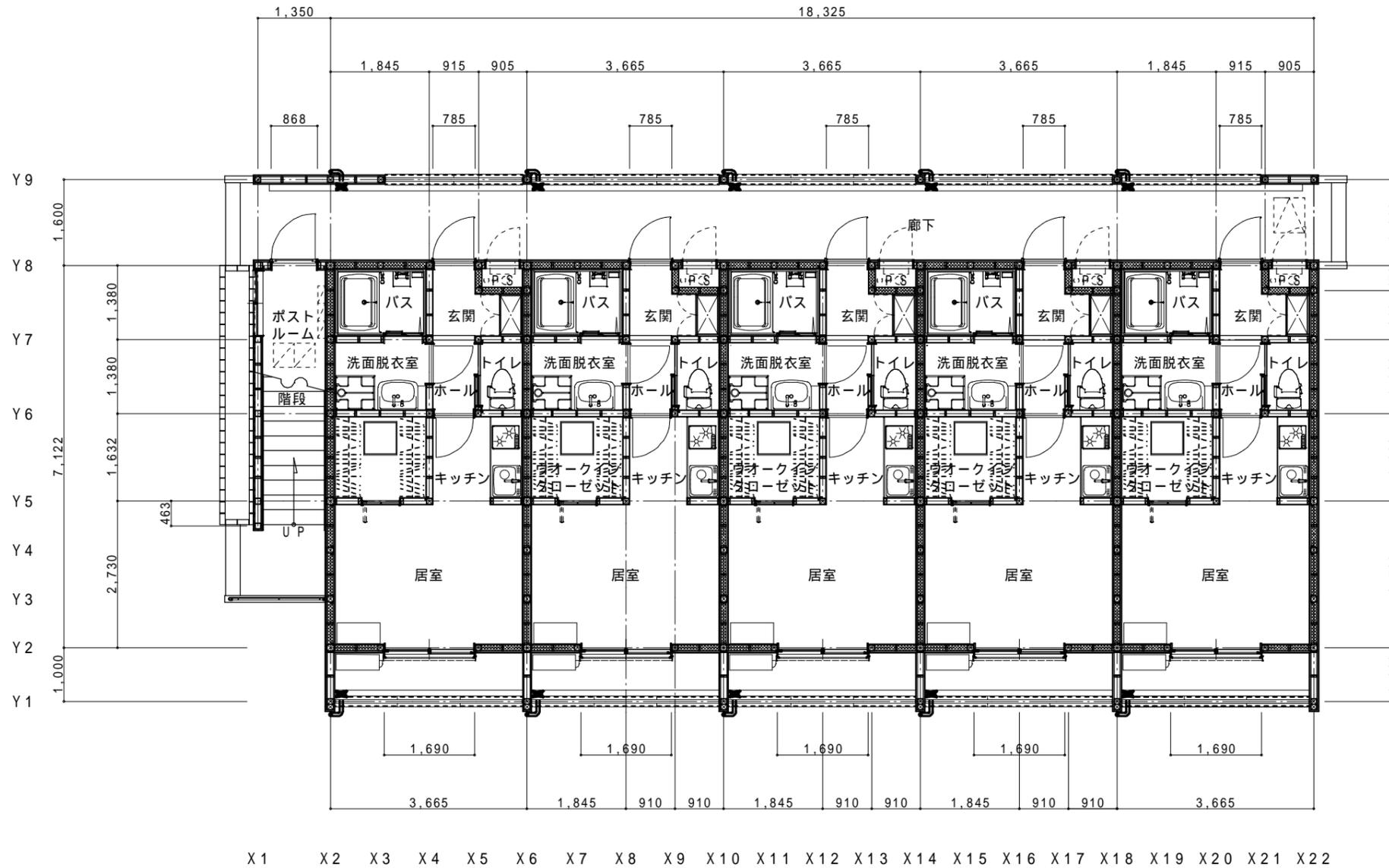
20. 外構工事

一般事項	本工事は共通仕様書の「舗装工事」「排水工事」「植栽工事」の統合であり、図中記入なき事項はこれによる。
路盤	路盤の締め完了後、検査を行う。但し歩道に付いては係員と協議の上、省略する。
舗装	種別 ・アスファルト(・混合式 ・浸透式) ◎コンクリート(◎有筋 ・無筋 ・溶接金網) ◎砂利撒舗装
敷地内排水溝	種別 ◎既成U字側溝 ・L字側溝 ◎現場打コンクリート構
溝蓋	・コンクリートブロック製 ◎鋳鉄製

樹木名	高さ	目通周	枝張(葉張)	本数

芝張り工法
補償
新植、移植及び芝張りの補償期間。

内 部 仕 上 リ ス ト						
室 名	床	巾 木	腰 壁	内 壁	天 井	備 考
1 階 廊 下	二重スラブ厚120、モルタル下地	立上りコンクリート		外壁、構造用合板特類1級12mm、透湿防水シート下地	板野縁75×18-303@下地	ルーフトレイン、カネソーEW MDF-2(50)
	複層ビニル床シートFS張り(NSシートNS800)	床シートFS巻上げ		厚16窯業系サイディング横張通気金具留め施工	エコラックス軒天厚5張り	手摺笠木、YKKシンプレオハンドレール
				PC030BE-9201(準不燃材料QM-0629)	(不燃材料NM-1217)	トップレールタイプ楕円手摺平笠木200
				(告示対象外)	(告示対象外)	
2 階 廊 下	構造用合板特類2級厚24・四周CN75-150@	合板特類2級厚9		同上	同上	同上
	構造用合板特類2級厚21下地FRP防水MPS-1W工法	合板特類2級厚28				避難器具 SPC3-107
		FRP防水MPS-1W				
1階バルコニー	二重スラブ厚120、モルタル下地	立上りコンクリート		同上	同上	ルーフトレイン、カネソーEW MDF-2(50)
	複層ビニル床シートFS張り(NSシートNS800)	床シートFS巻上げ				手摺笠木、YKKシンプレオハンドレール
						トップレールタイプ楕円手摺平笠木200
						ハンドレール用物干しセット
2階バルコニー	構造用合板特類2級厚24・四周CN75-150@	合板特類2級厚9		同上	同上	同上
	構造用合板特類2級厚21下地FRP防水MPS-1W工法	合板特類2級厚28				
		FRP防水MPS-1W				
1 階 玄 関	二重スラブ厚120、モルタル下地	珪酸カルシウム板厚12		界壁、胴縁45×18-303@石膏ボード厚12.5二重両面張	板野縁75×18-303@下地	上り框、檜上小節材90×40水性ウレタン着色仕上
	複層ビニル床シートFS張り(NSシートNS800)	床シートFS巻上げ		界壁以外、胴縁45×18-303@石膏ボード厚12.5張下地	石膏ボード厚12.5張り	シューズボックス、780×430×2400ポリ合板フラッシュ
	(告示対象外)	(告示対象外)		ビニルクロス貼り	ビニルクロス貼り	(F)
				NM-8619 (F)	NM-8619 (F)	
2 階 玄 関	構造用合板特類2級厚24・四周CN75-150@	同上		同上	同上	同上
	複層ビニル床シートFS張り(NSシートNS800)					
	(告示対象外)					
ホ ー ル	構造用合板 類2級厚28・四周CN75-150@	YKKラフォレスタ		胴縁45×18-303@石膏ボード厚12.5張下地	同上	
	木質フロア厚12(オトユカフロア45)	スリムタイプ		ビニルクロス貼り		
	(F)	(告示対象外)		NM-8619 (F)		
洗 面 脱 衣 室	同上	同上		界壁、胴縁45×18-303@石膏ボード厚12.5二重両面張	同上	
				界壁以外、胴縁45×18-303@石膏ボード厚12.5張下地		
				ビニルクロス貼り		
				NM-8619 (F)		
ト イ レ	同上	同上		同上	同上	
キ ッ チ ン	同上	同上		界壁、胴縁45×18-303@石膏ボード厚12.5二重両面張	同上	
				キッチンバック及び両側面(600巾)セラール シリコーン目地		
				界壁以外、胴縁45×18-303@石膏ボード厚12.5張下地		
				ビニルクロス貼り(F) (F)		
ク ロー ゼ ッ ト	同上	同上		界壁、胴縁45×18-303@石膏ボード厚12.5二重両面張	同上	床収納、大建44型1階用(470H).2階用(351H)
				界壁以外、胴縁45×18-303@石膏ボード厚12.5張下地		クローゼット、SUS32 ハンガーパイプSカン付
				ビニルクロス貼り		
				NM-8619 (F)		
居 室	同上	同上		同上		カーテンダブルレール:AW/1 掃出し窓



1階平面図 S = 1/100

建築概要

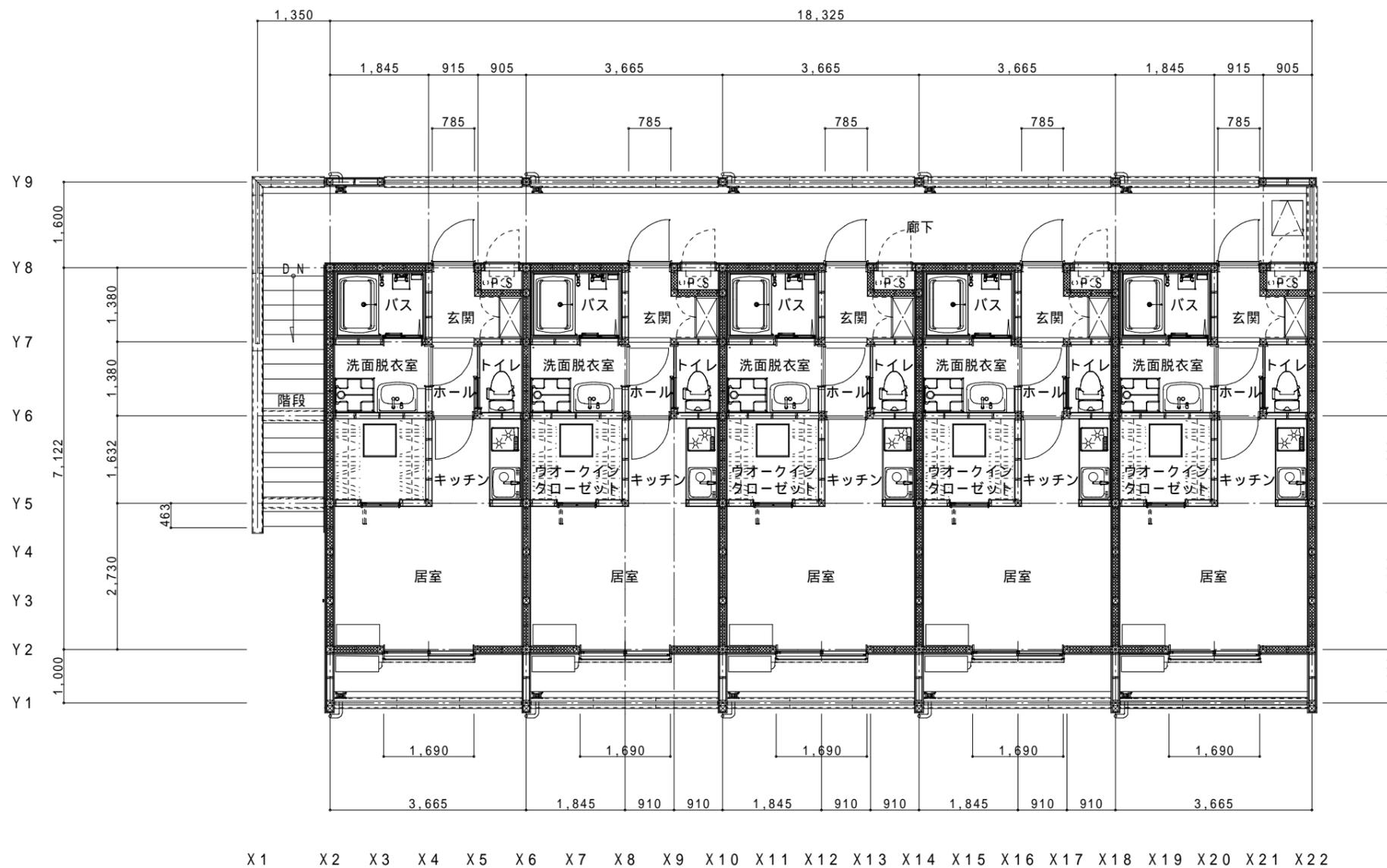
用途地域	都市計画区域内・第一種住居地域・準工業地域	道路斜線	勾配 = 1.25 : 1 (適用距離: 容積200%以下 20.0m)	外部手摺高さ	廊下及びバルコニーの手摺高さ、床水上高さ + 1.100m以上確保
防火地域	防火・準防火指定なし・法22条地域	隣地斜線	高さ H = 20.0m + (1.25 : 1)	廊下巾、床仕上	廊下有効幅 1.387、床仕上は特類合板下地FRP防水MPS-1W工法飛び火認定DR-0703号
日影規制	5h・3h 測定点 H = 4.0m 対象外 (最高高さ H = 10.0m 超で対象)	最高の高さ	7.386m	界壁遮音構造	告示1827号第二、ニイ及び口(2)グラスウール(密度10kg/m ³)厚89、石膏ボード12.5mm×2枚張
建蔽率	190.80 / 798.48 = 0.2389 23.89% < 60.00% OK	最高の軒の高さ	6.470m	屋外階段寸法	鉄鋼階段(垂鉛メッキドブ漬2種HDZ50)階段巾1125、蹴上げ169、踏面275
容積率	340.60 / 798.48 = 0.4265 42.65% < 200.00% OK	居室の床の高さ	0.615m	筋違い耐力壁	筋違いタスキ掛90×45(2.5倍) 筋違いタスキ掛90×45(倍率2)
敷地面積	798.48m ²	屋根葺材料	野地板硬質木片セメント板厚18、SGL厚0.4、AK瓦棒葺き(RP030RF-9082)	合板耐力壁	告示1100号、別表第1(1)CN50釘150@四周釘打ち(倍率2.5)
建築面積	190.80m ²	外壁仕上材	窯業系サイディング厚16(PC030BE-9201)(内壁側石膏ボード厚12.5)	PB耐力壁	告示1100号、別表第1(10)GNF40釘150@四周釘打ち(倍率1)
1階床面積	180.77m ²	軒天井仕上	珪酸カルシウム板厚5(NM-1217)	建築設備	電気・カス・換気・空調・給排水・住宅用火災警報器・浄化槽
2階床面積	159.83m ²	床下断熱材	床断熱材、押出法ポリスチレンフォーム3種aD厚50	給湯方法	PS上方排気型ガス給湯器20号設置
延べ面積	340.60m ² 406.71 - (74.70 + 6.56) = 325.45	外壁断熱材	外壁充填断熱材、高性能グラスウール(密度20kg/m ³)厚105	24時間換気	24H 常時排気 24H 自然給気口
前面道路	北側: 9.50m	屋根断熱材	屋根断熱材、押出法ポリスチレンフォーム3種bA厚75	住宅用火災警報器	Ⓢ: 光電式2種 Ⓜ: 定温式

社会福祉法人黒潮園社員寮新築工事

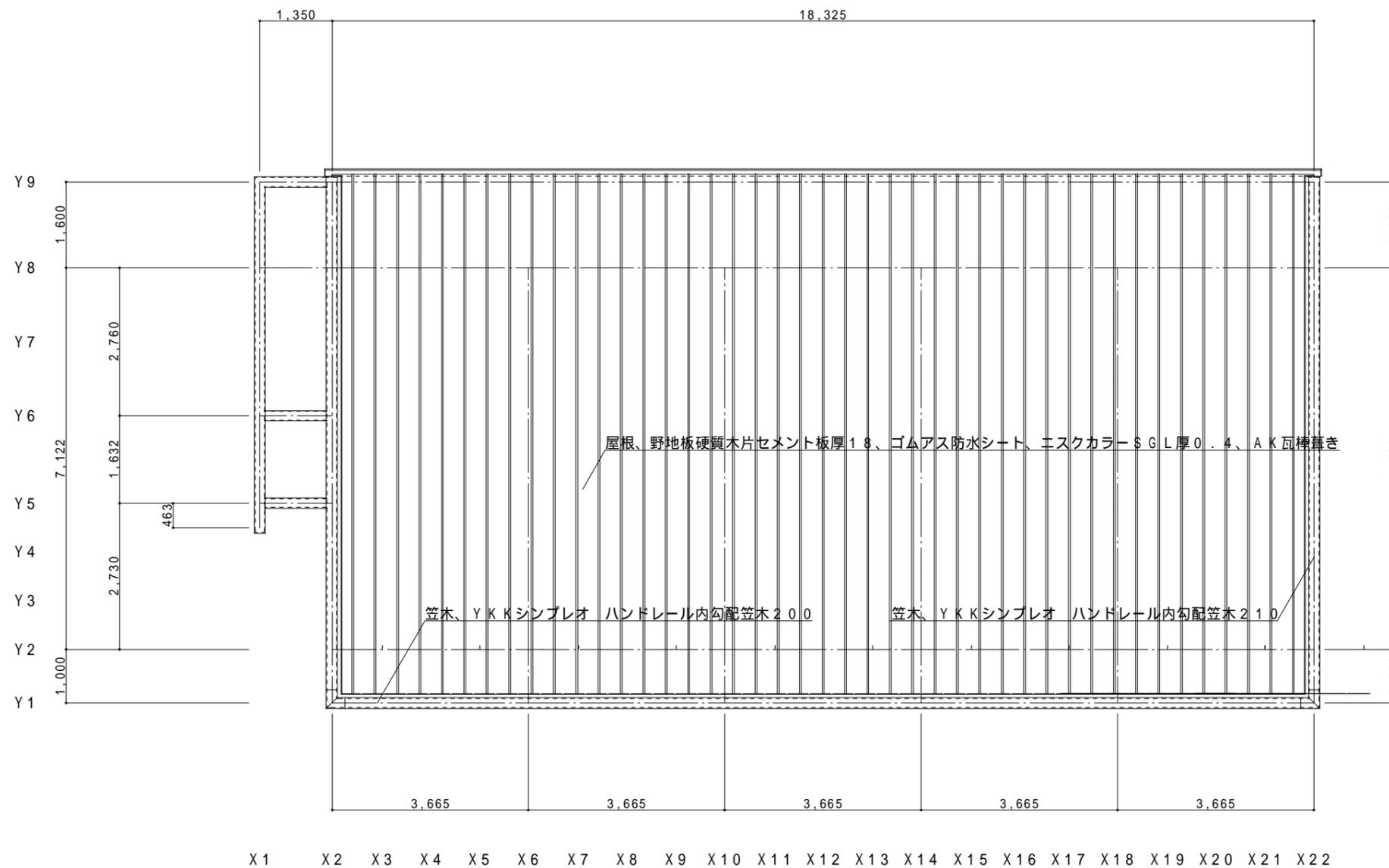
1階平面図

DATE 令和 年 月 日 SCALE S=1/100

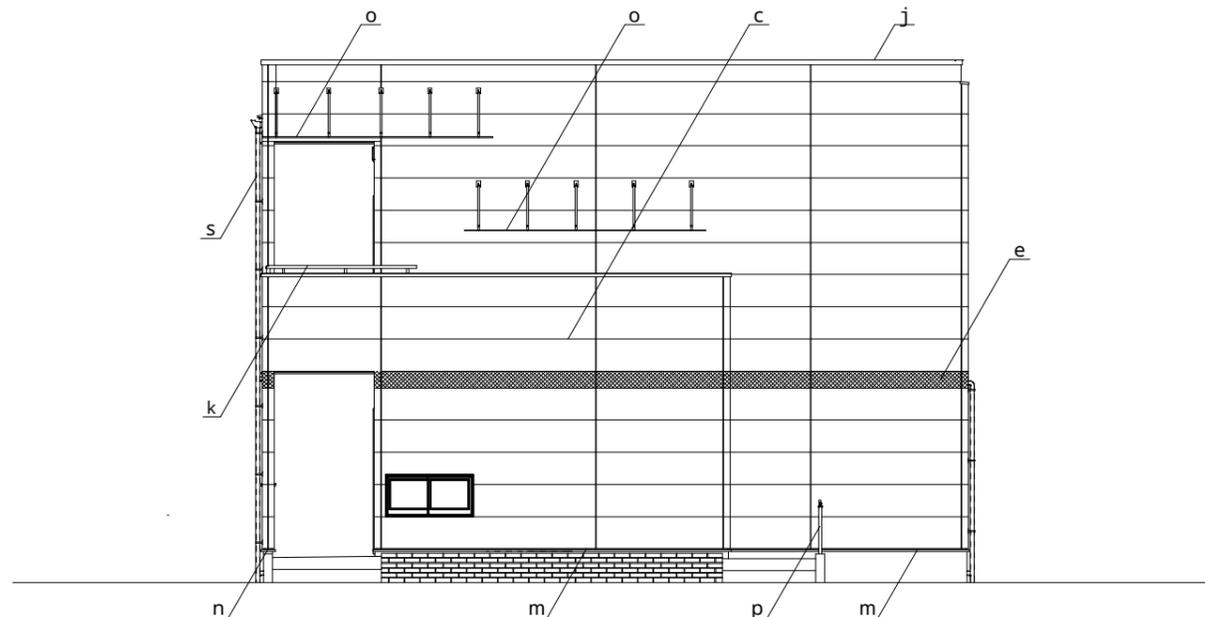
建築 一級建築士事務所 和歌山県(イ)第6481号 一級建築士登録 第93556号
 設計 烏藤一級建築設計事務所
 監理 和歌山県新宮市馬町1丁目1番4号 TEL (0735)21-1272 FAX (0735)21-7152 烏藤 昭博



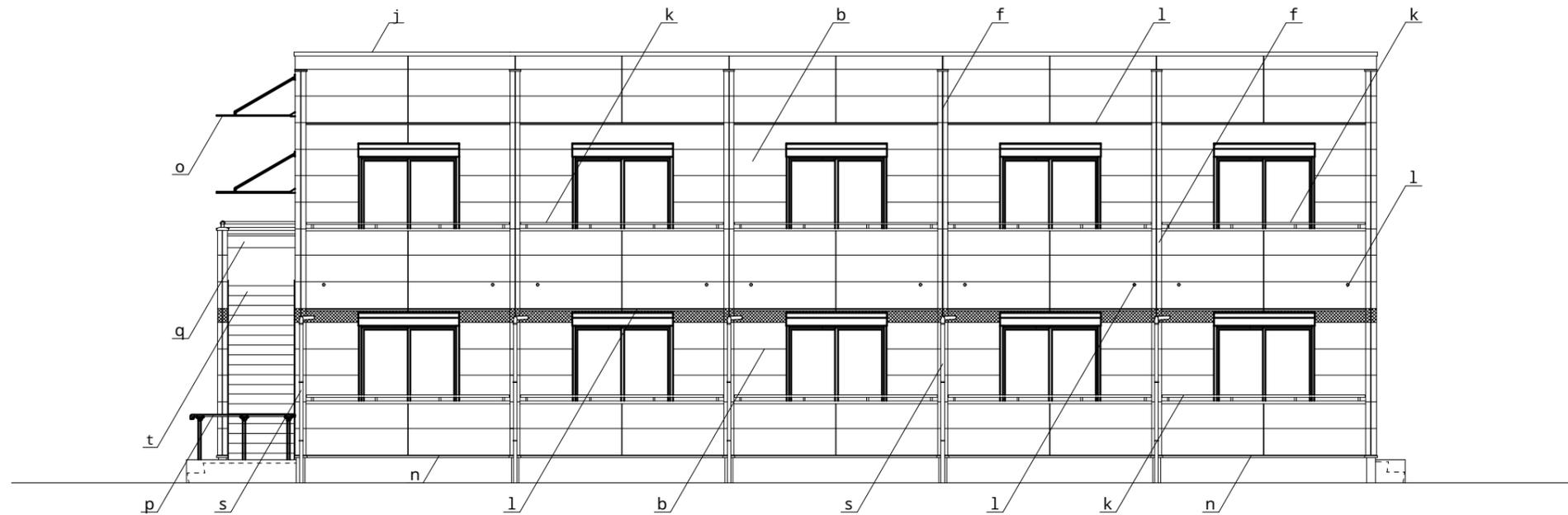
2階平面図 S = 1/100



2階平面図 S = 1/100



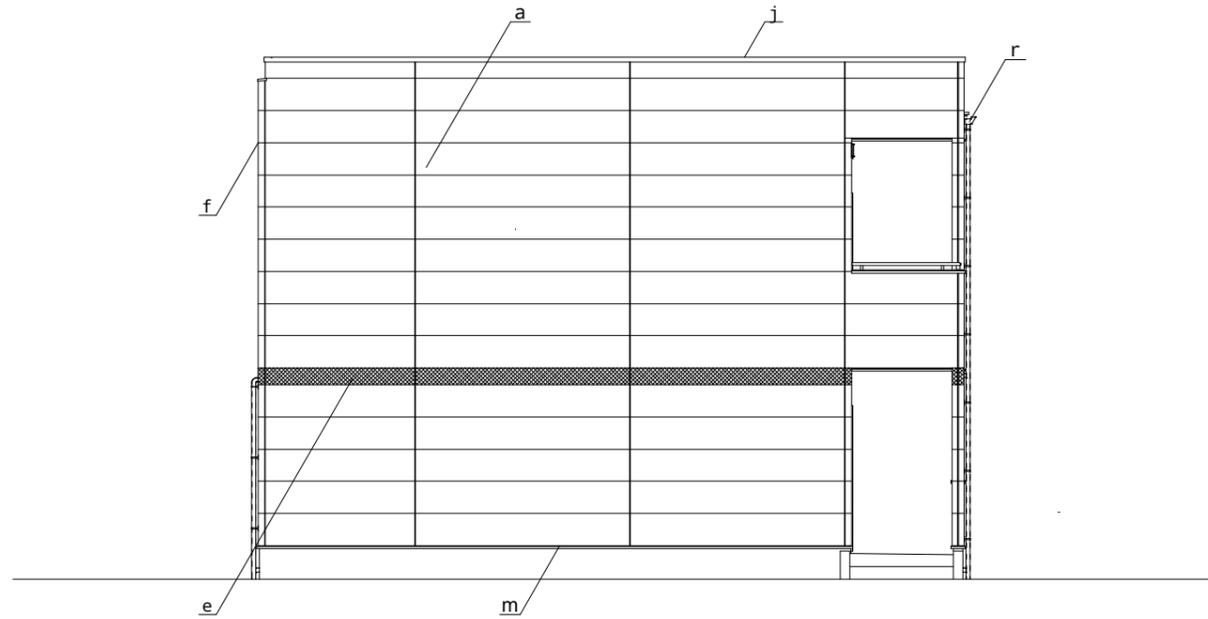
西北立面図 S = 1/100



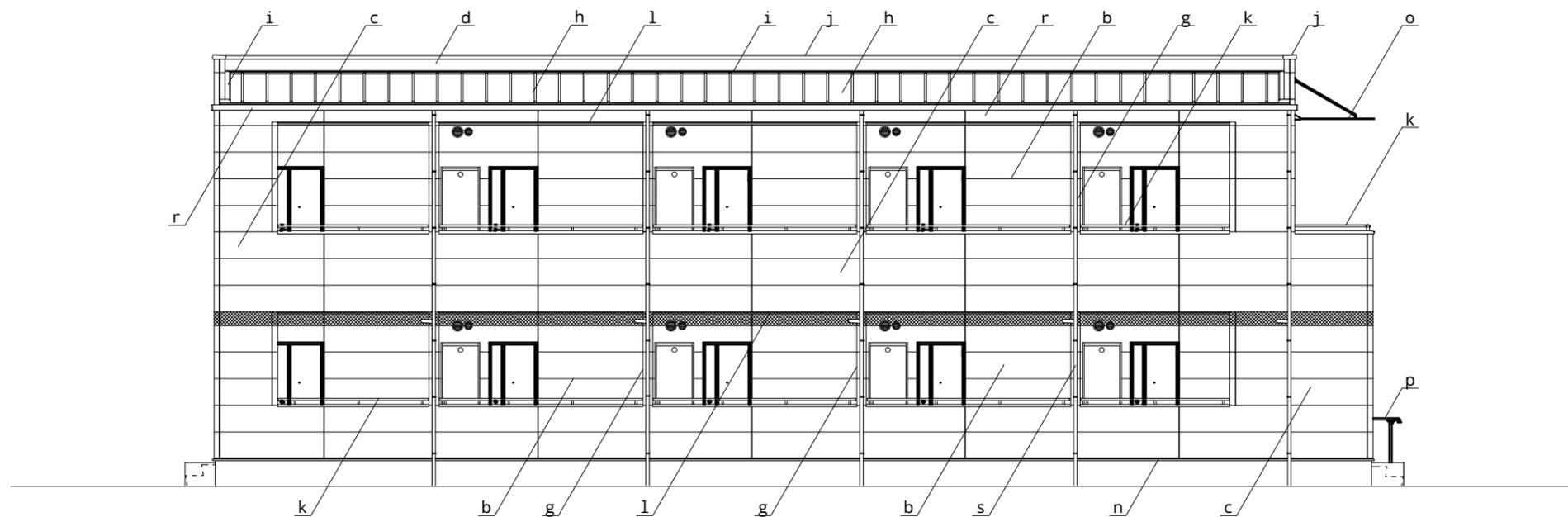
南西立面図 S = 1/100

軒 天	板野縁45×18-303@下地エコラックス軒天厚5張り	a	妻側壁、構造用合板特類2級厚12、透湿防水シート下地、厚16窯業系サイディング張	k	手摺笠木、YKKシンプルオ ハンドレールトップレールタイプ楕円手摺平笠木200
1階 バルコニー床	二重スラブコンクリート厚12、モルタル下地、NSシートNS800耐湿工法	b	平側壁、構造用合板特類2級厚12、透湿防水シート下地、厚16窯業系サイディング張	l	オーバーハング水切り、KmewRE341F4
2階 バルコニー床	構造用合板特類2級厚24+構造用合板特類2級厚21下地、FRP防水MPS-1W工法	c	階段壁及び廊下壁、筋違い耐力壁、透湿防水シート下地、厚16窯業系サイディング張	m	本体、土台水切り50(防鼠タイプ)B236W4、
階 段 床	階段段板鋼板スリーブプラスト下地処理、蹴込み一体型階段用床材張り(NSステップ800)	d	バルコニー壁及びバラベツ裏壁、透湿防水シート下地、厚16窯業系サイディング張	n	廊下、バルコニー手摺壁、土台水切り50、B238W4
鉄 骨 階 段	階段、鋼板6mm折曲げ、側桁鋼板9mm(亜鉛メッキドブ漬け2種HDZ50)	e	調整壁、構造用合板特類2級厚12、透湿防水シート下地、厚16窯業系サイディング幅寸カット	o	アルポリックひさしAP60S出幅1350
1階廊下床	二重スラブコンクリート厚12、モルタル下地、NSシートNS800耐湿工法	f	バルコニー出隅、透湿防水シート下地、厚16窯業系サイディング同質出隅、外寸カット	p	手摺、四国化成セフティビームSJ型38(埋込支柱)
2階廊下床	構造用合板特類2級厚24+構造用合板特類2級厚21下地、FRP防水MPS-1W工法	g	廊下柱型、透湿防水シート下地、厚16窯業系サイディング同質出隅、外寸カット	q	梁型、透湿防水シート下地、厚16窯業系サイディング、笠木ニスクカラーSGL厚0.4
小 階 段	二重スラブコンクリート厚12、モルタル下地、NSシートNS800耐湿工法	h	屋根、野地板硬質木片セメント板厚18、ニスクカラーSGL厚0.4、AK瓦棒葺き	r	軒樋、パナソニック、サーフェスケアFS-1 樹脂吊具900@
小階段段側	基礎コンクリート立上り、薄塗り色モルタル厚5	i	雨押え、押え板105×15下地ニスクカラーSGL厚0.4(棟側水上面戸共)	s	縦樋、カラー塩ビパイプVP50A、掴み金物ステンレス製1000@以下
花 壇	基礎コンクリート300W×100h土被り150、レンガ積み210×100×60(目地10)	j	笠木、YKKシンプルオ ハンドレール内勾配笠木200or210	t	階段、鋼板スリーブプラスト下地処理蹴込み一体階段用床材張り(NSステップ800)

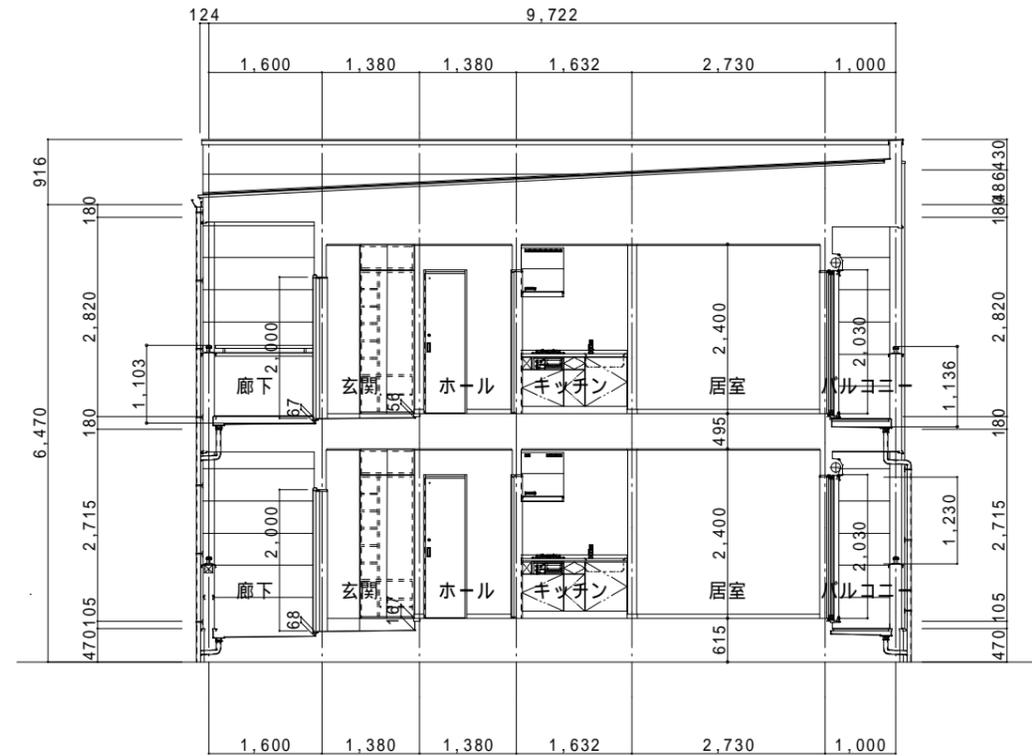
社会福祉法人黒潮園社員寮新築工事	北立面図・西立面図		建築	一級建築士事務所 和歌山県(イ)第6481号 一級建築士登録 第93556号
	DATE	令和 年 月 日	SCALE	S=1/100
			設計	烏藤 一級建築設計事務所
			監理	和歌山県新宮市馬町1丁目1番4号 TEL (0735)21-1272 FAX (0735)21-7152 烏藤 昭博



東南立面図 S = 1/100

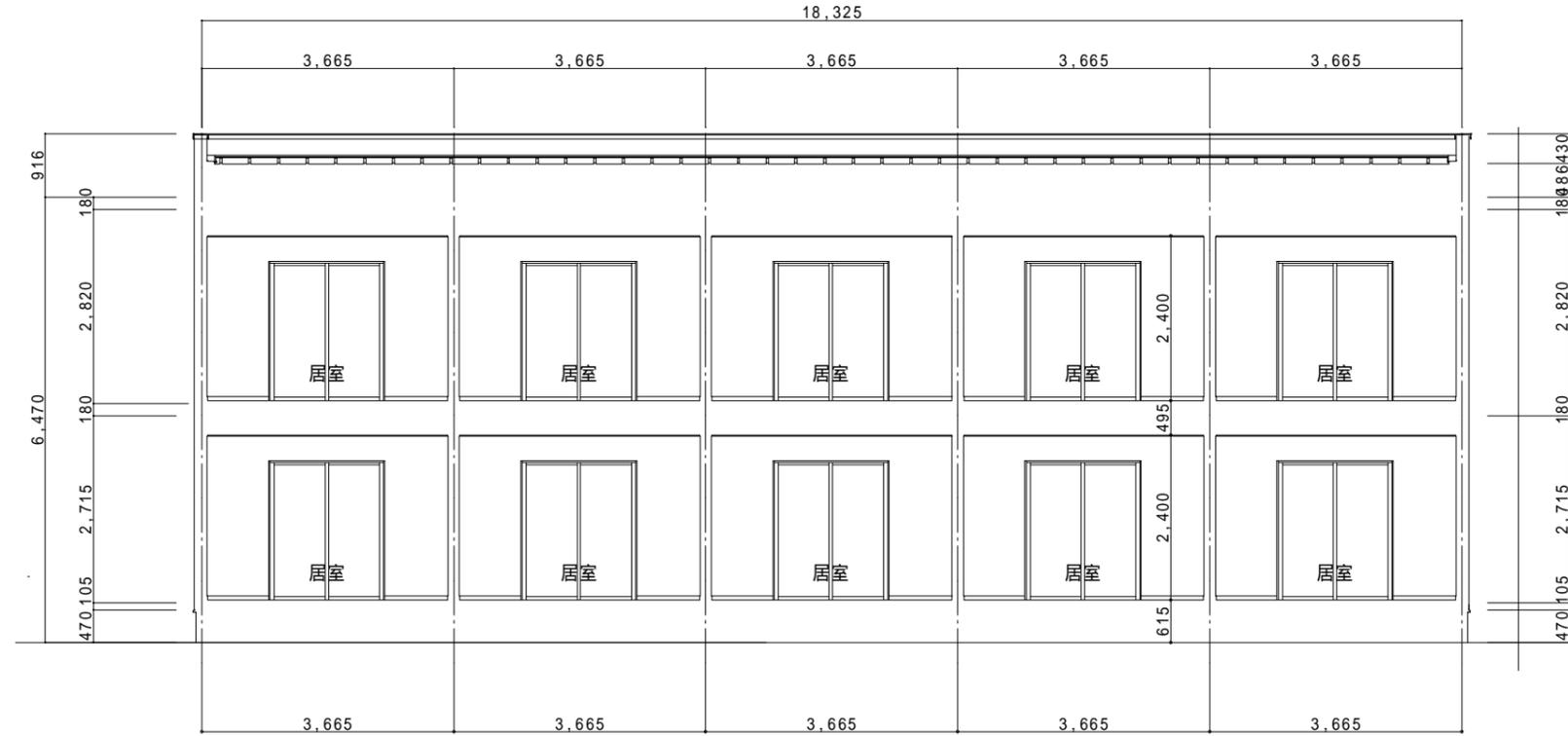


北東立面図 S = 1/100

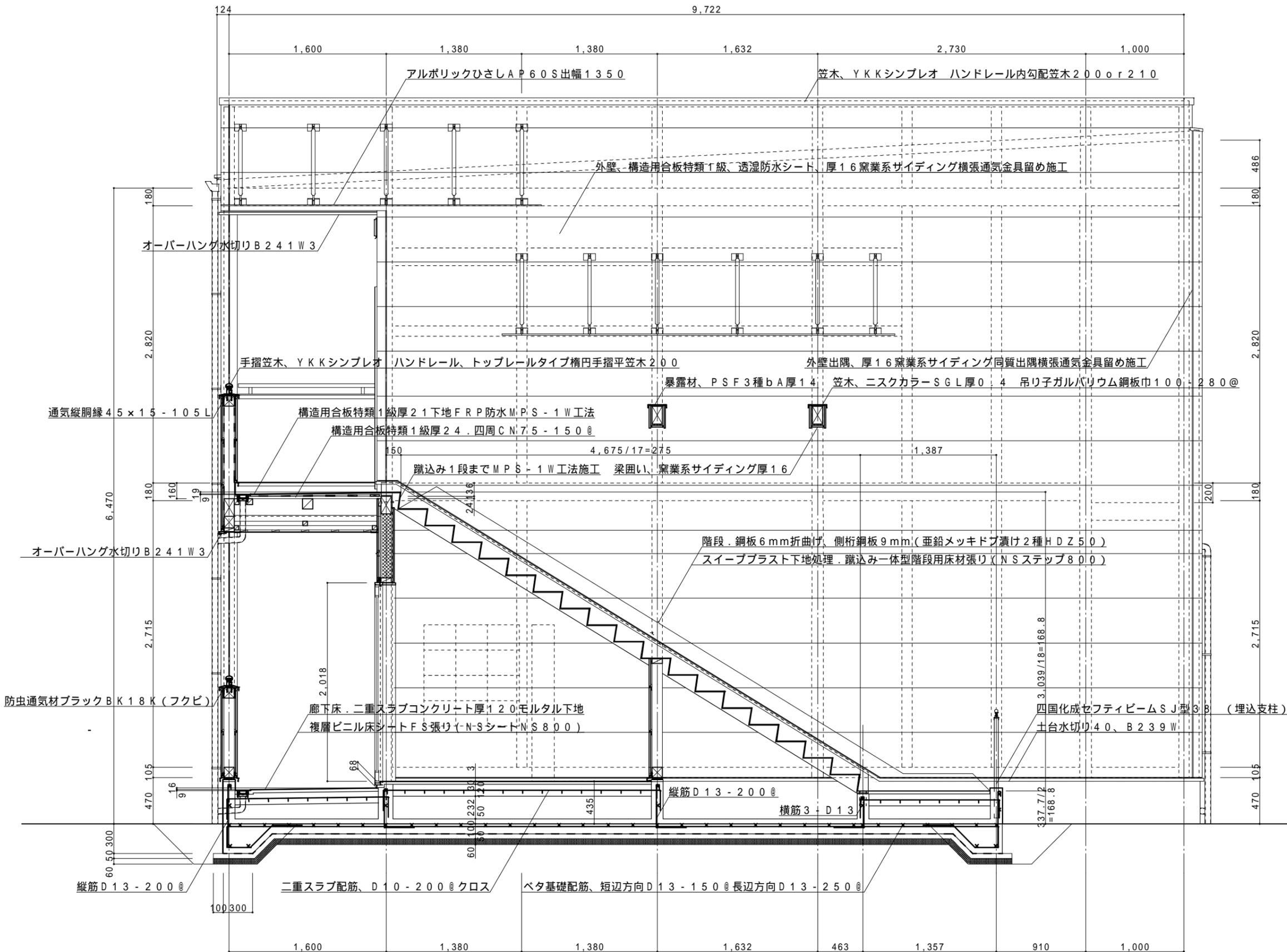


Y - Y ' 断面図 S = 1 / 100

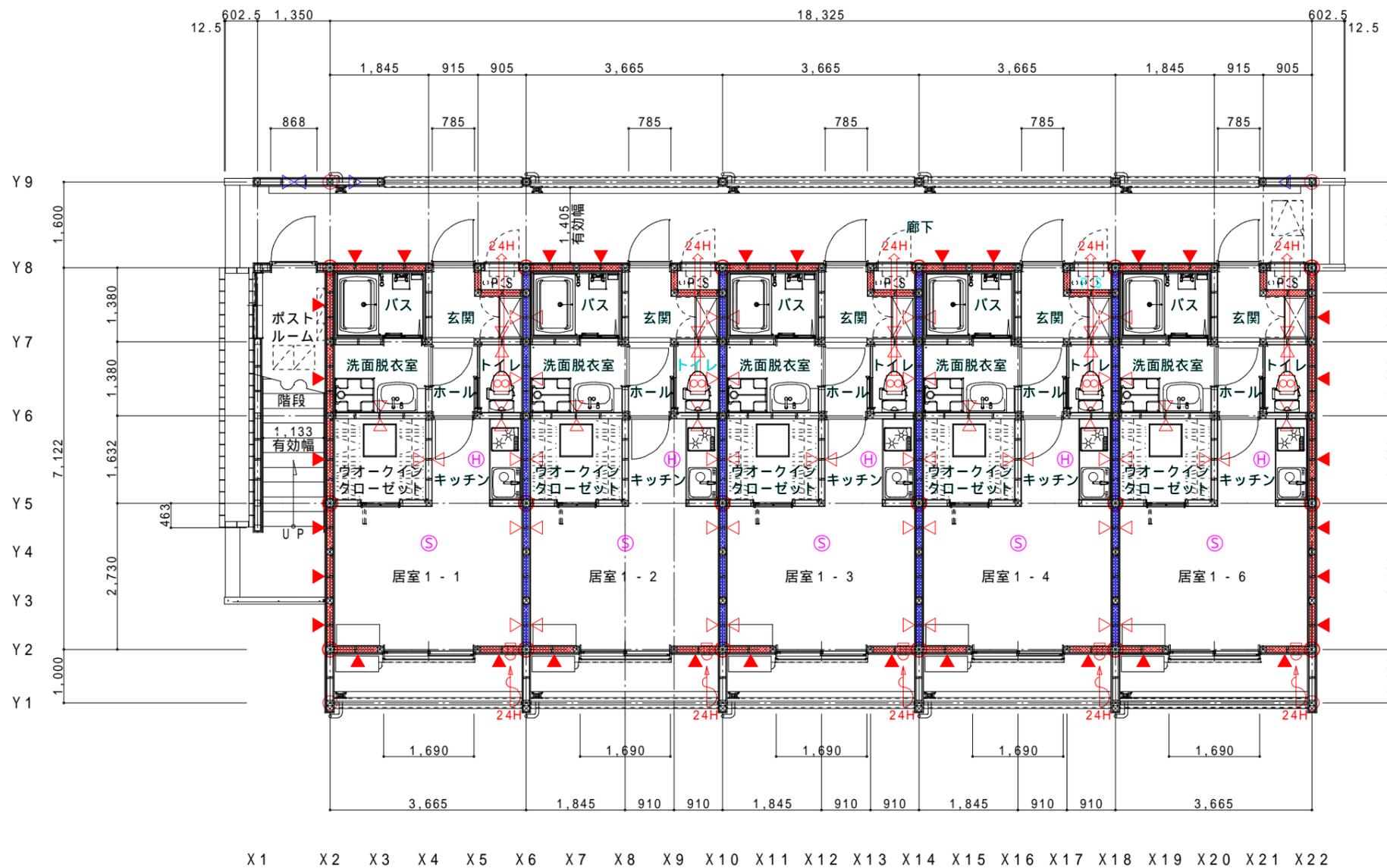
居室の有効採光面積
 居室床面積 12.98㎡
 必要開口面積 $12.98\text{m}^2 \times 1/7 = 1.85$
 窓面積 $1.650 \times 1.230 = 2.02$
 $2.02 > 1.85$ OK



X - X ' 断面図 S = 1 / 100



A - 2 矩 計 図 S = 1 / 40



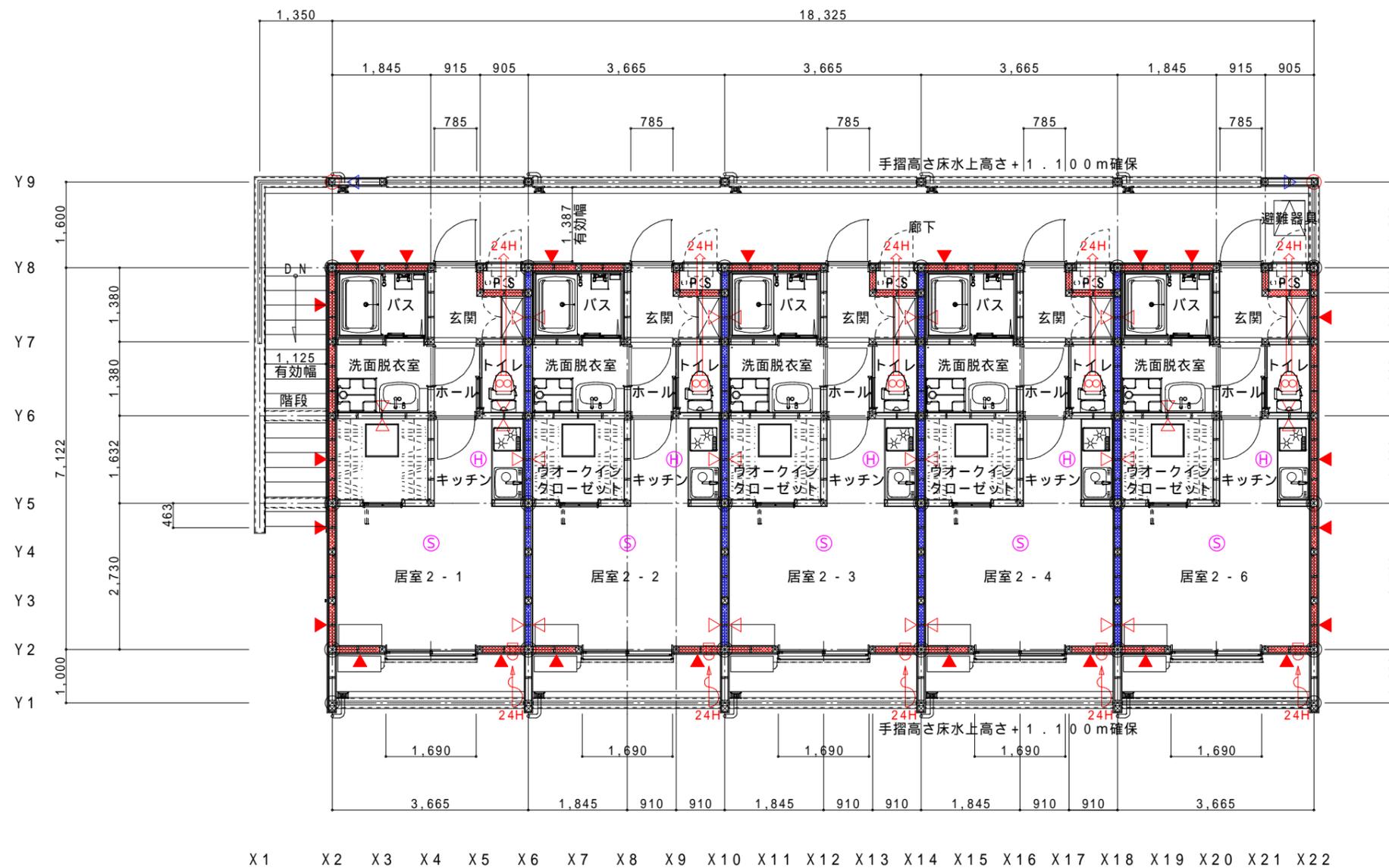
1階平面図 S = 1/100

建築概要

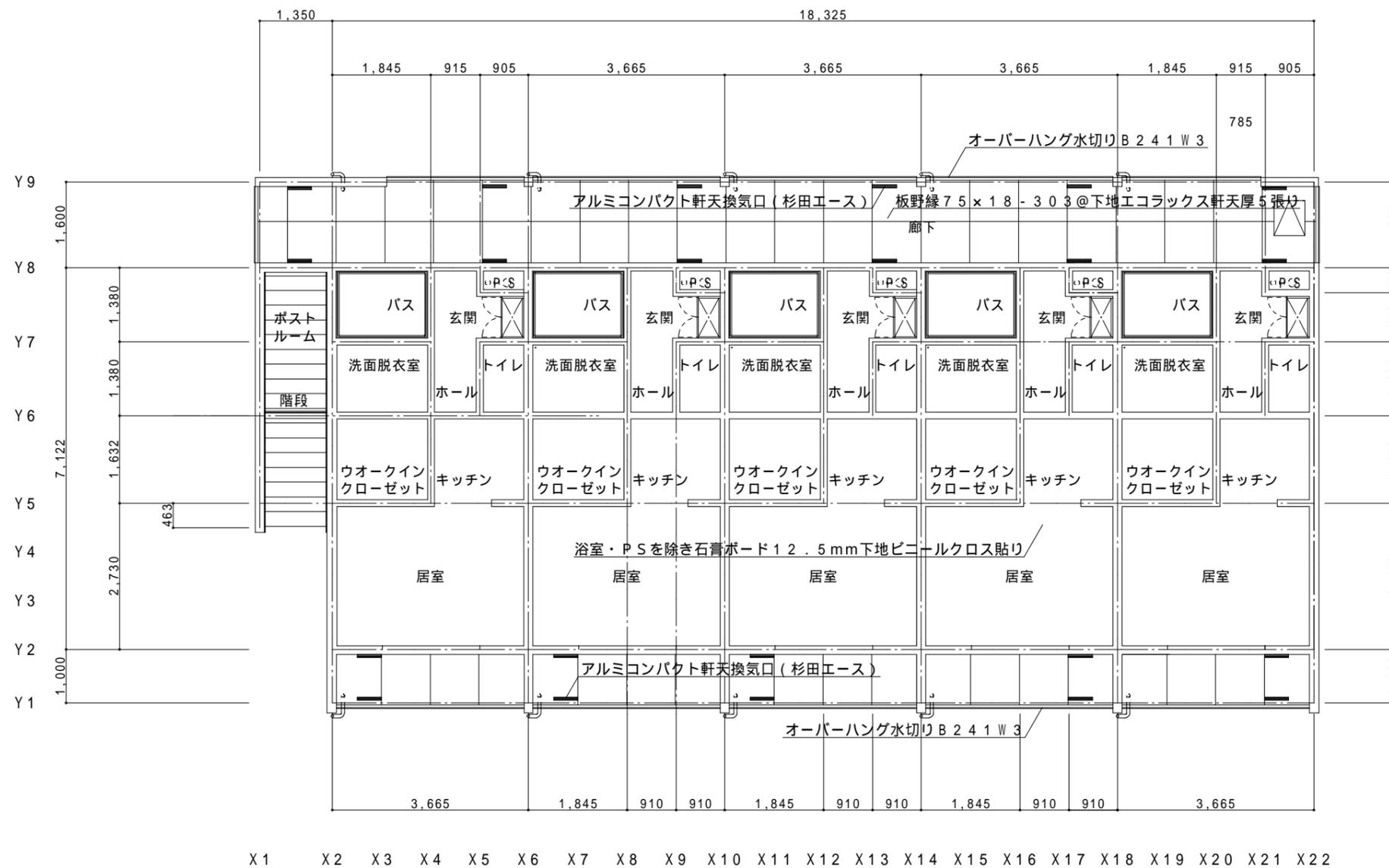
用途地域	都市計画区域内・第一種住居地域・準工業地域	道路斜線	勾配 = 1.25 : 1 (適用距離: 容積200%以下 20.0m)	外部手摺高さ	廊下及びバルコニーの手摺高さ、水上高さ+1.100以上確保
防火地域	防火・準防火指定なし・法22条地域	隣地斜線	高さH = 20.0m + (1.25 : 1)	廊下巾、床仕上	廊下有効幅1.387、床仕上は特類合板下地FRP防水MPS-1W工法飛び火認定DR-0703号
日影規制	5h・3h 測定点H = 4.0m 対象外(最高高さH = 10.0m超で対象)	最高の高さ	7.386m	界壁遮音構造	告示1827号第二、ニイ及び口(2)グラスウール(密度10kg/m ³)厚100、石膏ボード12.5mm×2枚張
建蔽率	190.80 / 798.48 = 0.2389 23.89% < 60.00% OK	最高の軒の高さ	6.470m	屋外階段寸法	鉄鋼階段(垂鉛メッキボツ漬2種HDZ50)階段巾1125、蹴上げ169、踏面275
容積率	340.60 / 798.48 = 0.6265 42.65% < 200.00% OK	居室の床の高さ	0.615m	筋違い耐力壁	筋違いタスキ掛90×45(2.5倍) 筋違いタスキ掛90×45(倍率2)
敷地面積	798.48m ²	屋根葺材料	野地板硬質木片セメント板厚18、SGL厚0.4、AK瓦棒葺き(RP030RF-9082)	合板耐力壁	告示1100号、別表第1(1)CN50釘150@四周釘打ち(倍率2.5)
建築面積	190.80m ²	外壁仕上材	窯業系サイディング厚16(PC030BE-9201)(内壁側石膏ボード厚12.5)	PB耐力壁	告示1100号、別表第1(10)GNF40釘150@四周釘打ち(倍率1)
1階床面積	180.77m ²	軒天井仕上	珪酸カルシウム板厚5(NM-1217)	建築設備	電気・カス・換気・空調・給排水・住宅用火災警報器・浄化槽
2階床面積	159.83m ²	床下断熱材	床断熱材、押出法ポリスチレンフォーム3種aD厚50	給湯方法	PS上方排気型ガス給湯器20号設置
延べ面積	340.60m ²	外壁断熱材	外壁充填断熱材、高性能グラスウール(密度20kg/m ³)厚105	24時間換気	24H 常時排気 24H 自然給気口
前面道路	北側: 9.500m	屋根断熱材	屋根断熱材、押出法ポリスチレンフォーム3種bA厚75	住宅用火災警報器	光電式2種 定温式

* 凡例 ○ : 通し柱120×120 ○ : 通し柱105×105

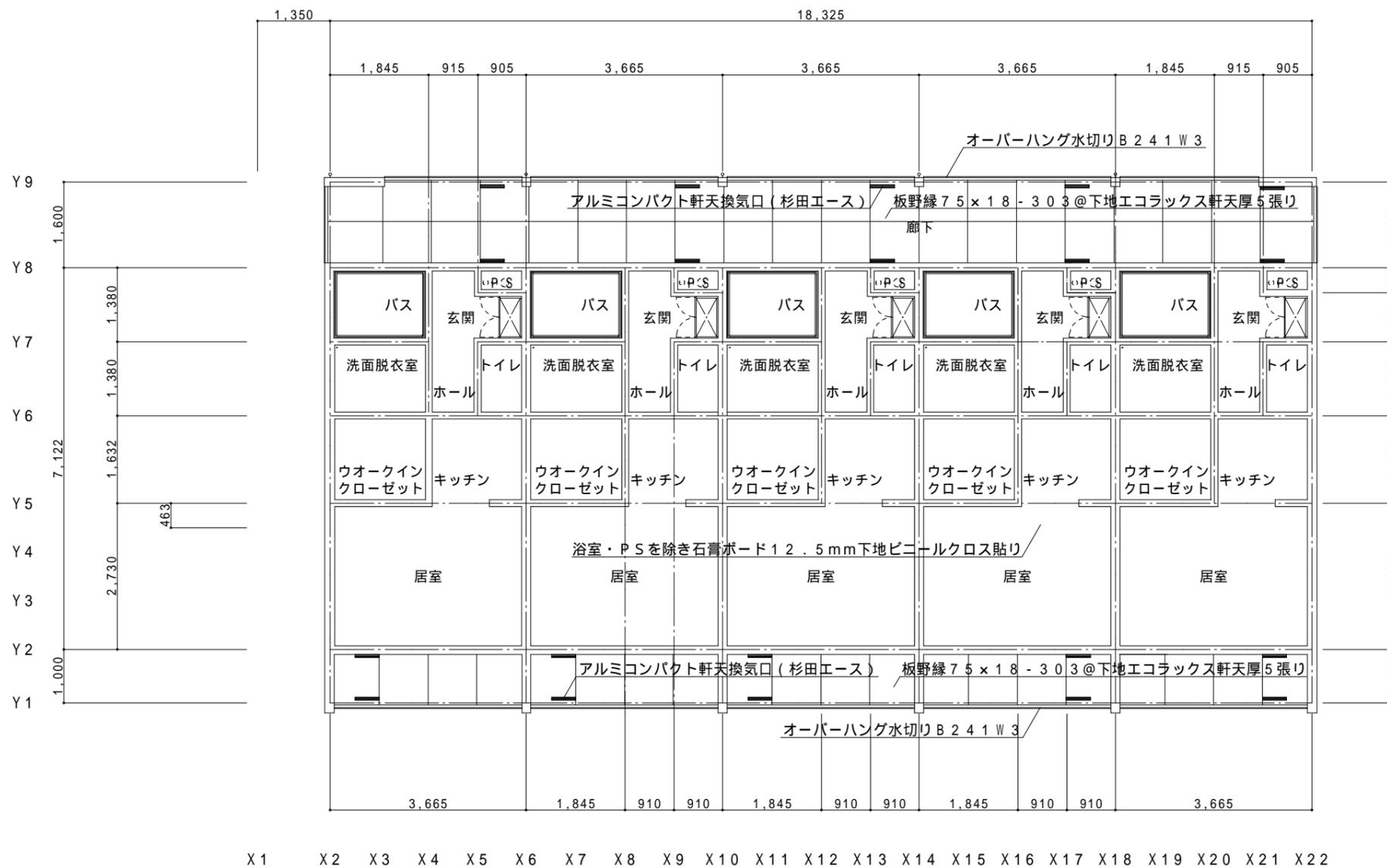
社会福祉法人黒潮園社員寮新築工事	1階平面図		建築 一級建築士事務所 和歌山県(イ)第648一号 一級建築士登録 第93556号 設計 烏藤一級建築設計事務所 監理 和歌山県新宮市馬町1丁目1番4号 TEL (0735)21-1272 FAX (0735)21-7152 烏藤 昭博
	DATE	令和 年 月 日	SCALE S=1/100



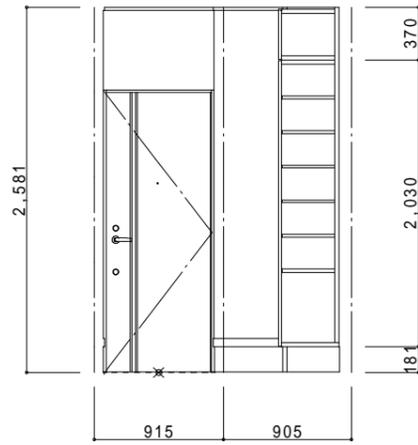
2階平面図 S = 1/100



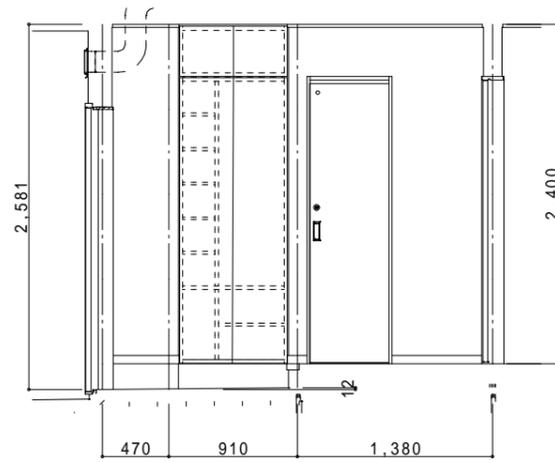
1階天井伏図 S = 1/100



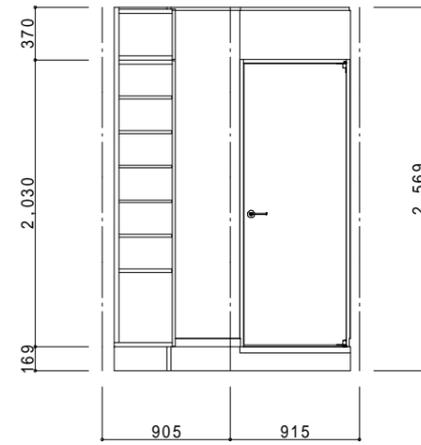
2階天井伏図 S = 1/100



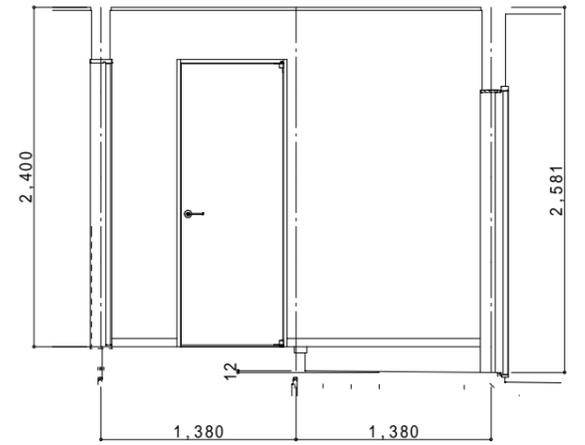
玄関・ホール A面



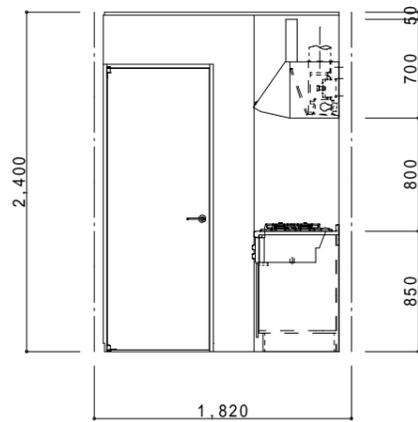
玄関・ホール B面



玄関・ホール C面



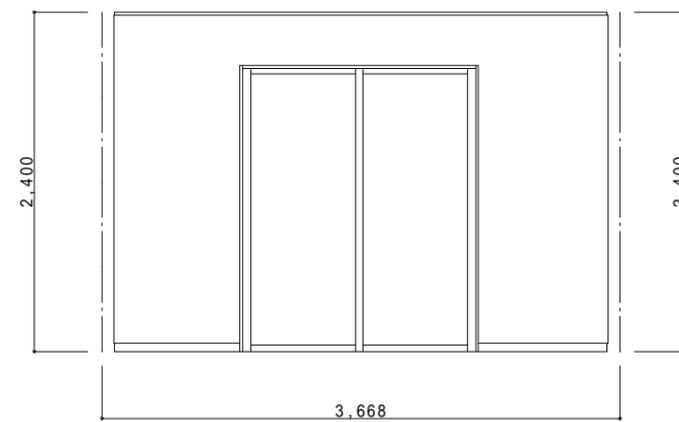
玄関・ホール D面



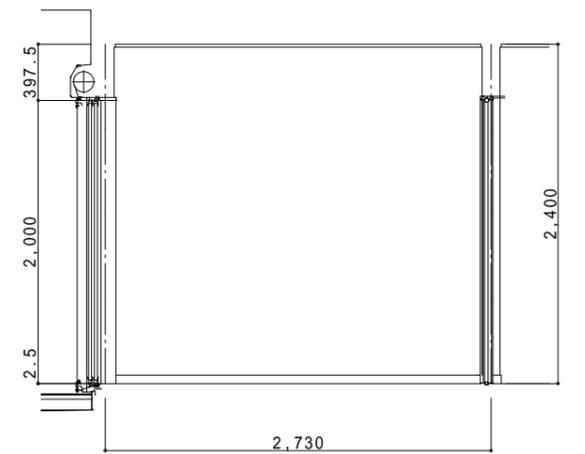
キッチン A'面



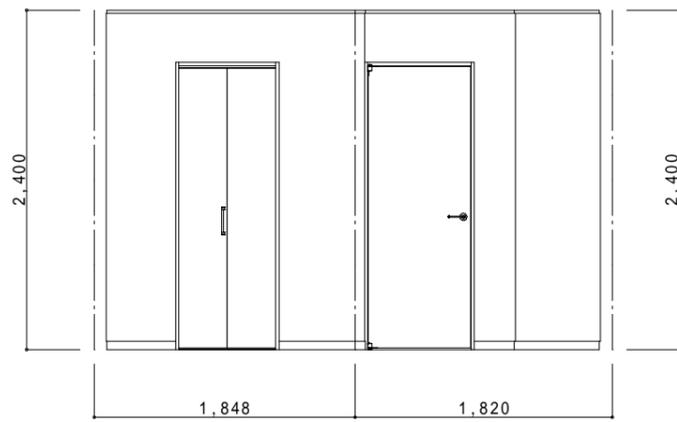
キッチン・居室 B面



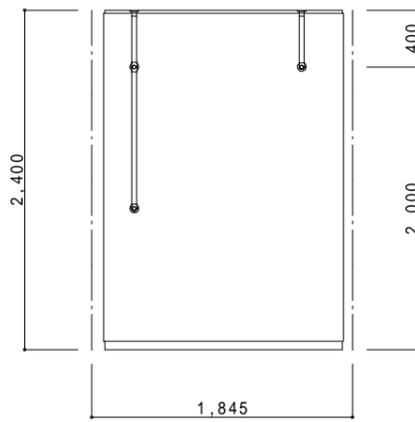
居室 C面



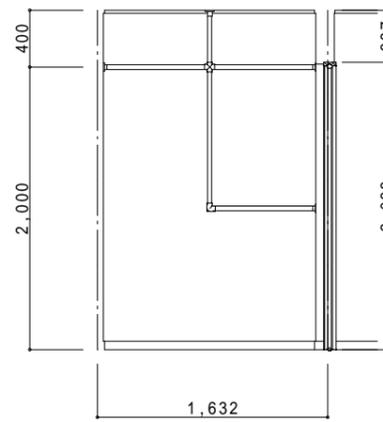
居室 D面



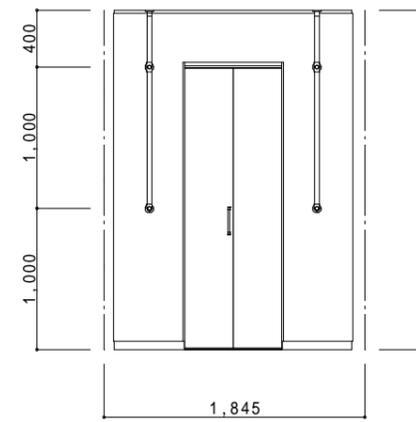
居室 D面



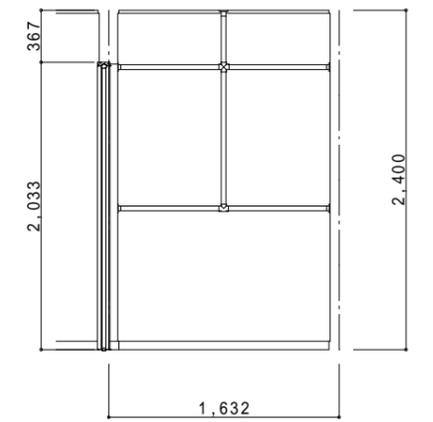
クローゼット A面



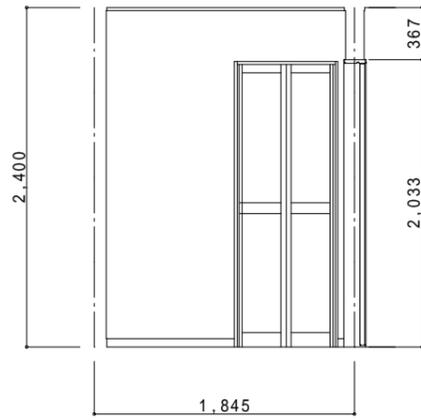
クローゼット B面



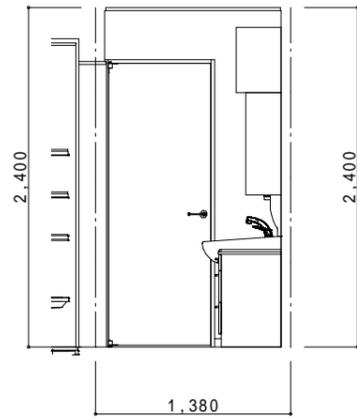
クローゼット C面



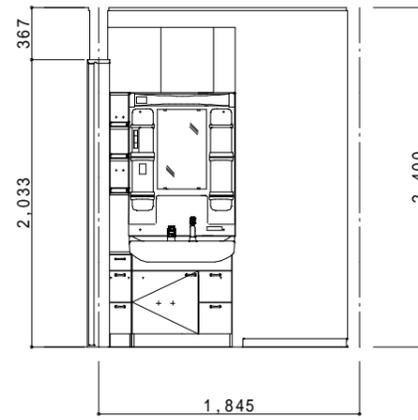
クローゼット D面



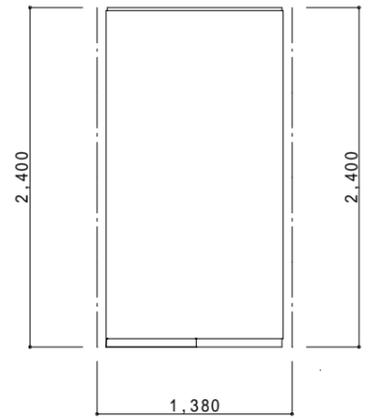
洗面・脱衣室 A面



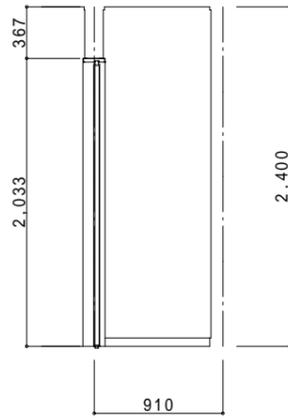
洗面・脱衣室 B面



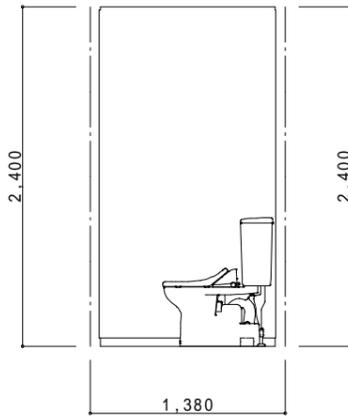
洗面・脱衣室 C面



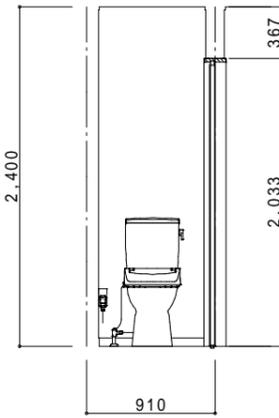
洗面・脱衣室 D面



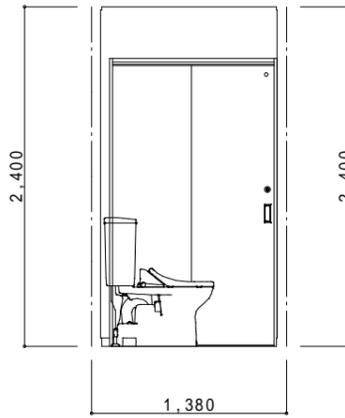
トイレ A面



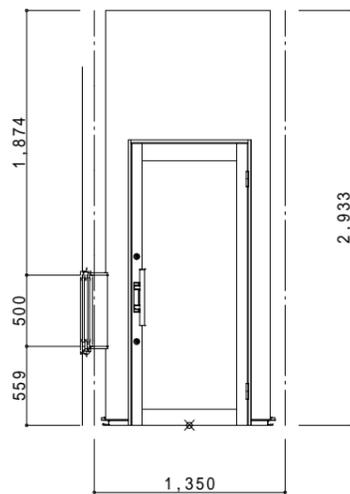
トイレ B面



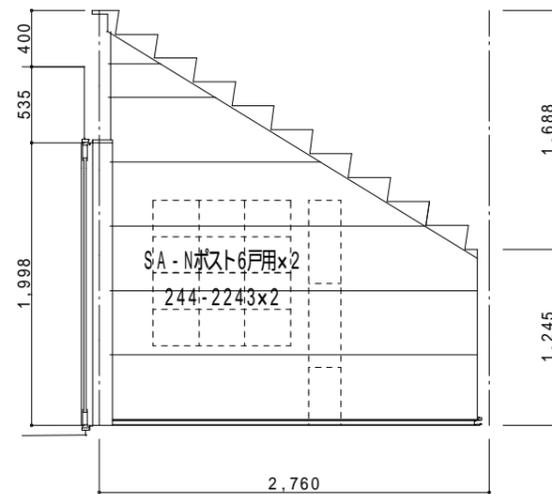
トイレ C面



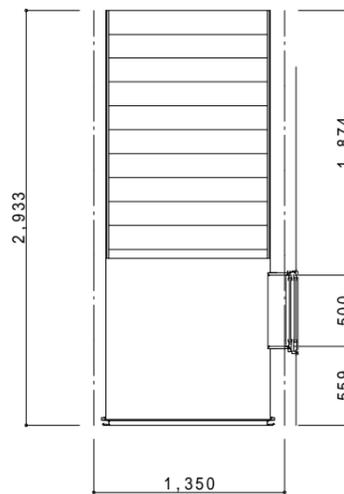
トイレ D面



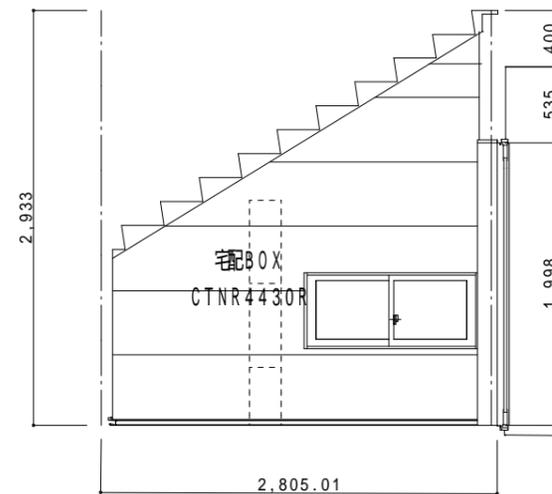
ポストルーム A面



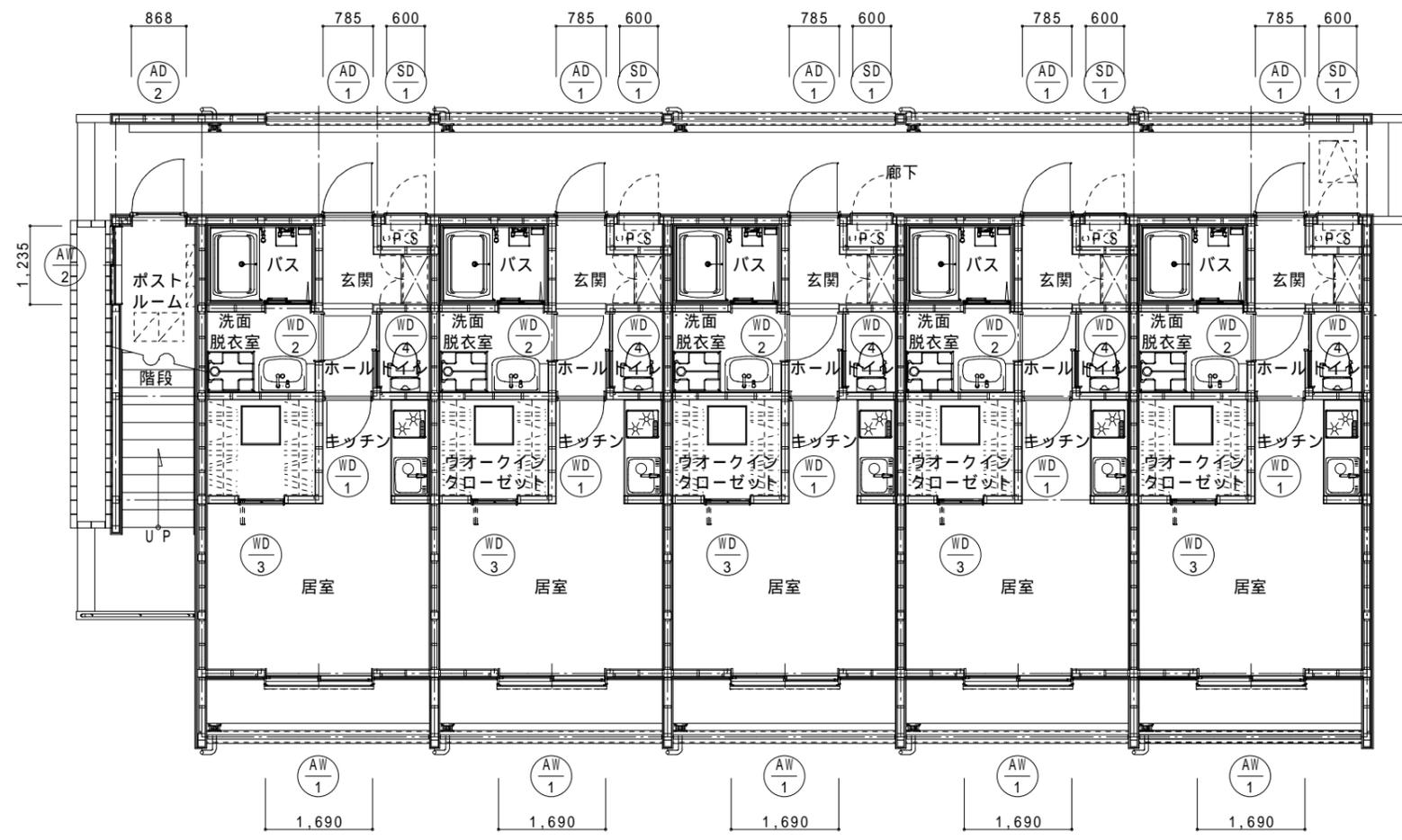
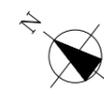
ポストルーム B面



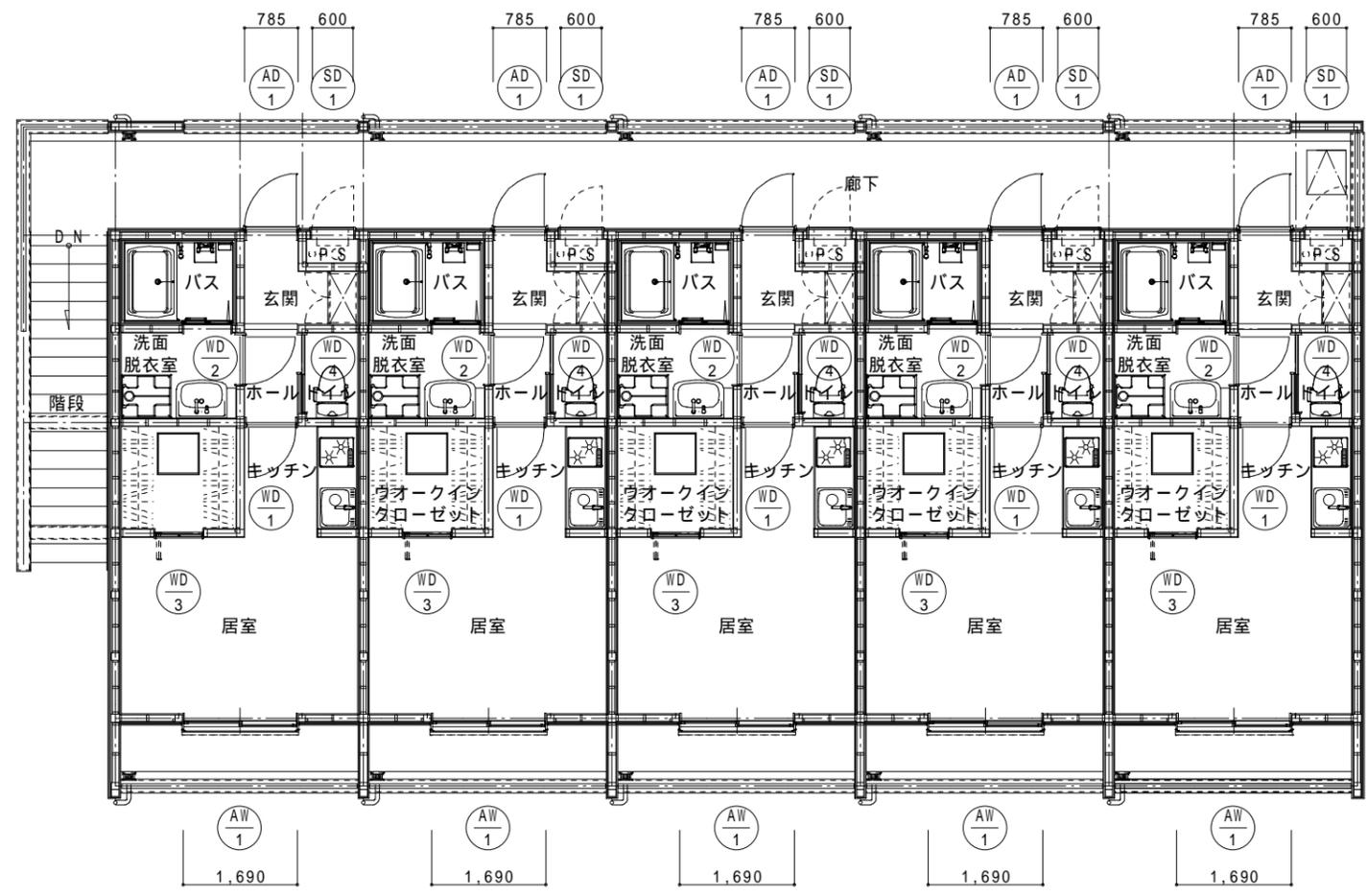
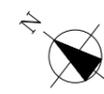
ポストルーム C面



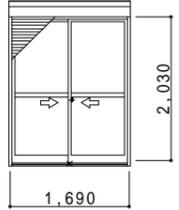
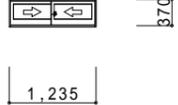
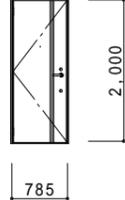
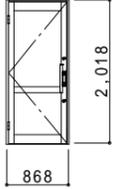
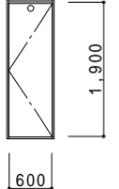
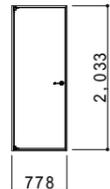
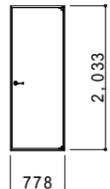
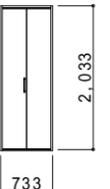
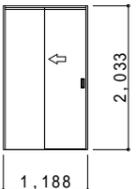
ポストルーム D面

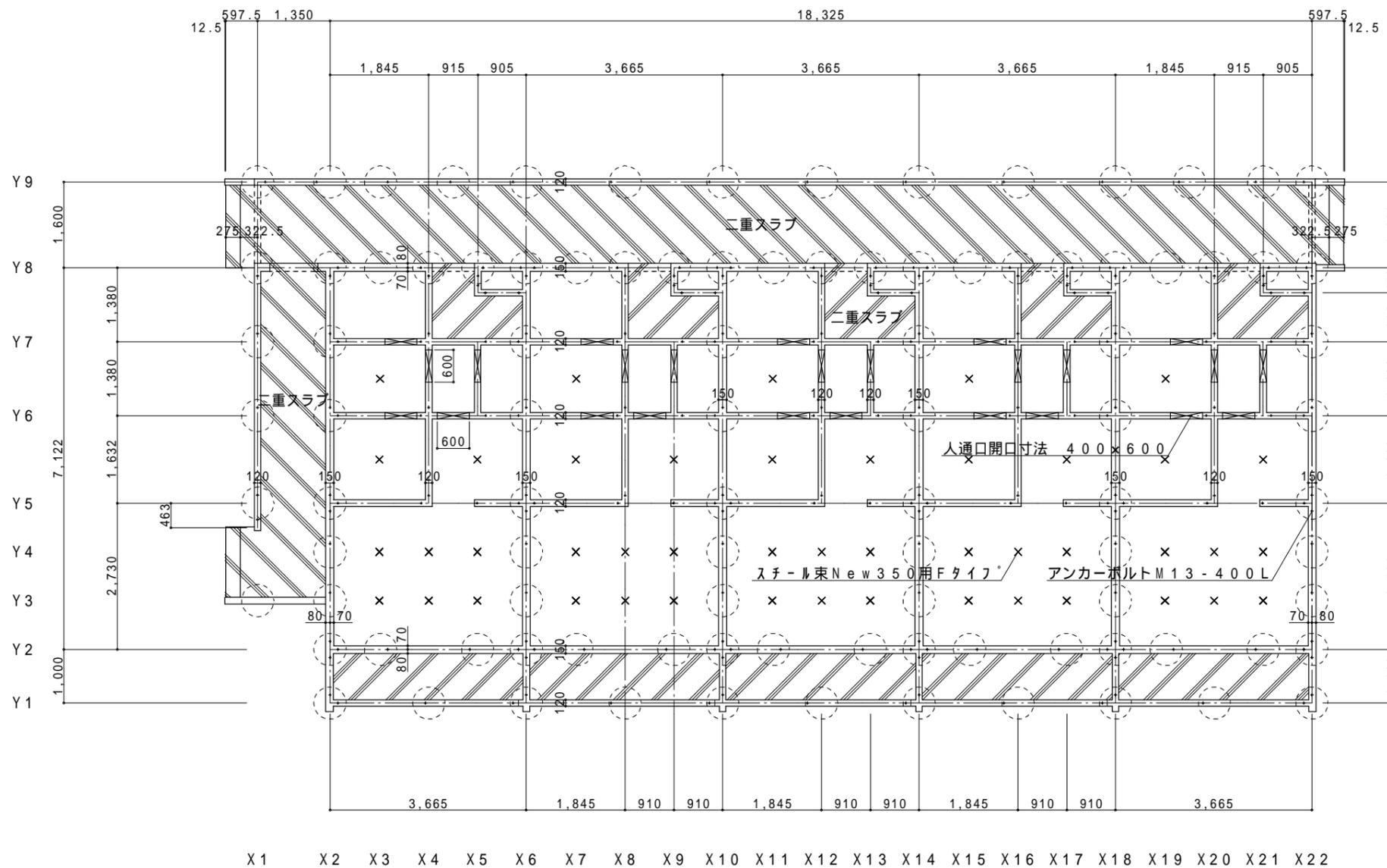


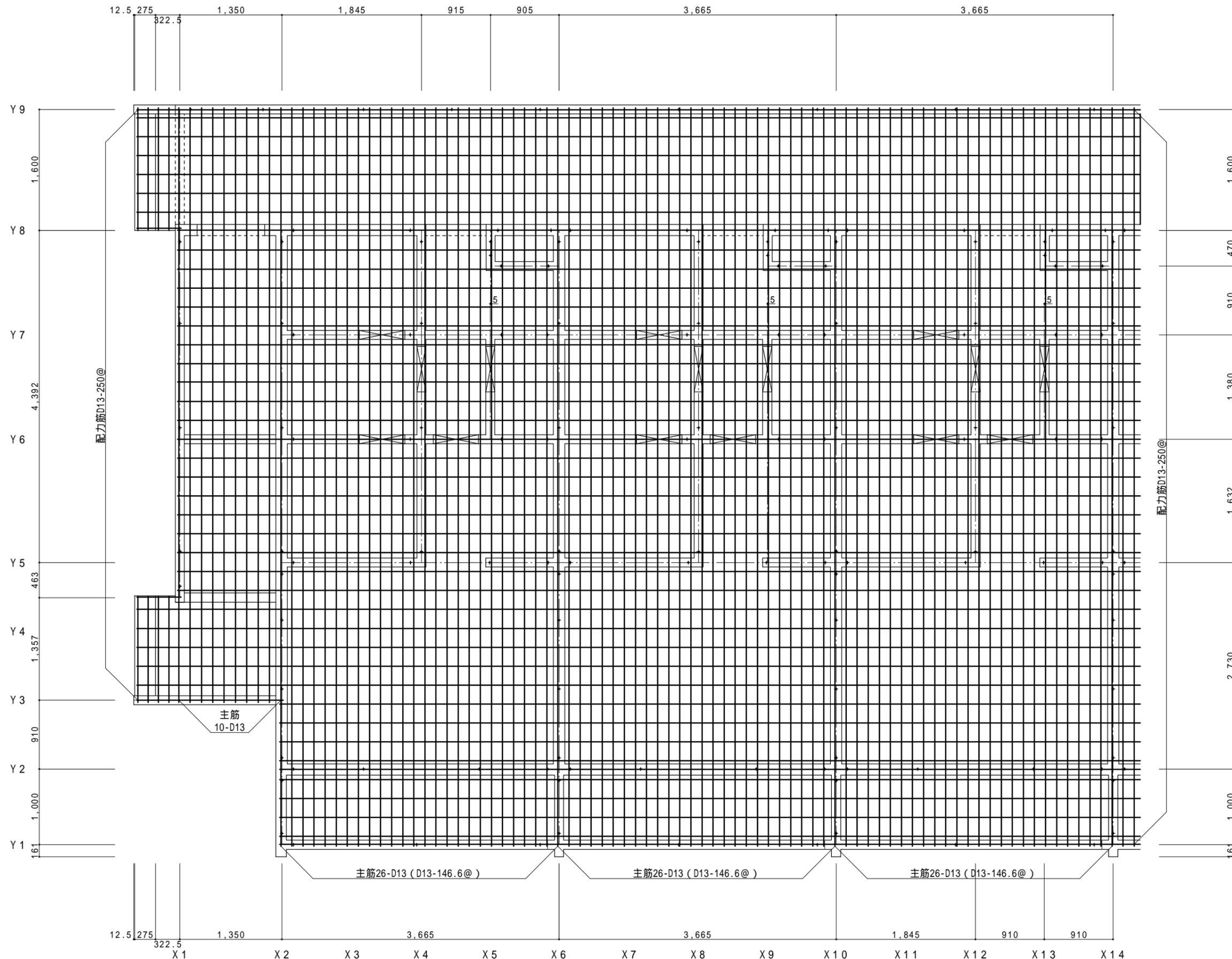
1階平面図 S = 1/100



2階平面図 S = 1/100

記号	① フレミングJシャッター付引き違い窓(耐風仕様)	① フレミングJ複層引き違い窓		
姿図	 (12)	 (1)		
材料・仕上	アルミ押し型材・陽極酸化皮膜+着色系塗膜	同左		
建具金物	主要装備品・主要部品	同左		
硝子	一般複層ガラス FL4+A12+FL4	同左		
シャッター・枠・障子	フレミングJ YHS-16520RS2M+NHS-16520-M-APY	フレミングJ NHT-11905-M-AP		
備考	網戸:標準	同左		
記号	① レガー口[V型]D3仕様	② 店舗ドア7TD-4B01-01L2		① ガスチャンル'-屋内設置4型-2
姿図	 (12)	 (1)		 (12)
材料・仕上	アルミ押し型材・陽極酸化皮膜+着色系塗膜、ドアカラー鋼板	アルミ押し型材・陽極酸化皮膜+着色系塗膜		溶融亜鉛メッキ鋼板 サッシプライマー仕上
建具金物	主要装備品・主要部品	同左		主要装備品・主要部品
硝子		一般複層ガラス FL4+A12+FL4		
枠・ドア本体	D3断熱枠CAD-W-3A-00LY2V+CAD-D-4AR04-LY2V	H27TD-4B01-13L2V 室内鏡縁用アングル(DJA-1001)		
備考	YSKAG-CAD-GLY2A-DV	下枠ステンレスカバー(YSBS-SC-101-TD)		杉田エース商品番号451-118 フッ素樹脂塗料吹付仕上
記号	① ラフォレスタ片開きドア	② ラフォレスタ片開きドア	③ ラフォレスタクローゼットドア	④ ラフォレスタ片引き戸
姿図	 (12)	 (12)	 (12)	 (12)
材料・仕上	フラッシュ構造・LVL・PB・スチール・MDF・樹脂シート	同左	同左	同左
建具金物	丸座ハンドル・ピボットヒンジ・ソフトクローズ部品	同左	ハンガーレール・ガイドレール・ハンドル・埋込下枠アルミ	上部ガイド戸車・ラウンドレール・引き手・ベアリング戸車
硝子				
備考	F9MDA-W-07720-H2L+F9MDA-S-07720-TA-H	F9MDA-W-07720-H2R+F9MDA-S-07720-TA-H	F9MCF-W-07320-TA-3N+F9MCF-S-07320-TA-L	F9MWK-W-11820-C2KR+F9MVH-S-05820-TA-KR
	TY KAG-KMBTS-DA 埋込沓摺	TY KAG-KMBTS-DA+TY KMG-MTS-DA 埋込沓摺	TY MCF-T-TS+F9MCF-R-073-A	TY MVH-BC1+TY KAG-HTS-VK 埋込床見切



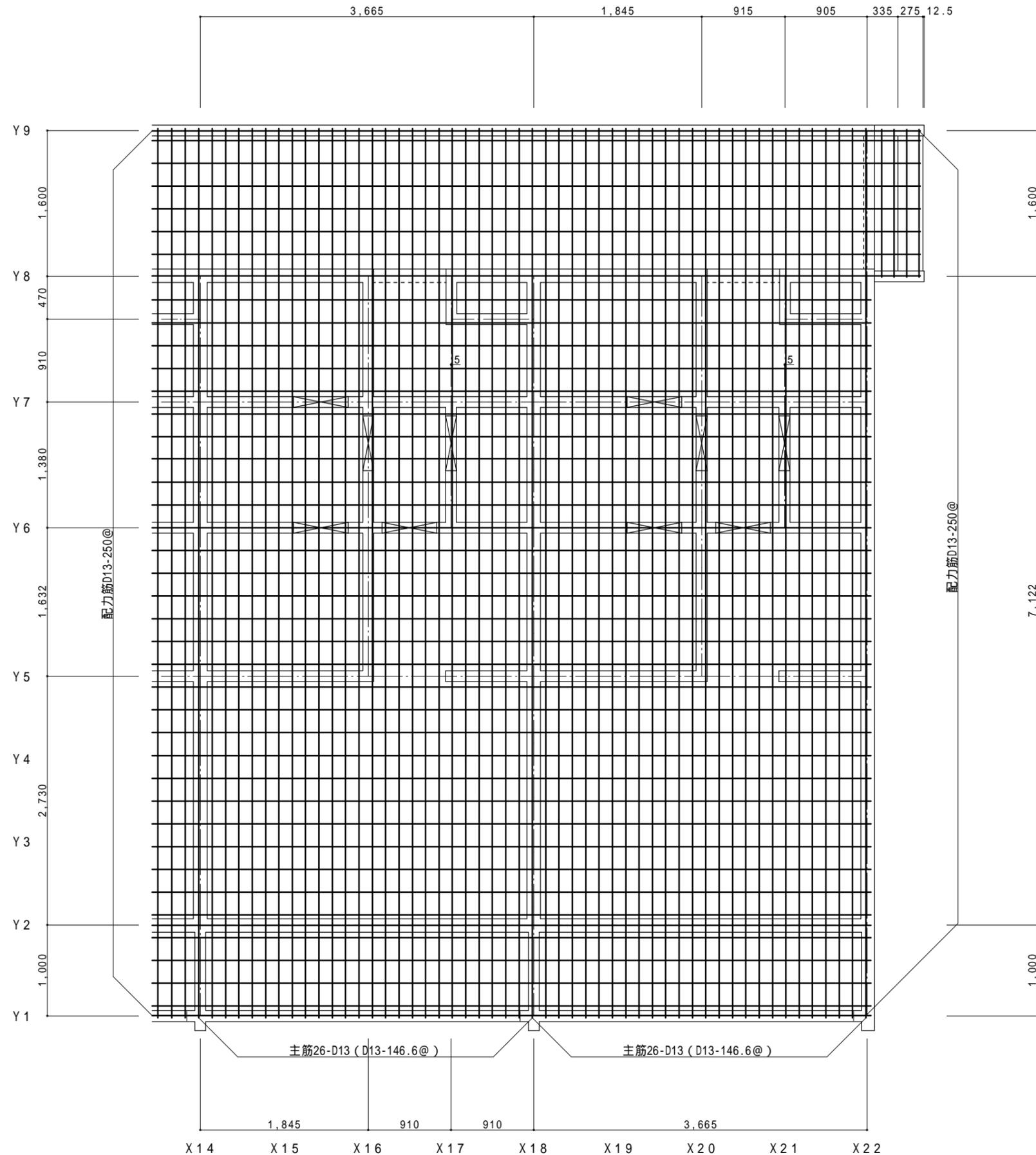


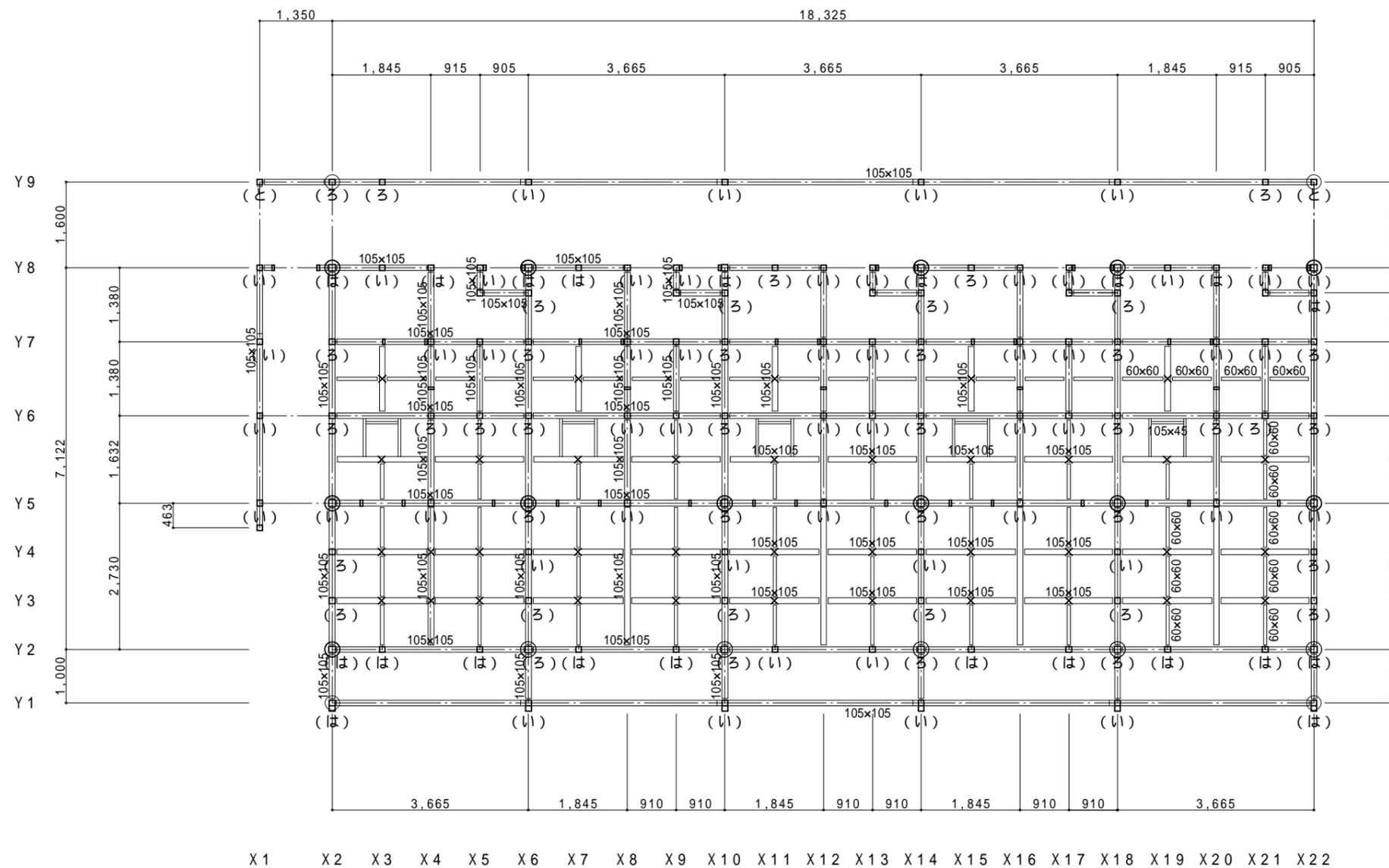
社会福祉法人黒潮園社員寮新築工事

基礎耐圧盤配筋図 X1通り ~ X14通り

DATE 令和 年 月 日 SCALE S=1/50

建築 一級建築士事務所 和歌山県(イ)第6481号 一級建築士登録 第93556号
 設計 烏藤一級建築設計事務所
 監理 和歌山県新宮市馬町1丁目1番4号 TEL (0735)21-1272 FAX (0735)21-7152 烏藤 昭博





1階床伏図 S = 1/100

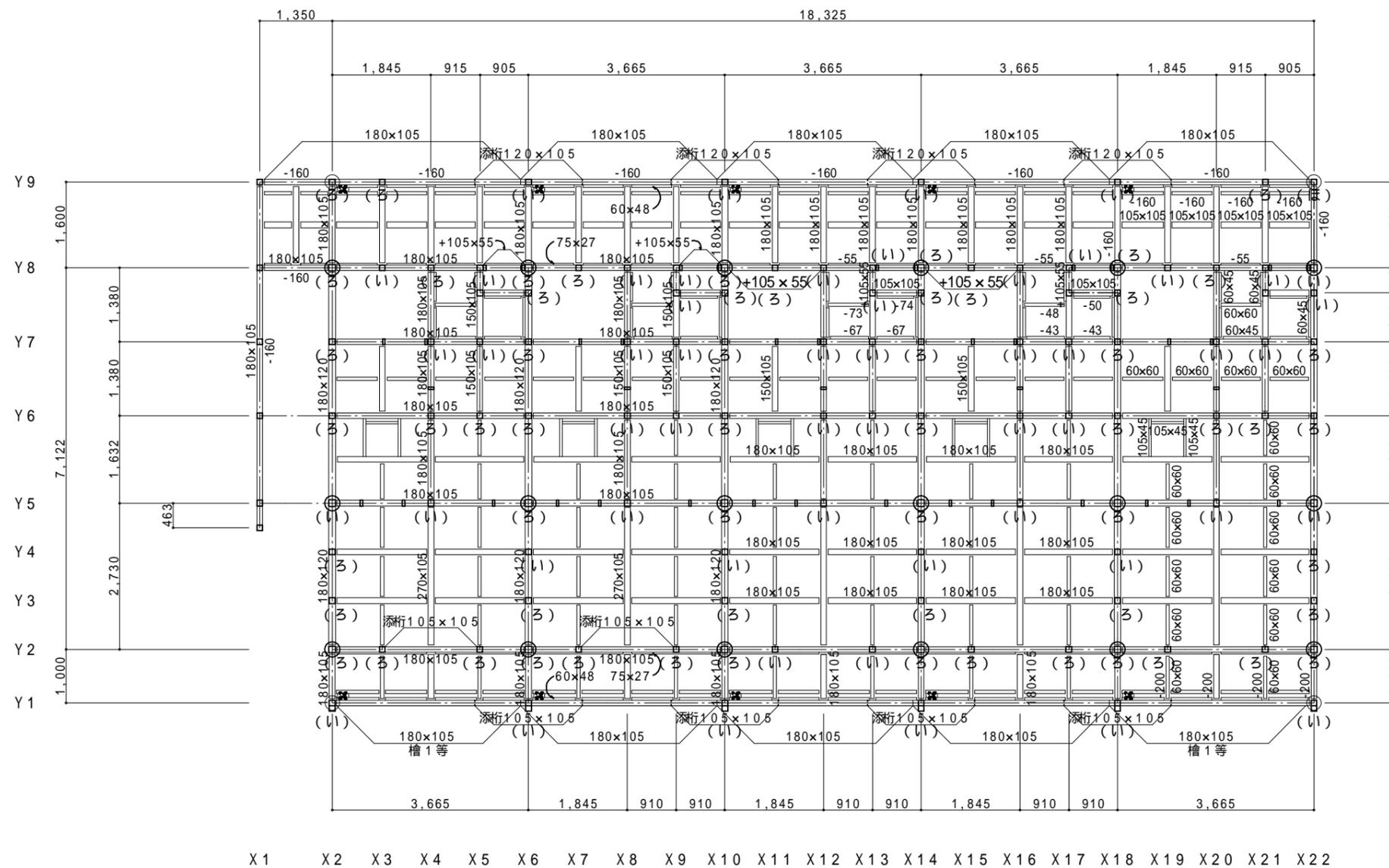
共通事項 (特記無きは下記による)

土台	====	: 杉材1等105 x 105
大引	====	: 杉材1等105 x 105
合板繋ぎ受材	====	: 杉材1等60 x 60-910φ
鋼製束	×	: 杉材、桧材105 x 105
上階柱	□	: 杉材、桧材105 x 105
通し柱	⊕	: 桧材1等120 x 120
2階床板	剛床仕様	: 構造用合板 (実付) 2級28 t

*注記: 防蟻防蟻措置: (社)日本しろあり協会認定防蟻防蟻剤・地盤面+1,200部分 (室内見掛け部分除く)

構造金物リスト			
記号	凡例	構造金物種別	アンカーボルト
	•	土台取付け用アンカーボルト12	アンカーボルト12 640 L
(い)		(い) L字合板仕様金物TBA-45(2本)TB-76(2本)又はかすがい打	
(ろ)		(ろ) L字合板仕様金物TBA-45(2本)TB-76(2本)	アンカーボルト12 640 L
(は)		(は) L字合板仕様金物TBA-55(3本)TB-101(2本)	アンカーボルト12 640 L
(に)		(に) L字腰折合板仕様金物TBA-65(4本)TBA-120(2本)	アンカーボルト12 640 L
(ほ)	•	(ほ) L字腰折合板仕様金物TBA-65(4本)TBA-120(2本)	アンカーボルト12 640 L
(へ)	•	(へ) 10KN用HD金物又は(へ) L字腰折合板仕様金物	アンカーボルト16 700 L
(と)	•	(と) 15KN用HD金物又は(と) L字腰折合板仕様金物	アンカーボルト16 700 L

* 1階上部構造金物も同種同箇所に取付けの事



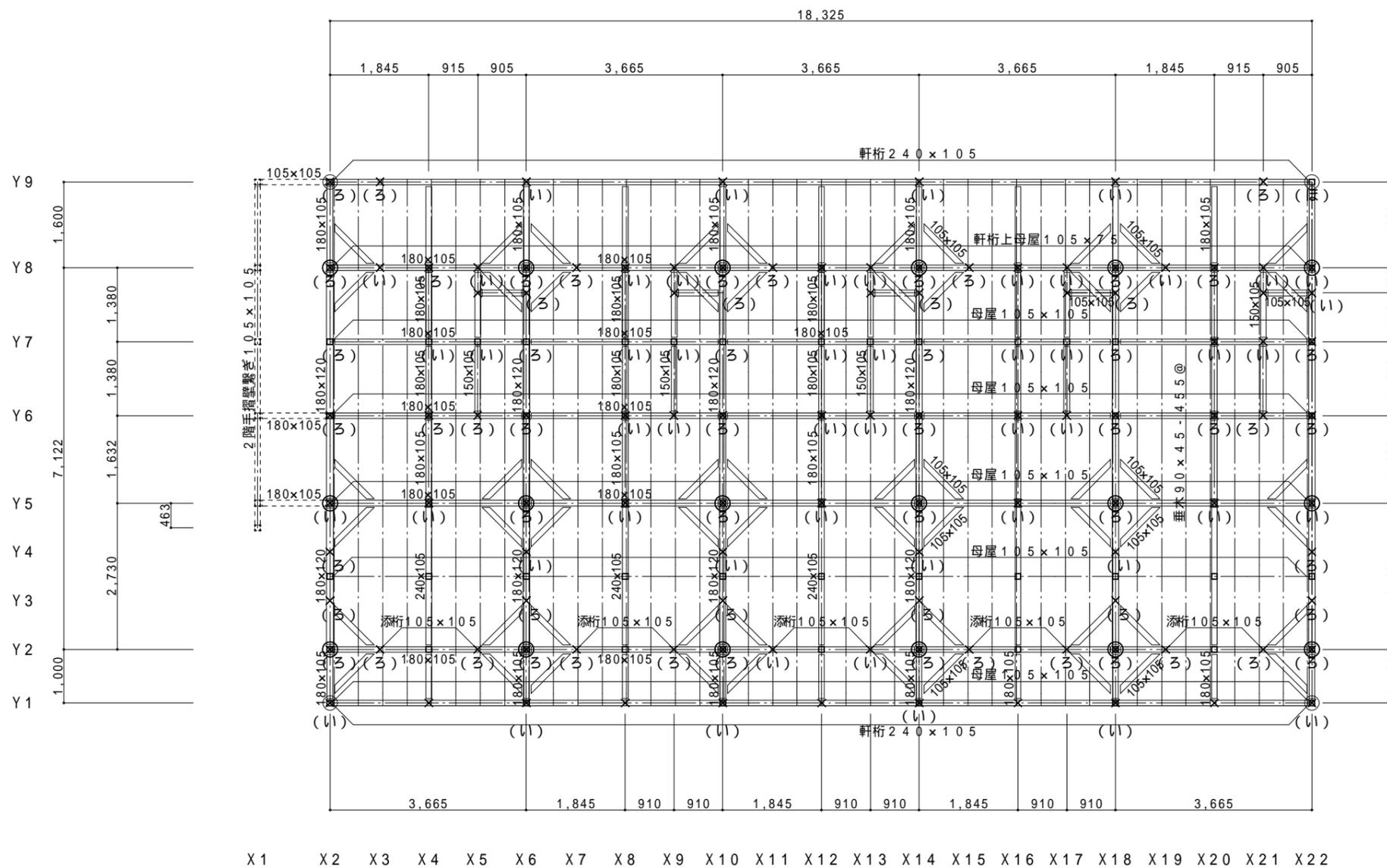
2階床伏図 S = 1/100

共通事項 (特記無きは下記による)

床 梁	====	: 杉材1等180×105
胴 差	====	: 杉材1等180×105
大 引	====	: 杉材1等105×105
合板繋ぎ受材	====	: 杉材1等60×60-910φ
下階柱又は束	×	: 杉材、桧材105×105
上階柱	□	: 杉材、桧材105×105
通し柱	⊙	: 桧材1等120×120
2階床板	剛床仕様	: 構造用合板1類1級28 t

構 造 金 物 リ ス ト			
記号	凡例	構 造 金 物 種 別	上下繋ぎボルト
(い)		(い) L字合板仕様金物TBA-45(2本)TB-76(2本)又はかすがい打	
(ろ)		(ろ) L字合板仕様金物TBA-45(2本)TB-76(2本)	
(は)		(は) L字合板仕様金物TBA-55(3本)TB-101(2本)	
(に)		(に) L字腰折合板仕様金物TBA-65(4本)TBA-120(2本)	
(ほ)	•	(ほ) L字腰折合板仕様金物TBA-65(4本)TBA-120(2本)	
(へ)	•	(へ) 10KN用HD金物又は(へ) L字腰折合板仕様金物	両ネジボルト16 800 L
(と)	•	(と) 15KN用HD金物又は(と) L字腰折合板仕様金物	両ネジボルト16 800 L

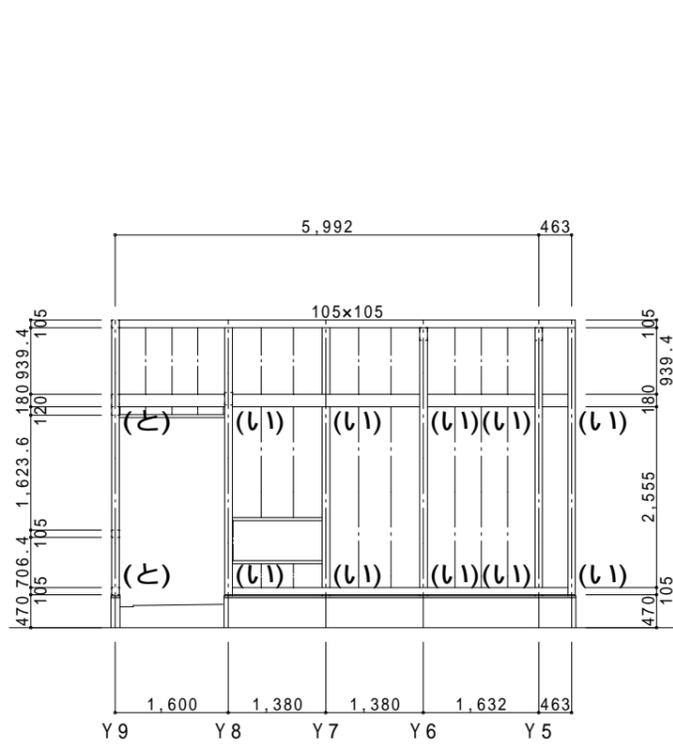
* 2階上部構造金物も同種同箇所に取付けの事



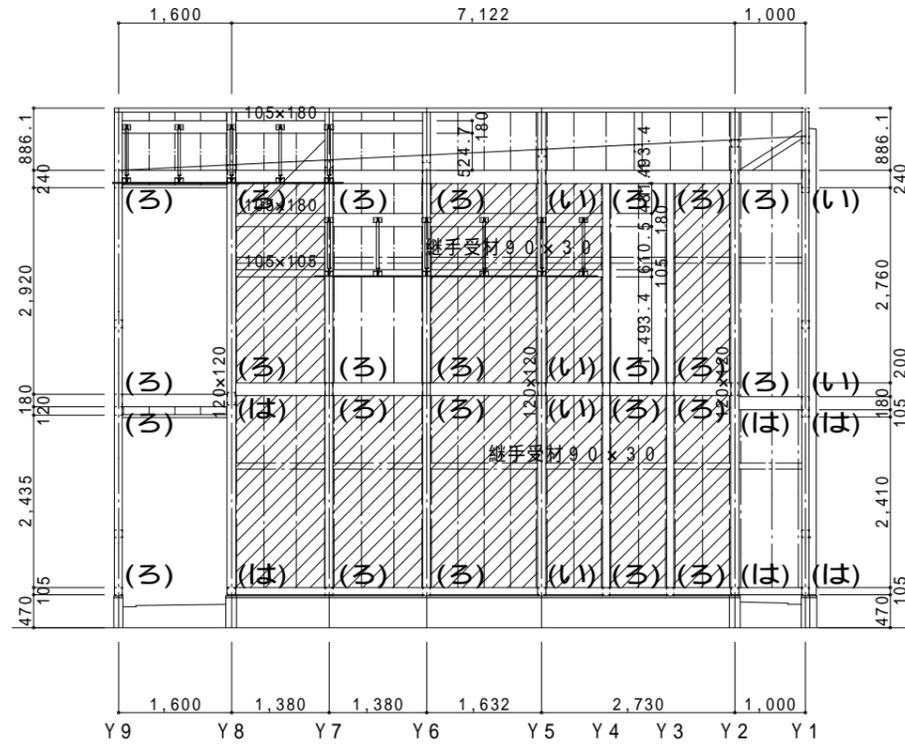
小屋伏図 S = 1/100

共通事項 (特記無きは下記による)

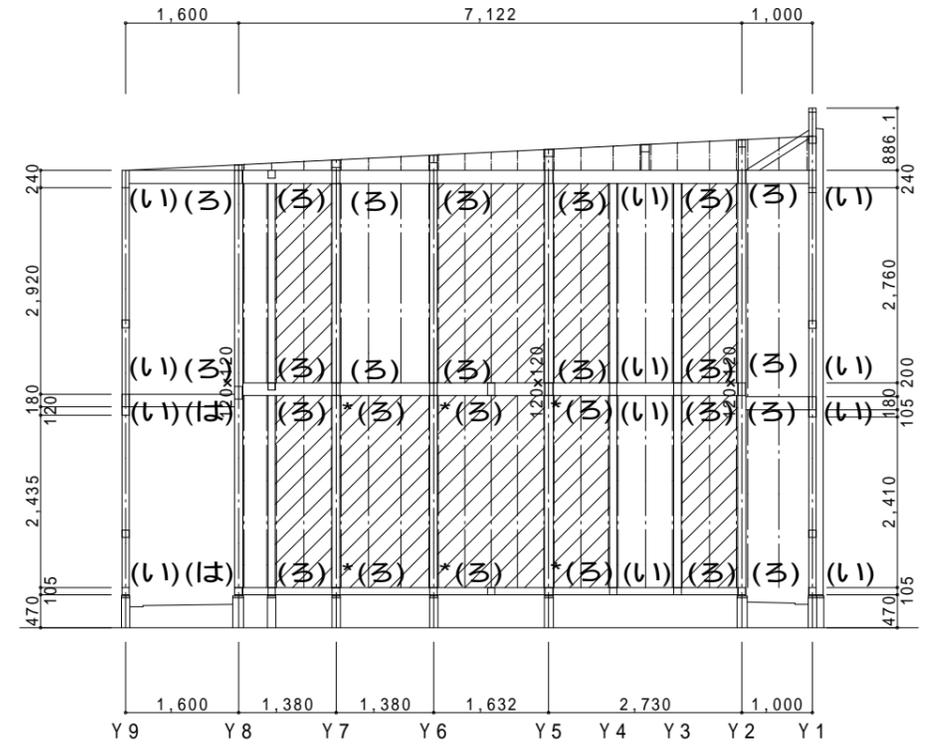
床	梁	====	: 杉材1等180 x 105
胴	差	====	: 杉材1等180 x 105
大	引	====	: 杉材1等105 x 105
火	打	====	: 杉材1等105 x 105
タ	ル	====	: 杉材1等60 x 60-910
下	階	×	: 杉材、桧材105 x 105
上	階	□	: 杉材、桧材105 x 105
通	し	⊙	: 桧材1等120 x 120
2	階	剛床仕様	: 構造用合板1類1級28 t



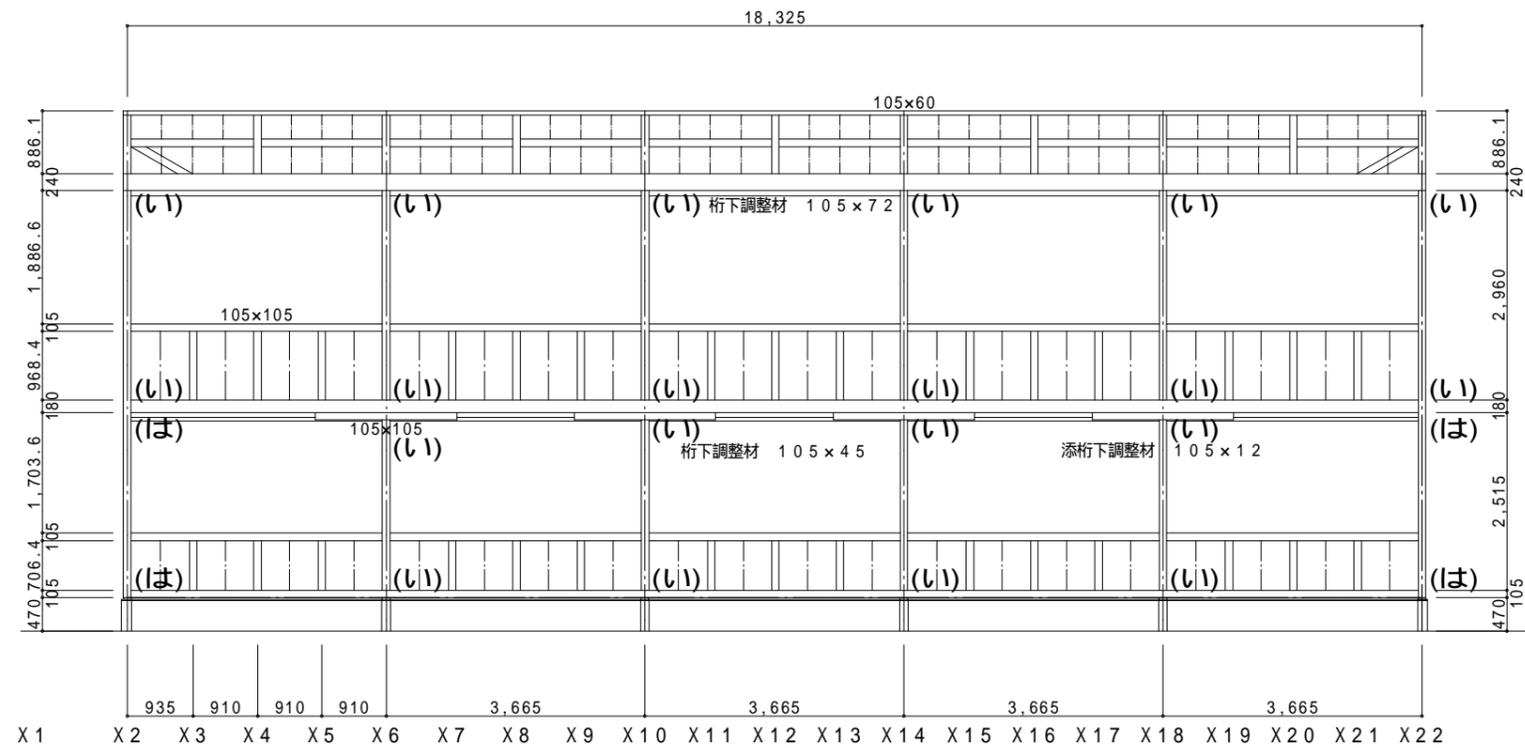
X1通り軸組図 S = 1/100



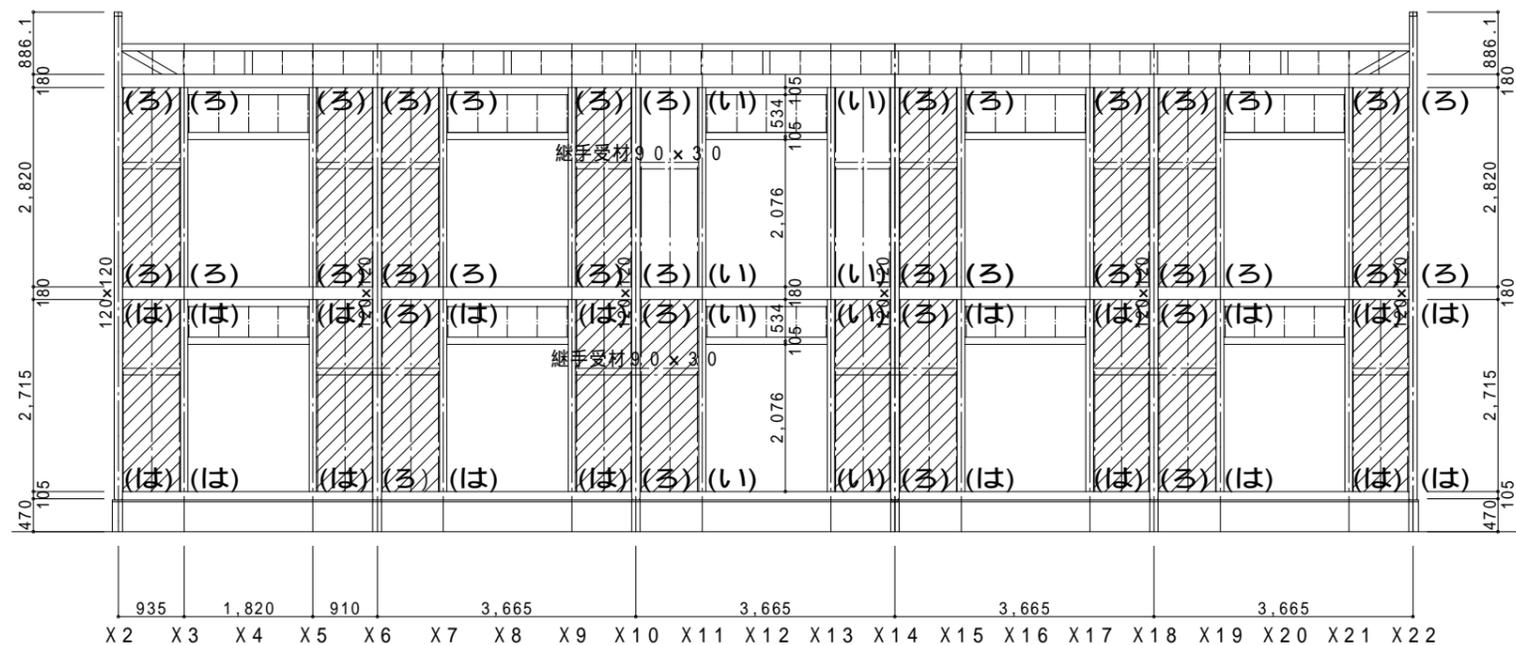
X2通り軸組図 S = 1/100



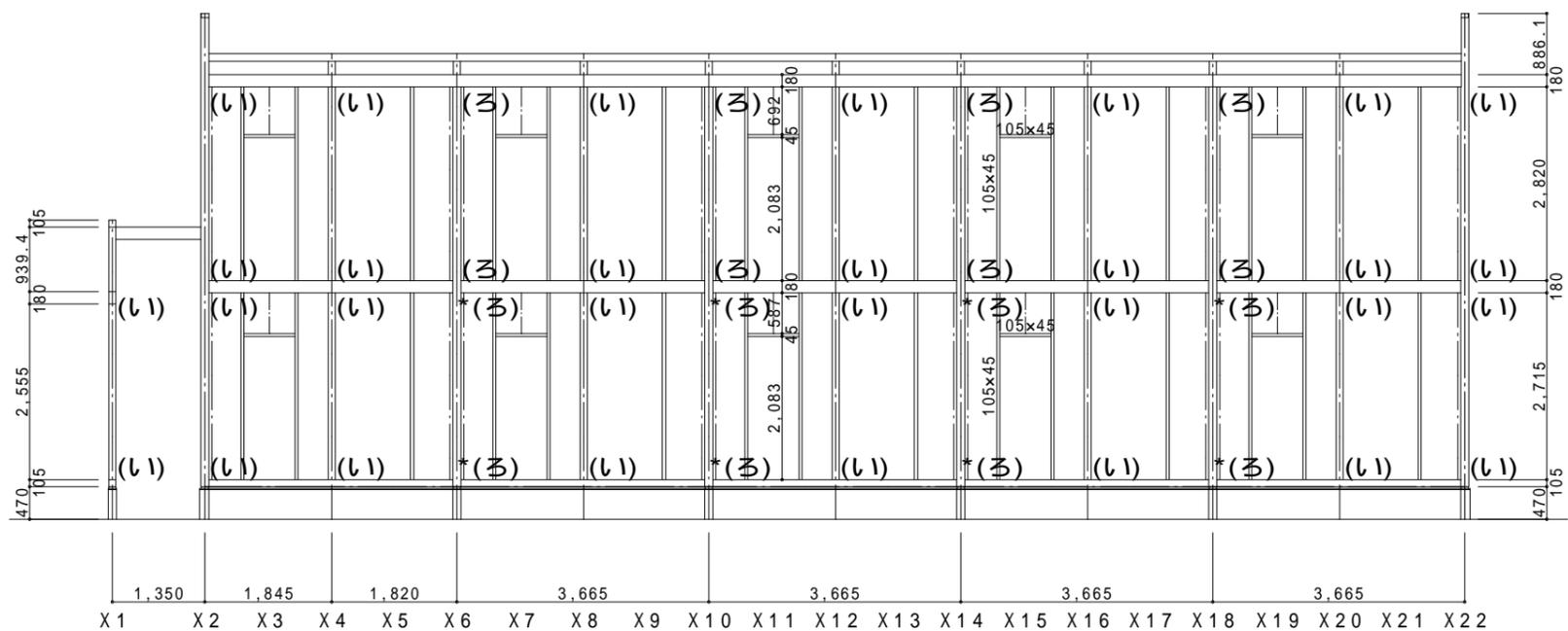
X6・X10・X14・X18通り軸組図 S = 1/100



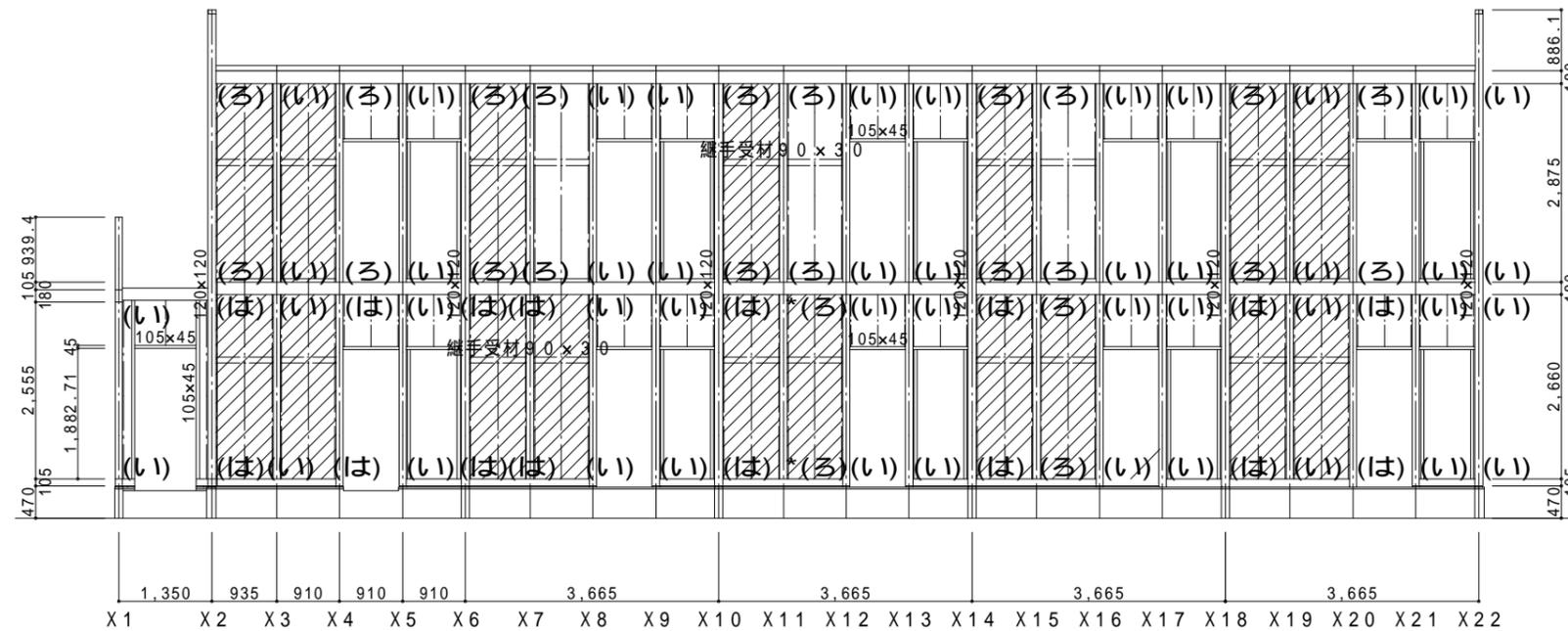
Y1通り軸組図 S = 1/100



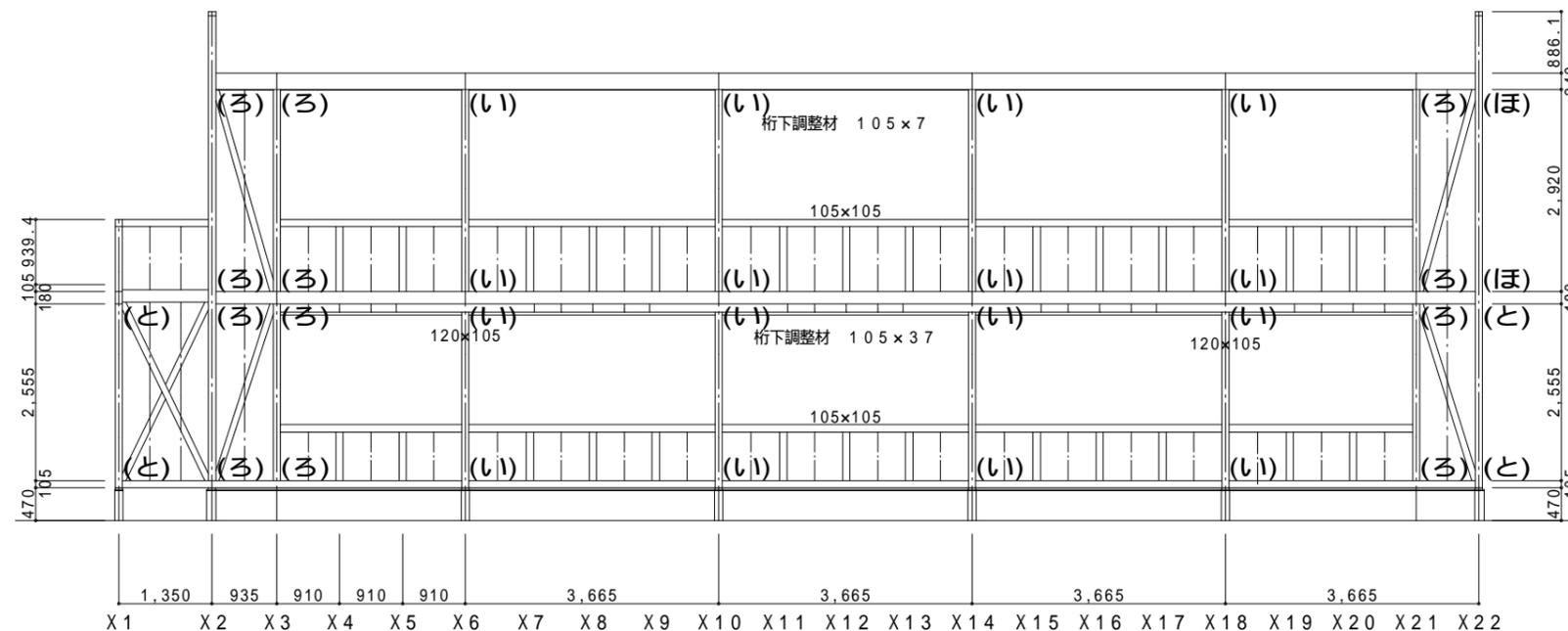
Y2通り軸組図 S = 1/100



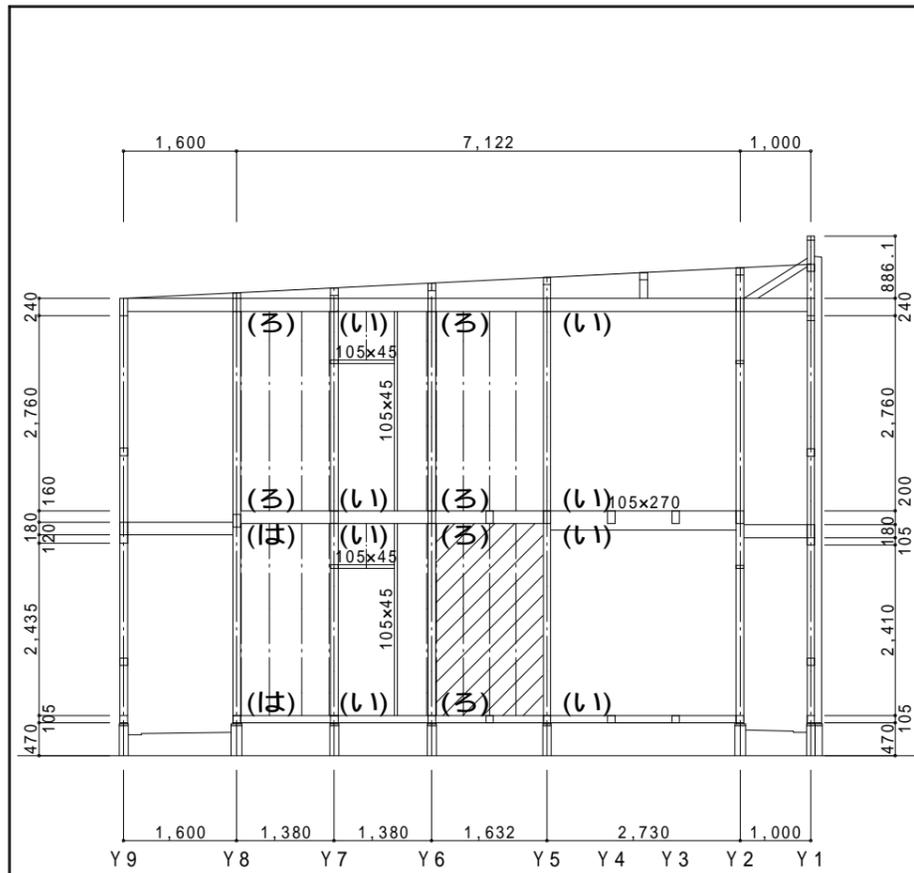
Y5通り軸組図 S = 1/100



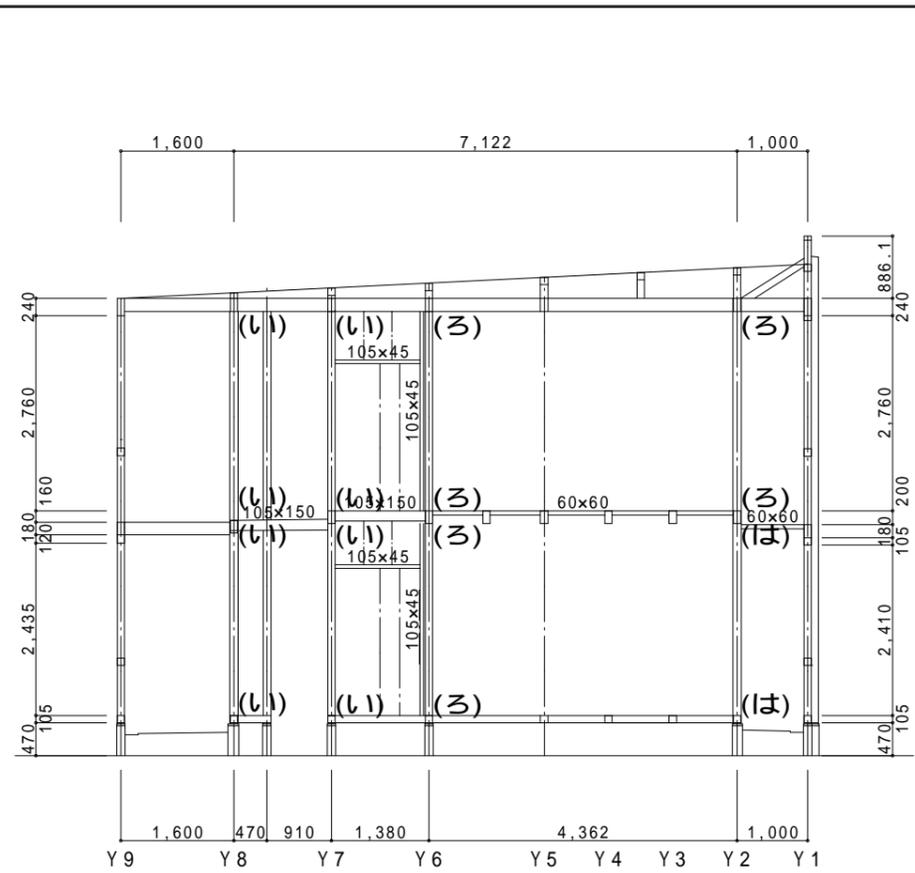
Y8 通り軸組図 S = 1/100



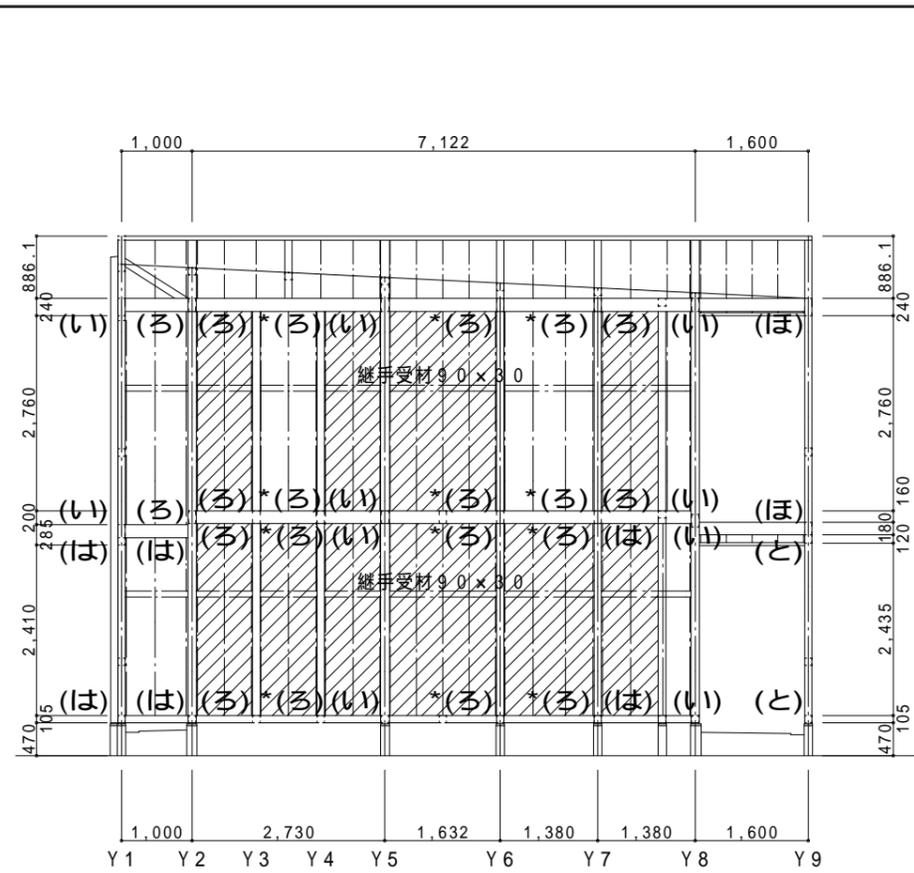
Y9 通り軸組図 S = 1/100



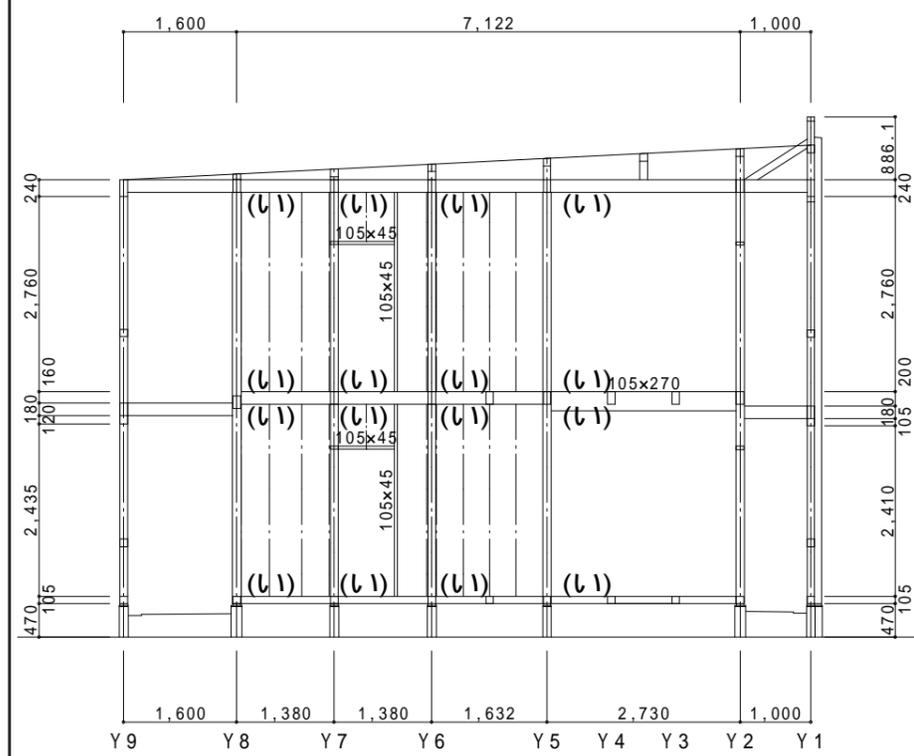
X4・X20通り軸組図 S = 1/100



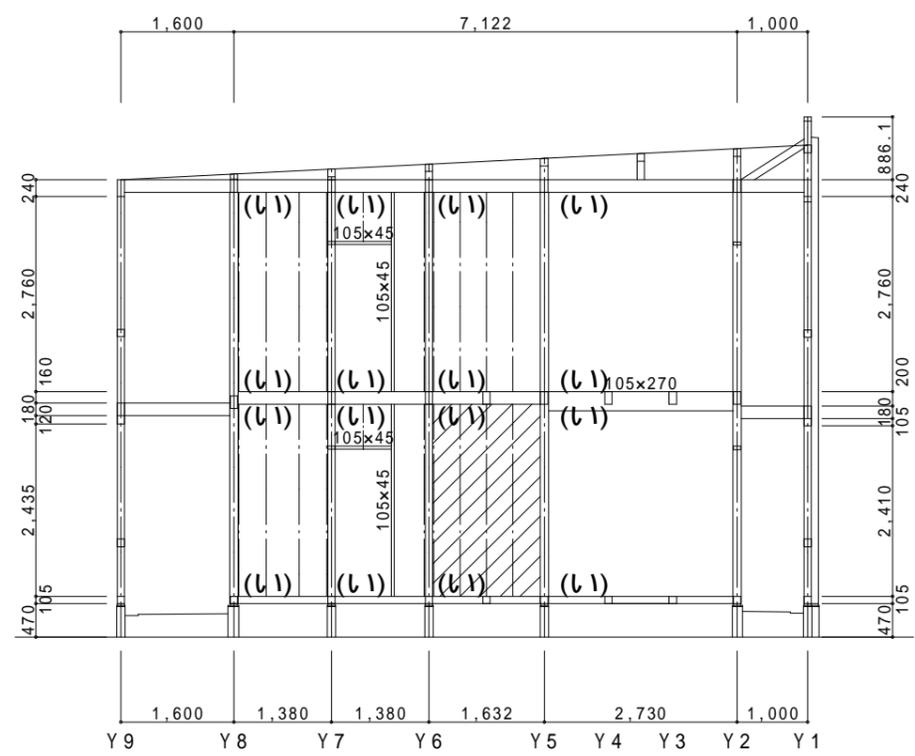
X5通り軸組図 S = 1/100



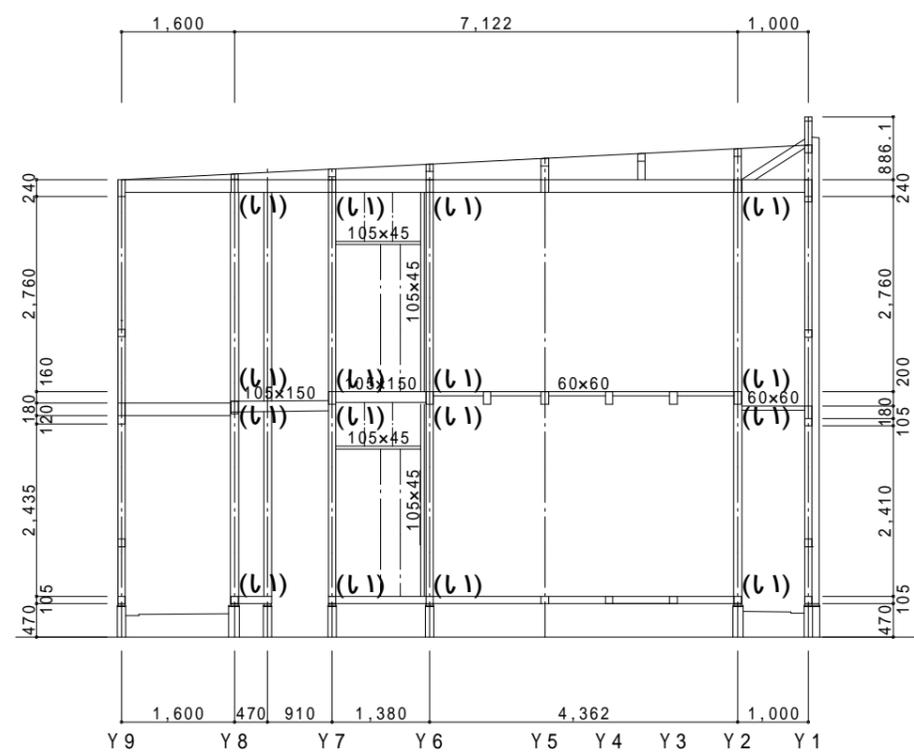
X22通り軸組図 S = 1/100



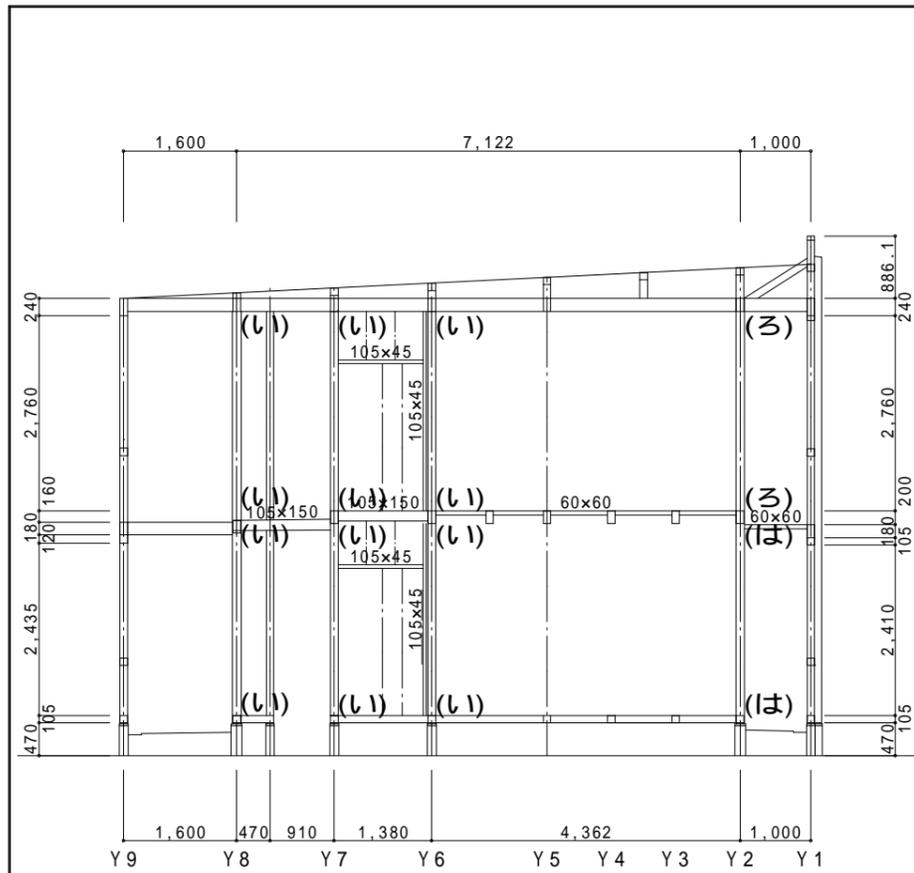
X8通り軸組図 S = 1/100



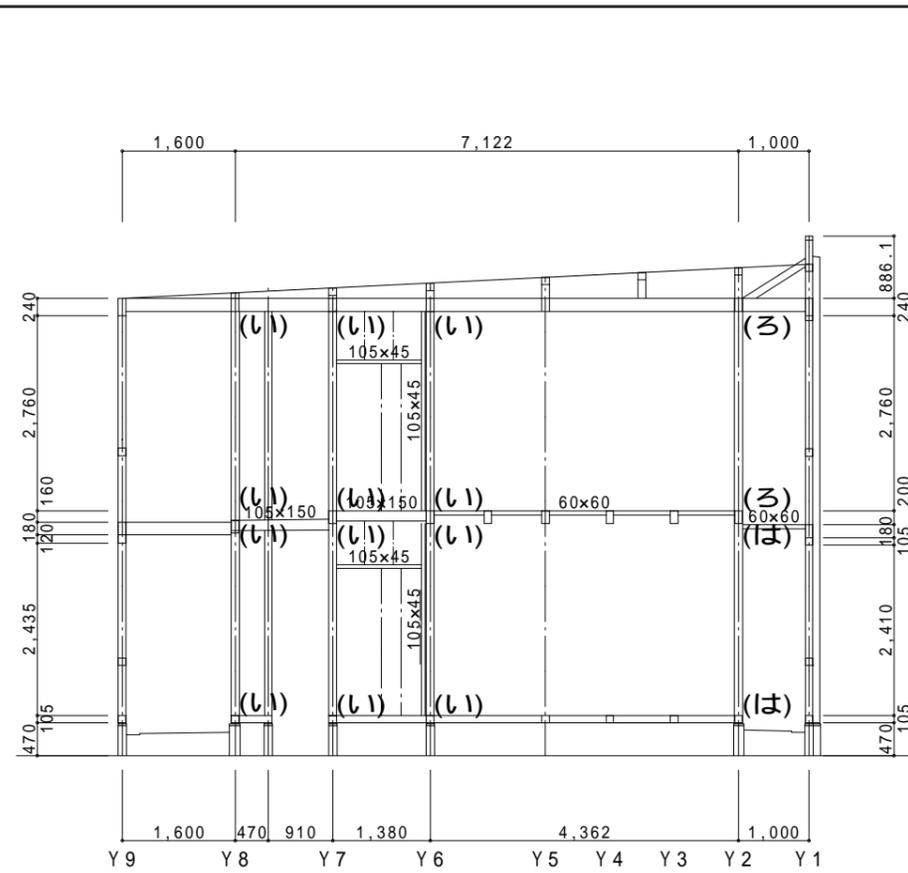
X12・X16通り軸組図 S = 1/100



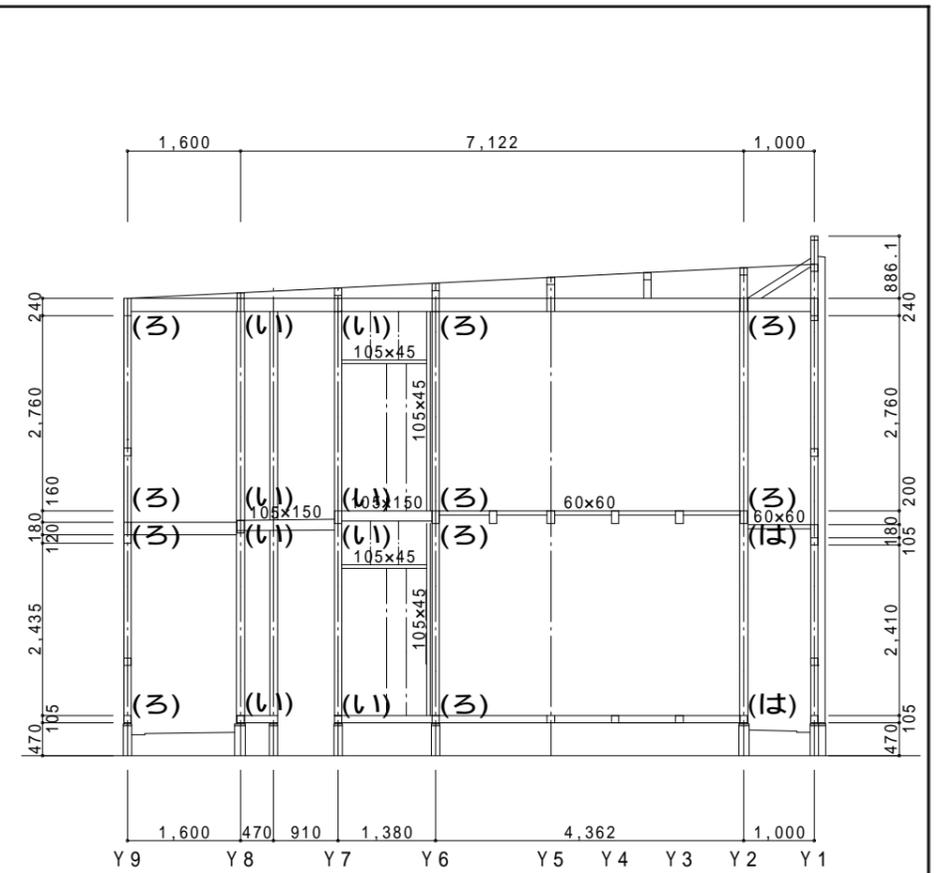
X13通り軸組図 S = 1/100



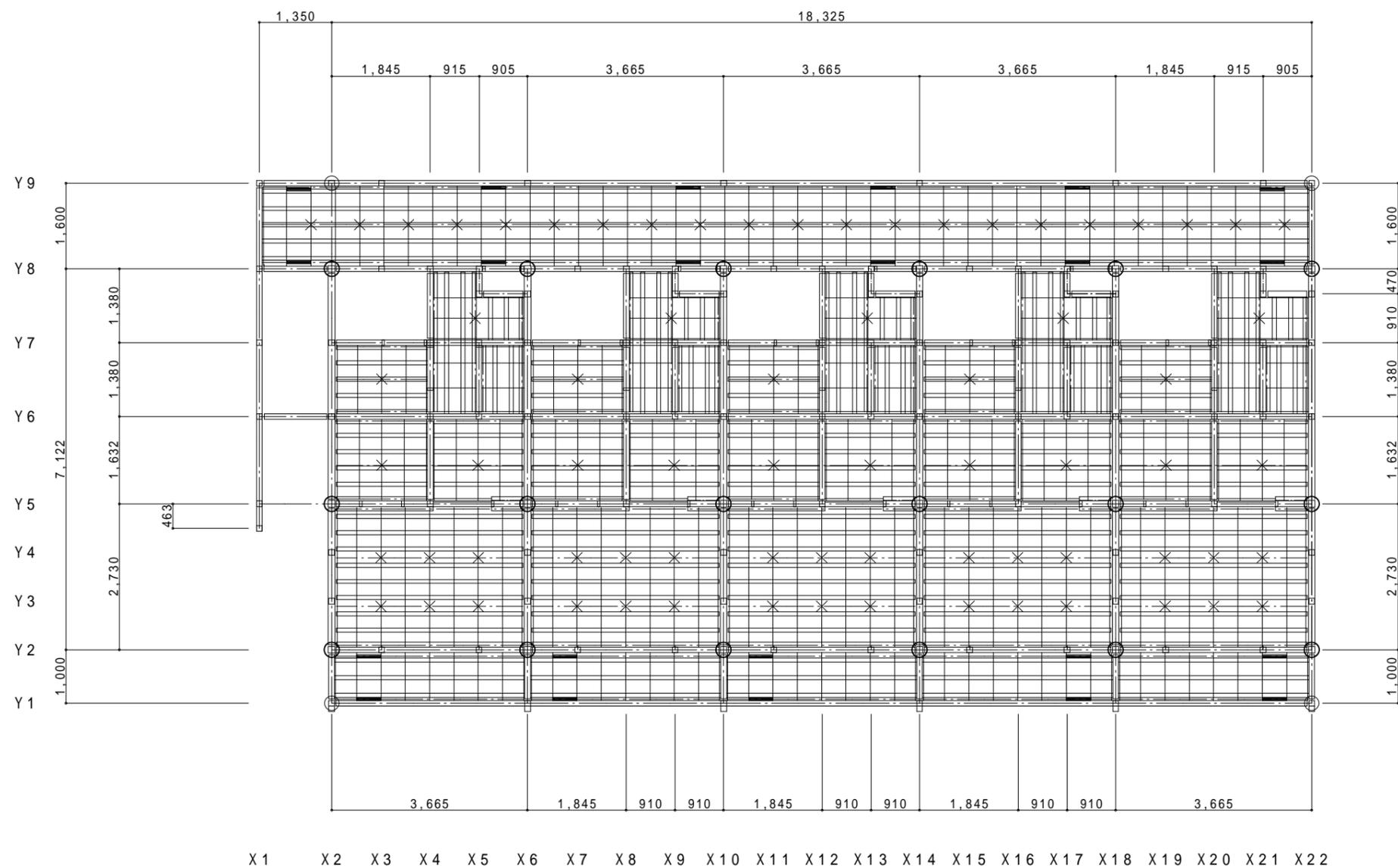
X9通り軸組図 S = 1/100



X17通り軸組図 S = 1/100



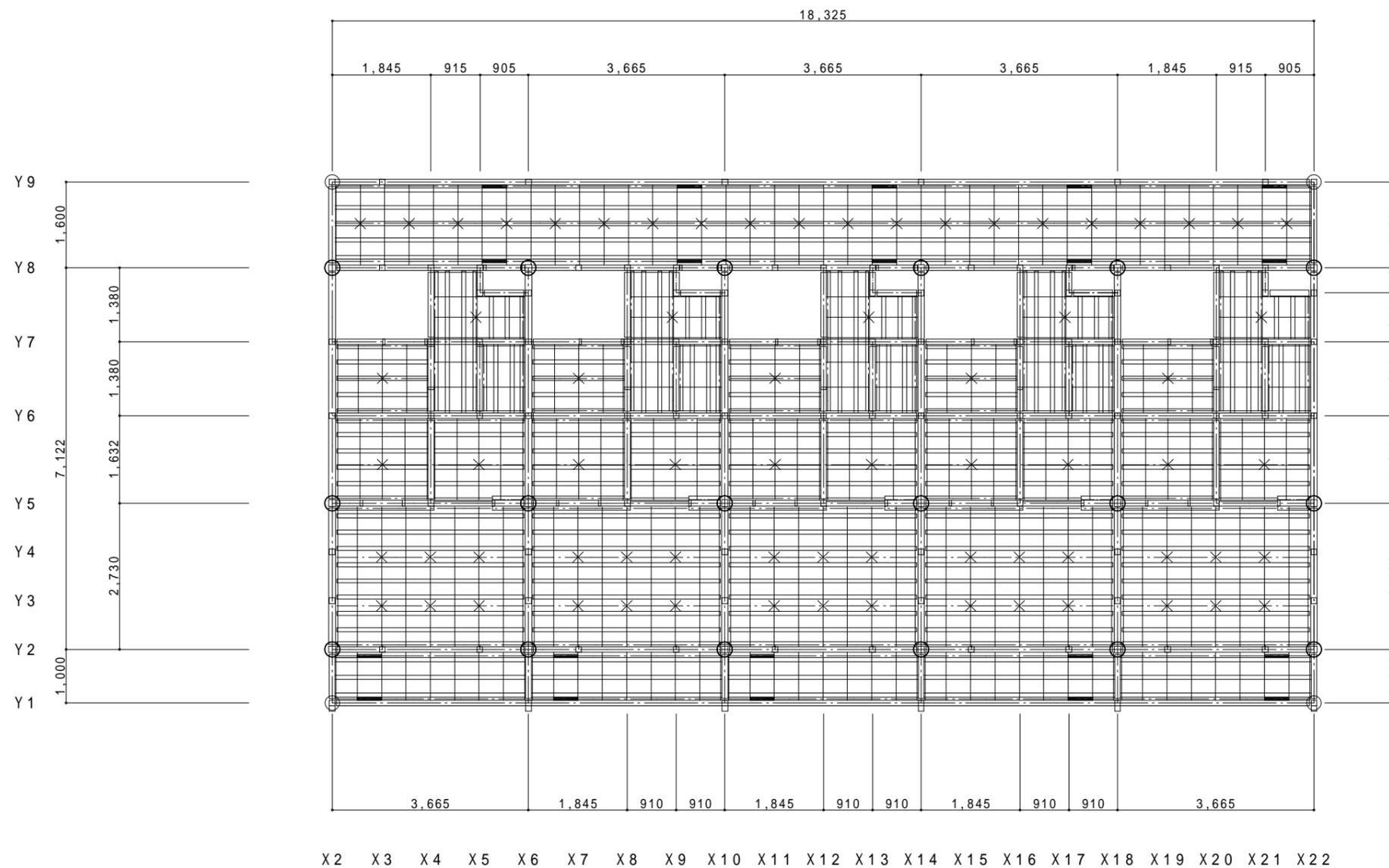
X21通り軸組図 S = 1/100



1階天井下地伏図 S = 1/100

共通事項 (特記無きは下記による)

野 縁	——	: 杉材1等45×45
野 縁 受 け	——	: 杉材1等45×45
板 野 縁	====	: 杉材1等75×18
吊 り 木	×	: 杉材1等45×45-910



2階天井下地伏図 S = 1/100

共通事項（特記無きは下記による）

野 縁	——	: 杉材1等45×45
野 縁 受 け	——	: 杉材1等45×45
板 野 縁	====	: 杉材1等75×18
吊 り 木	×	: 杉材1等45×45-910

木造の継手及び仕口の仕様規定について

記載の法令等は、平成20年2月1日現在のものである。

建築基準法施行令より

【構造耐力上主要な部分である継手又は仕口】

第47条 構造耐力上主要な部分である継手又は仕口は、ボルト締、かすがい打、込み栓打その他の国土交通大臣が定める構造方法によりその部分の存在応力を伝えるように緊結しなければならない。この場合において、横架材の丈が大きいこと、柱と鉄骨の横架材とが剛に接合していること等により柱に構造耐力上支障のある局部応力が生ずるおそれがあるときは、当該柱を添木等によって補強しなければならない。

2 前項の規定によるボルト締には、ボルトの径に応じた有効な大きさとし厚さを有する座金を使用しなければならない。

告示平成12年建告第1460号より

木造の継手及び仕口の構造方法を定める件

建築基準法施行令（以下「令」という。）第47条に規定する木造の継手及び仕口の構造方法は、次に定めるところによらなければならない。ただし、令第82条第一号から第三号までに定める構造計算によって構造耐力上安全であることが確かめられた場合においては、この限りでない。

- 筋かいの端部における仕口にあつては、次に掲げる筋かいの種類に応じ、それぞれイからホまでに定める接合方法又はこれらと同等以上の引張耐力を有する接合方法によらなければならない。
 - イ 径9mm以上の鉄筋 柱又は横架材を貫通した鉄筋を三角座金を介してナット締めとしたもの又は当該鉄筋に止め付けた鋼板添え板に柱及び横架材に対して長さ9cmの太め鉄丸くぎ（日本工業規格A5508（くぎ）-1992のうち太め鉄丸くぎに適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。）を8本打ち付けたもの
 - ロ 厚さ1.5cm以上で幅9cm以上の木材 柱及び横架材を欠き込み、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6.5cmの鉄丸くぎ（日本工業規格A5508（くぎ）-1992のうち鉄丸くぎに適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。）を5本打ち付けたもの
 - ハ 厚さ3cm以上で幅9cm以上の木材 厚さ1.6mmの鋼板添え板を、筋かいに対して径12mmのボルト（日本工業規格B1180（六角ボルト）-1994のうち強度区分4.6に適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。）締め及び長さ6.5cmの太め鉄丸くぎを3本平打ち、柱に対して長さ6.5cmの太め鉄丸くぎを3本平打ち、横架材に対して長さ6.5cmの太め鉄丸くぎを4本平打ちしたもの
 - ニ 厚さ4.5cm以上で幅9cm以上の木材 厚さ2.3mm以上の鋼板添え板を、筋かいに対して径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4.5mmのスクリークぎ7本の平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ50mm、径4.5mmのスクリークぎ5本の平打ちとしたもの
 - ホ 厚さ9cm以上で幅9cm以上の木材 柱又は横架材に径12mmのボルトを用いた1面せん断接合としたもの
- 壁を設け又は筋かいを入れた軸組の柱の柱脚及び柱頭の仕口にあつては、軸組の種類と柱の配置に応じて、平家部分又は最上階の柱にあっては次の表1に、その他の柱にあっては次の表2に、それぞれ掲げる表3（イ）から（ぬ）までに定めるところによらなければならない。ただし、当該仕口の周囲の軸組の種類及び配置を考慮して、柱頭又は柱脚に必要とされる引張力が、当該部分の引張耐力を超えないことが確かめられた場合においては、この限りでない。

柱の接合補強

概要	軸組の種類	出隅の柱	その他の軸組端部の柱	概要	軸組の種類	上階及び当該階の柱が共に出隅の柱の場合			上階及び当該階の柱が共に出隅の柱でない場合
						上階及び当該階の柱が共に出隅の柱の場合	上階及び当該階の柱が共に出隅の柱でない場合	上階及び当該階の柱が共に出隅の柱でない場合	
木ずりその他これに類するものを柱及び隣柱の片面又は両面に打ち付けた壁を設けた軸組	表3（イ）	表3（イ）	表3（イ）	木ずりその他これに類するものを柱及び隣柱の片面又は両面に打ち付けた壁を設けた軸組	表3（イ）	表3（イ）	表3（イ）	表3（イ）	
厚さ1.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かい又は径9mm以上の鉄筋の筋かいを入れた軸組	表3（ロ）	表3（ロ）	表3（イ）	厚さ1.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かい又は径9mm以上の鉄筋の筋かいを入れた軸組	表3（ロ）	表3（イ）	表3（イ）	表3（イ）	
厚さ3cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組	表3（ハ）	表3（イ）	表3（イ）	厚さ3cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組	表3（ロ）	表3（ロ）	表3（ロ）	表3（イ）	
厚さ1.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組又は径9mm以上の鉄筋の筋かいをたすき掛けに入れた軸組	表3（ニ）	表3（イ）	表3（イ）	厚さ1.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組又は径9mm以上の鉄筋の筋かいをたすき掛けに入れた軸組	表3（ロ）	表3（ハ）	表3（ハ）	表3（ロ）	
厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組	表3（ホ）	表3（イ）	表3（イ）	厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組	表3（ロ）	表3（ハ）	表3（ハ）	表3（ロ）	
構造用合板等を昭和56年建設省告示第1100号別表第1（1）項又は（2）項に定める方法で打ち付けた壁を設けた軸組	表3（ヘ）	表3（イ）	表3（イ）	構造用合板等を昭和56年建設省告示第1100号別表第1（1）項又は（2）項に定める方法で打ち付けた壁を設けた軸組	表3（ロ）	表3（ハ）	表3（ハ）	表3（ロ）	
厚さ3cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組	表3（ト）	表3（イ）	表3（イ）	厚さ3cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組	表3（ロ）	表3（ト）	表3（ト）	表3（ロ）	
厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組	表3（ニ）	表3（イ）	表3（イ）	厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組	表3（ロ）	表3（チ）	表3（チ）	表3（ロ）	

特記事項

- 使用構造金物は、Zマーク金物又は同等認定金物とする。
- 構造金物留め付けには、告示によるほか、専用の釘又はビスにて行うこと。
- 構造用合板等の留め付けに、機械釘打ちとする場合は、C N釘を使用のこと。

筋違いの接合金物図

記号	筋かいの種類	Z金物	Z金物同等認定品金物（参考：（株）カネシン）
イ	径9mm以上の鉄筋	金物はなし。接合は上記による。	
ロ	厚さ1.5cm×幅9cm以上の木材	金物はなし。接合は上記による。	
ハ	厚さ3cm×幅9cm以上の木材	Z筋かいプレートBP 1.5倍用	ジャスティガセット・ライト 1.5倍用
ニ	厚さ4.5cm×幅9cm以上の木材	Z筋かいプレートBP・2 2倍用	ジャスティガセット・ライト 2倍用 柱施工筋かい金物 EGガセット DP-2ジャステンプレート
ホ	厚さ9cm×幅9cm以上の木材	金物はなし。接合は上記による。	

柱の接合金物図

Z金物同等認定金物は参考として、（株）カネシンの金物（製品カタログVol.7-3）を記載しています。

（い）		（ろ）・（は）		（に）		（ほ）	
Z金物	Z金物同等認定金物	Z金物	Z金物同等認定金物	Z金物	Z金物同等認定金物	Z金物	Z金物同等認定金物
（ろ）		（は）		（ち）		（り）	
（へ）		（と）		（ち）		（り）	
Z金物	Z金物同等認定金物	Z金物	Z金物同等認定金物	Z金物	Z金物同等認定金物	Z金物	Z金物同等認定金物
（ぬ）		（と）		（ち）		（り）	
Z金物	Z金物同等認定金物	Z金物	Z金物同等認定金物	Z金物	Z金物同等認定金物	Z金物	Z金物同等認定金物

木造の継手及び仕口の仕様規定について

建築基準法施行令より

【構造耐力上主要な部分である継手又は仕口】

第47条 構造耐力上主要な部分である継手又は仕口は、ボルト締、かすがい打、込み栓打その他の国土交通大臣が定める構造方法によりその部分の存在応力を伝えるように緊結しなければならない。この場合において、横架材の寸法が大きいと、柱と鉄骨の横架材とが剛に接合していることにより柱に構造耐力上支障のある局部応力が生ずるおそれがあるときは、当該柱を添木等によって補強しなければならない。

2 前項の規定によるボルト締には、ボルトの径に応じ有効な大きさと厚さを有する座金を使用しなければならない。

告示平成12年建告第1460号より

木造の継手及び仕口の構造方法を定める件

建築基準法施行令（以下「令」という。）第47条に規定する木造の継手及び仕口の構造方法は、次に定めるところによらなければならない。ただし、令第82条第一号から第三号までに定める構造計算によって構造耐力上安全であることが確かめられた場合においては、この限りでない。

- 一 筋かいの端部における仕口にあつては、次に掲げる筋かいの種類に応じ、それぞれイからホまでに定める接合方法又はこれらと同等以上の引張耐力を有する接合方法によらなければならない。
 - イ 径9mm以上の鉄筋 柱又は横架材を貫通した鉄筋を三角座金を介してナット締めとしたもの又は当該鉄筋に止め付けた鋼板添え板に柱及び横架材に対して長さ9cmの太め鉄丸くぎ（日本工業規格A5508（くぎ）-1992のうち太め丸くぎに適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。）を8本打ち付けたもの
 - ロ 厚さ1.5cm以上で幅9cm以上の木材 柱及び横架材を欠き込み、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6.5cmの鉄丸くぎ（日本工業規格A5508（くぎ）-1992のうち鉄丸くぎに適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。）を5本平打ちしたものの
 - ハ 厚さ3cm以上で幅9cm以上の木材 厚さ1.6mmの鋼板添え板を、筋かいに対して径1.2mmのボルト（日本工業規格B1180（六角ボルト）-1994のうち強度区分4.6に適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。）締め及び長さ6.5cmの太め鉄丸くぎを3本平打ち、柱に対して長さ6.5cmの太め鉄丸くぎを3本平打ち、横架材に対して長さ6.5cmの太め鉄丸くぎを4本平打ちしたものの
 - ニ 厚さ4.5cm以上で幅9cm以上の木材 厚さ2.3mm以上の鋼板添え板を、筋かいに対して径1.2mmのボルト締め及び長さ5.0mm、径4.5mmのスクリークぎ7本の平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ5.0mm、径4.5mmのスクリークぎ5本の平打ちとしたもの
 - ホ 厚さ9cm以上で幅9cm以上の木材 柱又は横架材に径1.2mmのボルトを用いた1面せん断接合としたもの
- 二 壁を設け又は筋かいを入れた軸組の柱の柱脚及び柱頭の仕口にあつては、軸組の種類と柱の配置に応じて、平家部分又は最上階の柱にあつては次の表1に、その他の柱にあつては次の表2に、それぞれ掲げる表3（イ）から（ぬ）までに定めるところによらなければならない。ただし、当該仕口の周囲の軸組の種類及び配置を考慮して、柱頭又は柱脚に必要とされる引張力が、当該部分の引張耐力を超えないことが確かめられた場合においては、この限りでない。

軸組の種類	出隅の柱	その他の軸組 端部の柱	軸組の種類	上階及び当該階の柱が共に 出隅の柱の場合	上階の柱が 出隅の柱であり、 当該階の柱が 出隅の柱でない場合	上階及び当該階の柱が共に 出隅の柱でない場合	
							(イ) 短ほぞ差し、かすがい打ち又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
			木ずりその他これに類するものを柱及び隅柱の片面又は両面に打ち付けた壁を設けた軸組	表3（イ）	表3（イ）	表3（イ）	(ロ) 長ほぞ差し込み栓打ち若しくは厚さ2.3mmのL字型の鋼板添え板を、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6.5cmの太め鉄丸くぎを5本平打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
			厚さ1.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かい又は径9mm以上の鉄筋の筋かいを入れた軸組	表3（ロ）	表3（イ）	表3（イ）	(ハ) 厚さ2.3mmのT字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ6.5cmの太め鉄丸くぎを5本平打ちしたものの若しくは厚さ2.3mmのV字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ9cmの太め鉄丸くぎを4本平打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
			厚さ3cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組	表3（ニ）	表3（ロ）	表3（イ）	(ニ) 厚さ3.2mmの鋼板添え板に径1.2mmのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径1.2mmのボルト締め、横架材に対して厚さ4.5mm、4.0mm角の角座金を介してナット締めをしたもの若しくは厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径1.2mmのボルト締めとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
			厚さ3cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを取り付けた柱	表3（ロ）	表3（イ）	表3（イ）	(ホ) 厚さ3.2mmの鋼板添え板に径1.2mmのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径1.2mmのボルト締め及び長さ5.0mm、径4.5mmのスクリークぎ打ち、横架材に対して厚さ4.5mm、4.0mm角の角座金を介してナット締めしたものを又は厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径1.2mmのボルト締め及び長さ5.0mm、径4.5mmのスクリークぎ打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
			厚さ1.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組又は径9mm以上の鉄筋の筋かいをたすき掛けに入れた軸組	表3（ロ）	表3（ハ）	表3（ロ）	(ヘ) 厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径1.2mmのボルト2本、横架材、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径1.6mmのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの
			厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組	表3（ハ）	表3（ハ）	表3（ロ）	(ト) 厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径1.2mmのボルト3本、横架材（土台を除く。）、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径1.6mmのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの
			構造用合板等を昭和56年建設省告示第1100号別表第1（1）項又は（2）項に定める方法で打ち付けた壁を設けた軸組	表3（ホ）	表3（ハ）	表3（ハ）	(チ) 厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径1.2mmのボルト4本、横架材（土台を除く。）、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径1.6mmのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの
			厚さ3cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組	表3（ト）	表3（ロ）	表3（ロ）	(リ) 厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径1.2mmのボルト5本、横架材（土台を除く。）、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径1.6mmのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの
			厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組	表3（ニ）	表3（チ）	表3（ト）	(ぬ) (ト)に掲げる仕口を2組用いたもの

柱の接合

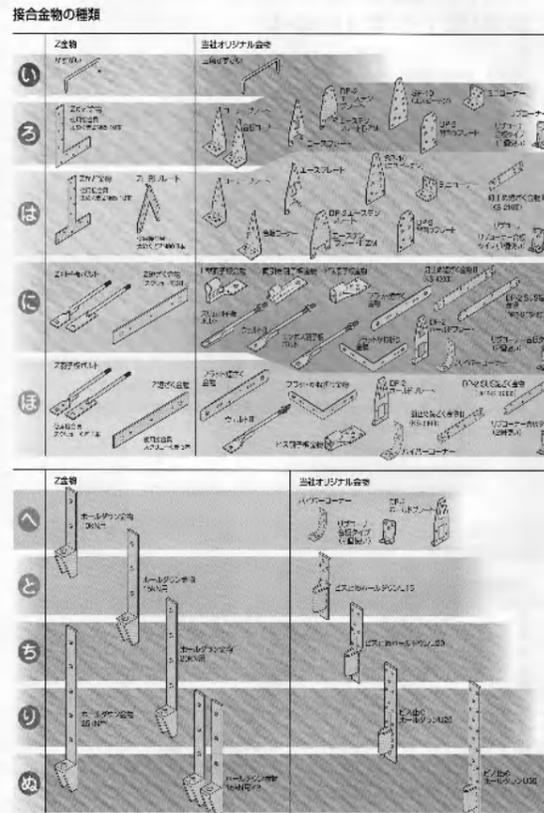
この参考画像は「カネシ」建築金物カタログより転写。

筋違いの接合

この参考画像は「カネシ」建築金物カタログより転写。

告示 1460号1項（筋かい端部における仕口について）

筋かいの種類	Z金物	当社オリジナル金物
1 径9mm以上の鉄筋	Z筋かいプレートBP	1.5倍用柱挿工筋かい金物 ジャスティアセット・ライト
ロ 厚さ1.5cm×幅9cm以上の木材	Z筋かいプレートBP-2	ジャスティアセット・ライト ジャスティアセット・ライト
ハ 厚さ3cm×幅9cm以上の木材	Z筋かいプレートBP-2	ジャスティアセット・ライト ジャスティアセット・ライト
ニ 厚さ4.5cm×幅9cm以上の木材	Z筋かいプレートBP-2	ジャスティアセット・ライト ジャスティアセット・ライト
ホ 厚さ9cm×幅9cm以上の木材	Z筋かいプレートBP-2	ジャスティアセット・ライト ジャスティアセット・ライト



	1	2	3	4	5
E (と)	(は)	(い)	(ろ)	(ろ)	(ろ)
	(い)			(い)	
D (ろ)	(い)	(ろ)			(ろ)
					(ろ)
C (ろ)	(い)	(ろ)	(ろ)	(ろ)	(い)
	(ろ)	(い)	(い)	(は)	
	(ろ)	(い)	(ろ)		
	(ろ)	(い)	(い)		
B (と)	(ろ)	(ろ)	(ろ)	(ほ)	
A			(ち)	(と)	(ち)

印は基礎コンクリート打込型ホールダウン金物を示す。

1階柱接合金物種別表 1/100

2階柱接合金物種別表 1/100

特記仕様書 (木工事) 軸組工法

一般事項 本工事における構造の骨組(架構体),下地骨組,造作,仕上げの木工事に適用する。

特記事項は 印の付いたものを適用する。

木材の品質

- 1.素材及び製材の品質は、日本農林規格(JAS)の規定がある場合は、すべてこの規格に適合したものとす。
- 2.構造材に用いる製材の品質は、構造用製材のJASに適合したのまたは製材のJASで定める1等以上とする。
- 3.見掛かりの造作用柱,板用製材の品質は、製材のJASで定める上小節以上のものとし,心持材の場合は背割りを行ったものとする。
- 4.目視等級区分の針葉樹構造用製材規格については以下の通りJASによる。

甲種構造材(構造用)	甲種構造材(構造用)	乙種構造材
(短辺が9cm未満の横物)	(短辺が9cm以上の横物)	(柱材など)
一級 二級 三級	一級 二級 三級	一級 二級 三級
- 5.仕口を固める楔,栓は堅木とする。又雇い材は骨組材と同材以上または堅木とする。
- 6.構造用に用いる集成材は、構造用集成材のJASに適合若しは化粧ばり集成材のJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。
- 7.各種ボード類
 - (1)合板の品質は、構造用合板若しくは普通合板等のJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。
 - (2)構造用パネルの品質は、構造用パネルのJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。
 - (3)ハードボード、硬質木片セメント板、シージングボード、石膏ボード、及びラスシートの品質はそれぞれの日本工業規格(JIS)に適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。
 - (4)パーティクルボード、MDF(ミディアム・デンシティ・ファイバーボード)の品質はそれぞれの日本工業規格(JIS)に適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。

乾燥

- 1.木材の工事現場搬入時の含水率は下記による。
- 2.針葉樹材についてはJAS区分に準じ、以下の通りとする。

乾燥材 D25	乾燥材 D20	乾燥材 D15
---------	---------	---------

 特記なき場合は乾燥材D25(含水率25%以下)とする。
- 3.天然乾燥材については、乾燥材D25(含水率25%)を目標とし、係員の承諾を得る。

指定寸法

- 1.木材の寸法については、JASに準じて、材長の不足は認めない。断面寸法については下記による。

材の短辺及び長辺	JASによる乾燥材		未乾燥材		
	90mm以上	90mm未満	90mm以上	36mm以上90mm未満	36mm未満
表示寸法と許容誤差	±1.5mm	±1.0mm	+3.0~0mm	+2.0~0mm	+1.0~0mm

材料検査

- 1.構造材については、係員の検査を受けた後施工するものとする。
- 2.その他の材についてはその都度係員の承諾を得るものとする。

諸金物

土台と基礎や軸組相互の端部などの構造耐力上主要な部分である継手・仕口などは接合金物等を使用し効率よく緊結する。

接合金物は品質及び耐力等の性能が明らかで良質なものを選択する。(Zマーク表示金物)及びZマーク表示金物同等認定品以上とする。

防腐、防虫処理

- 1.防腐剤は、JISK2439(クレオソート油、加工タール・タールピッチ)によるクレオソート油とする。
- 2.外部モルタル塗となる下地板等の面は地盤面より高さ1.0mまでと、台所、浴室等、湿気のある場所の軸組及び下地板が木質の場合も防腐剤塗とする。

防蟻処理

行わない 行なう()

部 位
土 台

材 種

ひのき べいひのき たいわんひのき ひば べいひば こうやまき くり けやき からまつ

保存処理製材 土台用加圧式防腐処理木材 その他()

工 法

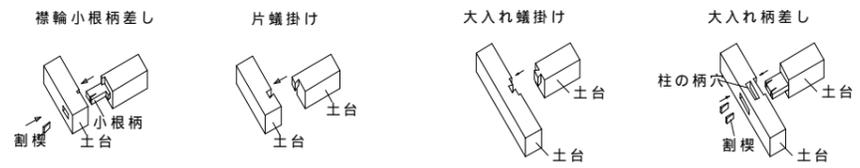
1, 断面寸法は柱と同じ寸法以上とし105mm×105mmを標準とする。

ただし、多雪区域内(「建築基準法施行令第86条第2項ただし書の規定より特定行政庁が指定する区域」以下同じ)においては105mm×105mm以上とする。

2, 継手は、柱及び床下換気孔の位置は避ける。

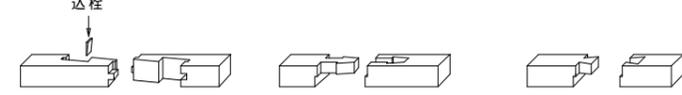
仕 口

その他()



継 手

金輪継ぎ 腰掛鎌継ぎ 腰掛あり継ぎ その他()



火打土台

材 種

ひのき べいひのき たいわんひのき ひば べいひば からまつ べいまつ

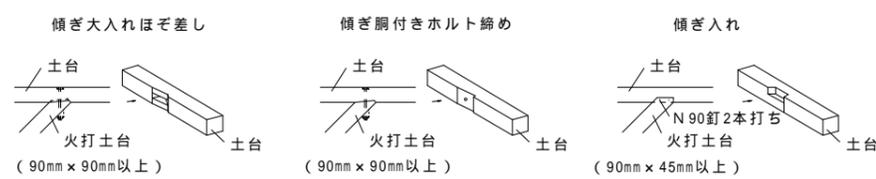
火打金物

工 法

火打土台は次のいずれかによる。

- 1.木材の火打土台とする場合は、次による。
 - イ.断面寸法は45mm×90mm以上とする。
 - 2.鋼製火打とする場合は、特記による。
 - 3.火打土台を省略する場合は、下記による。
 - イ.床下地板の品質は、構造用合板のJASに適合するもので種類は1類とし厚さ12mm以上、パーティクルボードのJISに適合するもので種類は13Pまたは13M以上とし厚さ15mm以上、又は構造用パネルのJASに適合するものとする。
 - ロ.床下地板の張り方は、床下地板の長手方向を根太と直交させ、且つ千鳥張りとし土台及び大引に20mm以上のせて釘打ちとする。床下地板は根太等の受け材上で突付継ぎとする。
 - ハ.床下地材の釘打ちは床下地材の4周辺をN50釘を用い釘打ち間隔150mm以下で、根太、大引、土台及び受け材に平打ちして固定する。

仕 口



特記仕様書 (木工事) 軸組工法

<p>部 位</p> <p>床 組</p> <p>大 引</p> <p>材 種</p> <p>ひのき べいひのき たいわんひのき すぎ べいまつ あかまつ くらまつ からまつ べいつが</p> <p>その他()</p> <p>工 法 1, 断面寸法は90mm×90mmを標準とする。</p> <p>2, 継手は、床束芯から150mm内外持ち出し、N75釘2本打ちとする。</p> <p>仕 口</p> <p>大入れ蟻掛け 腰掛け蟻 乗せ掛け その他</p> <p>註 上記仕口はいずれもN75釘2本斜め打ちとする。</p> <p>継 手</p> <p>腰掛あり継ぎ 相欠き継ぎ その他</p> <p>床 束</p> <p>材 種</p> <p>ひのき べいひのき たいわんひのき すぎ べいまつ あかまつ くらまつ からまつ べいつが</p> <p>鋼製束 合成樹脂製束</p> <p>工 法 1, 断面寸法は90mm×90mmを標準とする。</p> <p>2, 継手は、上部仕口は、補強金物にて緊結する。</p> <p>3, 鋼製・合成樹脂製等の束とする場合は、各製造所の仕様による。</p> <p>仕 口</p> <p>道切りほぞ差し びんた延ばし 突付け 目違いほぞ差し 鋼製束</p> <p>N75釘2本斜め打ち N65釘2本平打ち N75釘2本斜め打ち N75釘2本斜め打ち</p> <p>根 太</p> <p>材 種</p> <p>すぎ ひのき べいまつ あかまつ くらまつ からまつ べいつが その他()</p> <p>工 法 1, 断面寸法は45mm×45mmを標準とする。</p> <p>ただし、2階床の床梁間隔が900mm内外の場合は45mm×60mm以上とし、また2階梁間隔又は1階大引間隔がそれぞれ1.800mm内外の場合は45mm×105mm間隔を標準とする。</p> <p>2, 根太間隔は、畳床の場合は450mm内外とし、その他の場合は300mm内外とする。</p>	<p>部 位</p> <p>継 手</p> <p>突付け継ぎ 置き渡し 渡あご掛け 大入れ落しこみ</p> <p>N90釘2本平打ち N75釘2本斜め打ち N75釘2本斜め打ち N75釘2本斜め打ち</p> <p>根太受け金物</p> <p>材 種</p> <p>すぎ べいまつ あかまつ くらまつ からまつ べいつが その他()</p> <p>工 法 1, 断面寸法は30mm×90mmを標準とする。</p> <p>2, 継手は、柱芯で突付け継ぎとし、N75釘2本を平打ちとする。</p> <p>3, 留めつけは、柱、間柱あたりにN75釘2本を平打ちする。</p> <p>材 種 (見えがかり)</p> <p>すぎ ひのき べいつが 化粧貼構造用集成材</p> <p>(見え隠れ)</p> <p>ひのき べいつが</p> <p>工 法 1, 柱の断面寸法は105mm×105mmを標準とする。</p> <p>2, 通し柱の断面寸法は、120mm×120mmを標準とする。</p> <p>3, 横架材との仕口は、特記なき限り上下とも長柄差し込み栓打ちとする。</p> <p>4, 隅柱の下部は、特記なき限り短ほぞ差しとし、かど金物(OP・L)当て釘打ちとする。</p> <p>5, 筋かいの下端部が取り付く柱と横架材との仕口は柱の上下とも長ほぞ差しとし、込み栓打ちとする。</p> <p>6, 隅柱と土台との仕口は特記による。ただし、筋かいの取付隅柱については別に特記する。</p> <p>材 種</p> <p>すぎ ひのき べいまつ あかまつ くらまつ からまつ べいつが その他()</p> <p>工 法 1, 横架材との仕口は、上部ほぞ差し下部突付けとし、下部はN75釘2本を斜め打ちする。</p> <p>2, 筋かい当りは、間柱を欠き、N75釘2本を平打ちする。</p> <p>3, 通し貫当りは、添付けてN65釘2本を平打ちする。</p> <p>仕 口</p> <p>長ほぞ 平ほぞ 短ほぞ 小根ほぞ 崩ほぞ 認定仕口金物</p> <p>柱</p> <p>材 種 (見えがかり)</p> <p>すぎ ひのき べいつが 化粧貼構造用集成材</p> <p>(見え隠れ)</p> <p>ひのき べいつが</p> <p>工 法 1, 柱の断面寸法は105mm×105mmを標準とする。</p> <p>2, 通し柱の断面寸法は、120mm×120mmを標準とする。</p> <p>3, 横架材との仕口は、特記なき限り上下とも長柄差し込み栓打ちとする。</p> <p>4, 隅柱の下部は、特記なき限り短ほぞ差しとし、かど金物(OP・L)当て釘打ちとする。</p> <p>5, 筋かいの下端部が取り付く柱と横架材との仕口は柱の上下とも長ほぞ差しとし、込み栓打ちとする。</p> <p>6, 隅柱と土台との仕口は特記による。ただし、筋かいの取付隅柱については別に特記する。</p> <p>材 種</p> <p>すぎ ひのき べいまつ あかまつ くらまつ からまつ べいつが その他()</p> <p>工 法 1, 横架材との仕口は、上部ほぞ差し下部突付けとし、下部はN75釘2本を斜め打ちする。</p> <p>2, 筋かい当りは、間柱を欠き、N75釘2本を平打ちする。</p> <p>3, 通し貫当りは、添付けてN65釘2本を平打ちする。</p> <p>仕 口</p> <p>長ほぞ 平ほぞ 短ほぞ 小根ほぞ 崩ほぞ 認定仕口金物</p> <p>間 柱</p> <p>材 種</p> <p>すぎ ひのき べいまつ あかまつ くらまつ からまつ べいつが その他()</p> <p>工 法 1, 横架材との仕口は、上部ほぞ差し下部突付けとし、下部はN75釘2本を斜め打ちする。</p> <p>2, 筋かい当りは、間柱を欠き、N75釘2本を平打ちする。</p> <p>3, 通し貫当りは、添付けてN65釘2本を平打ちする。</p> <p>仕 口</p> <p>長ほぞ 平ほぞ 短ほぞ 小根ほぞ 崩ほぞ 認定仕口金物</p>
--	--

特記仕様書 (木工事) 軸組工法

部 位								部 位
2階床梁	材 種							
胴 差	ひのき	べいひのき	たいわんひのき	あかまつ	くろまつ	からまつ	べいまつ	べいつが
け た	工 法	<p>1. 断面寸法は、荷重の状態、スパン、梁間隔等を勘案して構造計算等により適切なもの特記する。</p> <p>2. 継手は梁を受ける柱間を避け、柱より150mm内外持ち出した位置に設ける。</p> <p>3. 横架材の中央部分付近の下側に耐力上支障のある欠込みをしてはならない。</p> <p>4. 柱又は、横架材との仕口部分は補強金物にて緊結する。</p>						
	仕 口	<p>T字仕口 (A) (かたぎ大入れ短ぼぞ差し) (B)</p>						
	継 手	<p>大せん (追掛大せん継ぎ) (洋 風)</p> <p>2階ばり継手 (台持継ぎ)</p>						
火打梁	材 種	ひのき	べいひのき	たいわんひのき	ひば	べいひば	からまつ	べいまつ
	火打金物							
	工 法	<p>火打梁は次のいずれかによる。</p> <p>1. 木材の火打梁とする場合は、次による。</p> <p>イ. 断面寸法は90mm×90mm以上とする。</p> <p>ロ. 梁・胴差・桁等との仕口は、傾ぎ大入れとし、六角ボルト閉めとする。</p> <p>但し、梁・胴差・桁等の上端又は下端に取付ける場合は、渡りあご又はすべりあごとし、いずれも六角ボルト締めとする。</p> <p>2. 鋼製火打とする場合は、特記による。</p> <p>3. 火打梁を省略する場合は、火打土台の項に準じる。</p>						
筋かい	材 種	すぎ	べいつが	構造用合板7.5mm以上	構造用パネル	パーティクルボード12mm以上	ハードボード5mm以上	
耐力壁	筋かいによる耐力壁	<p>木造筋かい 1. 断面寸法は30mm×90mm以上とする。</p> <p>2. 見付け平使いとし、上下端部の仕口は告示1460号に適合した方法とする。</p> <p>3. 筋かいが間柱と取り合う部分は、間柱を筋かいの厚さだけ欠きとって筋かいを通す。</p>						

部 位								部 位
	<p>大壁造の面材耐力壁</p> <p>1. 面材による耐力壁は、面材の種類により釘の種類・間隔が異なるので、告示1100号に適合していることを確認する。</p> <p>2. 柱と横架材の接合部は、特記なき限り 告示1460号による金物等により補強する。</p> <p>3. 構造用面材は横張り又は縦張りとする場合で、やむをえず、梁、柱等以外で継ぐ場合は、断面は45mm×100mm以上とする。</p> <p>4. 構造用合板については、屋外に面する壁、及び常時湿潤状態になる恐れのある壁には「特類」を使用し、「1類」は室内に使用する。</p> <p>5. 1階及び2階部の上下同位置に構造用面材の耐力壁を設ける場合は、胴差部において、構造用面材相互間に、6mm以上のあきを設ける。</p>							
	<p>筋かいによる耐力壁</p>							
	<p>大壁造の面材耐力壁</p> <p>大壁造の面材耐力壁において、面材の四隅を切り欠いて山形プレートを柱と横架材に直接釘打ちする場合は、下図のように近傍に釘の増し打ちをする。</p>							

特記仕様書 (木工事) 軸組工法

部 位		部 位	
耐力壁	<p>真壁造の面材耐力壁</p> <ol style="list-style-type: none"> 面材による耐力壁は、面材の種類により釘の種類・間隔が異なるので、告示1100号に適合していることを確認する。 柱と横架材の接合部は、特記なき限り 告示1460号による金物等により補強する。 <p>(受材タイプ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 受材は30mm x 40mm以上とする。 受材は、柱及び梁、桁、土台、その他の横架材にN75以上の釘を30cm以下の間隔で平打ちとする。 構造用面材は、受け材並びに間柱及び胴つなぎ等に留めつける。 構造用面材を受材以外で継ぐ場合は、間柱又は胴つなぎ等の断面は45mm x 65mm以上とする。 <p>(貫タイプ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 貫は15mm x 90mm以上とする。 貫は5本以上設ける。 最上段の貫とその直上の横架材との間隔及び最下段の貫とその直下の横架材との間隔は、おおむね30cm以下とし、 その他の貫の間隔は61cm以下とする。 貫を柱に差し通す場合は、両面からくさび締め又は釘打ちとする。 貫の継手は、おおむね柱心で突付けとする。 柱との仕口は、柱の径の1/2程度差し込みくさび締め又は釘打ちとする。 構造用面材は、貫に確実に留めつける。 構造用面材を継ぐ場合は、貫上で行なう。 		<p>(受材タイプ)</p> <p>(貫タイプ)</p> <p>くさび (Wedge), 貫 (Through post), アンカーボルト (Anchor bolt), 土台 (Base), こみ柱 (Inner post), 柱 (Column), 間柱 (Intermediate post), 貫 (Through post), かど金物 CP・T (Corner bracket CP・T).</p>
接合金物	<p>筋かい端部の接合 (告示 1460号1項)</p> <p>イ. 径9mmの鉄筋 柱又は、横架材(柱や土台)貫通し、三角座金を介してナット締め、鋼板添え板を用い柱又は横架材にJIS規定鉄丸釘CN90を8本以上打ち付けたもの。</p> <p>ロ. 1.5cm x 9cmの木材の筋かい 柱及び横架材を欠き込み、柱及び横架材の双方にJIS規定鉄丸釘N65を5本以上平打ちしたもの。</p> <p>ハ. 3cm x 9cmの木材の筋かい 厚さ1.6mm以上の鋼板添え板を用い、筋かいに対して径12mm以上のボルト及び釘3本平打ち、柱に対して釘3本平打ち、横架材に対して釘4本平打ちしたもの。</p> <p>ニ. 4.5cm x 9cmの木材の筋かい 厚さ2.2mm以上の鋼板添え板を用い、筋かいに対して径12mm以上のボルト及び長さ50mm以上のスクリーナー釘7本平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ50mm以上のスクリーナー釘5本平打ちしたもの。</p> <p>ホ. 9cm x 9cmの木材の筋かい 柱又は横架材に、JIS強度区分4.6の径12mmのボルトを用いて一面せん断接合とすること。</p>		